

別冊 INVITATION

大学院入試案内



日本化学会

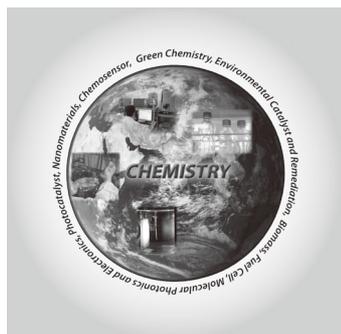
<http://www.chemistry.or.jp>

索引

北海道大学大学院環境科学院環境物質科学専攻	1	横浜市立大学大学院生命医学研究科	
北海道大学大学院総合化学院	2	生命ナノシステム科学研究科	36
岩手大学大学院総合科学研究科理工学専攻物質化学コース	3	長岡技術科学大学大学院工学研究科物質材料工学専攻	37
東北大学大学院理学研究科化学専攻	4	総合研究大学院大学物理科学研究科	
秋田大学大学院理工学研究科生命科学専攻物質科学専攻		構造分子科学機能分子科学専攻	38
共同ライフサイクルデザイン工学専攻	5	豊橋技術科学大学大学院工学研究科環境生命工学専攻	39
山形大学大学院理工学研究科大学院有機材料システム研究科		名古屋工業大学大学院工学研究科	
フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院	6	共同ナノメディシン科学専攻	40
総合研究大学院大学高エネルギー加速器科学研究科	7	名古屋大学大学院工学研究科化学生命工学系	
筑波大学大学院数理物質科学研究科化学専攻	8	有機高分子化学専攻応用物質化学専攻生命分子工学専攻	41
筑波大学大学院数理物質科学研究科物性分子工学専攻	9	三重大学大学院生物資源学研究所	42
群馬大学大学院理工学府理工学専攻物質生命理工学		富山県立大学大学院工学研究科生物工学専攻	43
教育プログラム	10	富山大学大学院理工学教育部理学領域化学専攻	44
東邦大学大学院薬学研究科	11	国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学	45
東邦大学大学院理学研究科	12	立命館大学大学院生命科学研究科	46
千葉大学大学院医学薬学府	13	京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科応用化学系5専攻	47
お茶の水女子大学大学院	14	京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科	
学習院大学大学院	15	バイオベースマテリアル学専攻	48
公立大学東京都首都大学東京大学院	16	京都大学大学院エネルギー科学研究科	
公立大学東京都首都大学東京大学院都市環境科学研究科		エネルギー基礎科学専攻	49
環境応用化学域	17	京都大学大学院工学研究科化学系専攻群	50
国立大学法人電気通信大学大学院	18	京都府立医科大学大学院医学研究科医薬品化学講座	51
国立大学法人東京医科歯科大学大学院生体材料工学研究所	19	大阪市立大学大学院理学研究科物質分子系専攻	52
東京工業大学生命理工学院生命理工学系	20	大阪府立大学大学院理学系研究科分子科学専攻	53
東京工業大学物質理工学院材料系応用化学系	21	神戸大学大学院理学研究科化学専攻	54
東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻	22	兵庫県立大学大学院物質理学研究科物質科学専攻	55
東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻	23	奈良女子大学大学院化学系	56
東京大学大学院工学系研究科マテリアル工学専攻	24	国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学	
東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻	25	物質創成科学研究科	57
東京大学大学院薬学系研究科薬科学専攻薬学専攻	27	鳥取大学大学院工学研究科持続性社会創生科学研究科	58
東京大学大学院理学系研究科化学専攻	28	山口大学大学院創成科学研究科化学系専攻物質化学コース	
東京薬科大学大学院薬学研究科	29	生命化学コース	59
日本女子大学大学院理学研究科	30	徳島大学大学院先端技術科学教育部物質生命システム工学専攻	
明星大学大学院理工学研究科	31	総合科学教育部地域科学専攻	60
早稲田大学先進理工学研究科応用化学専攻	32	九州大学大学院工学府物質科学工学専攻群応用化学	61
神奈川工科大学大学院工学研究科		九州大学大学院理学府化学専攻	62
応用化学バイオサイエンス専攻	33	長崎大学大学院工学研究科	63
神奈川大学大学院理学研究科理学専攻化学領域	34	沖縄科学技術大学院大学OIST科学技術研究科	
東京工芸大学大学院	35	科学技術専攻	64

北海道大学大学院環境科学院環境物質科学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>■修士課程（大学学部卒・高専専攻科修了もしくは見込みであること）</p> <p>■博士課程（大学院修士課程修了もしくは見込みであること）</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>■特別推薦入試（修士課程4月入学）：平成29年4月24日～5月12日</p> <p>■秋季入試（修士・博士課程4月・10月入学）：平成29年7月7日～21日</p> <p>■秋季推薦入試（修士課程4月入学）：平成29年9月21日～10月6日</p> <p>■春季入試（修士・博士課程4月入学）：平成30年1月15日～26日</p> <p>入試により対象者が異なります。詳しくは専攻ホームページをご覧ください。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>【秋季入試（平成29年8月24日、25日）・春季入試（平成30年2月28日、3月1日）】（札幌会場）</p> <p>1) 基礎化学選抜：英語と専門科目（物理化学と有機化学）の筆記試験および面接によって判定します。</p> <p>2) 自己推薦選抜：英語の筆記試験およびこれまでの研究などに関する口述試験によって判定します。</p> <p>3) 併願：基礎化学選抜と自己推薦選抜をともに受験することが可能です。</p> <p>【特別推薦入試（平成29年5月29日）・秋季推薦入試（平成29年10月25日）】（札幌会場・東京会場）</p> <p>学業成績、推薦書、およびこれまでの研究などに関する口述試験によって判定します。</p>
<p>■インフォメーション</p>	<p>近年、様々な環境問題が顕在化しています。全ての自然現象の根源には化学反応が関係していますので、環境問題の解明や解決には化学的な考え方や化学を基盤とした研究が不可欠です。北海道大学大学院環境科学院環境物質科学専攻では環境問題を化学の側面からとらえ、環境に関わる物質の分布や作用を化学的観点から調べるとともに、環境浄化や環境保全のための新たな手法に関する最先端の教育・研究を行っています。</p> <p>本専攻は、生体物質科学コース、ナノ環境材料コース、光電子科学コース、環境触媒化学コースからなっており、入学後はいずれかのコースに所属します。生体物質科学コースでは、生体が作り出す物質などの化学的特性や機能を調べるとともに、生体システムを利用・模倣した環境浄化・修復法および生体関連物質の高感度モニタリングシステムの開発に関する研究を行っています。ナノ環境材料コースでは、化学物質の環境での動態とその影響を調べる新規手法およびナノテクノロジーを利用した新規機能材料の開発に関する研究を行っています。光電子科学コースでは、有機分子や分子集合体に基づく光材料や電子材料の構築と物性解明および機能開拓を通じて、環境問題の解決への応用が可能なデバイスなどの開発を目指した研究を行っています。環境触媒化学コースでは、地球環境修復のための新規な表面機能の創製とその解明、表面機能を利用した環境修復・保全のための触媒、および新エネルギーシステムについて研究しています。</p> <p>入学後は授業やセミナーなどで環境問題に関わる化学の知識を深めるとともに、指導教員の研究室に所属して、修士論文や博士論文の作成のための研究を行います。また、授業や研究を通じて環境問題の解明と解決のための化学的手法を習得します。さらに、最先端の化学技術を修得するための実習プログラムも用意しています。</p> <p>本専攻では化学を基盤として環境問題の解明や解決に関する教育・研究を行っていますので、化学を専門とする学生諸君の出願を特に歓迎します。また、環境問題解決は多岐にわたる学際的研究が必要とされますので、これまで化学を専門としてこなかったとしても積極的に受け入れています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>5月下旬に大阪、東京、札幌で、10月下旬に東京、札幌で、さらに、12月中旬に札幌で開催いたします。</p> <p>詳しくは専攻ホームページをご覧ください。</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒060-0810 札幌市北区北10条西5丁目 北海道大学 大学院環境科学院 環境物質科学専攻 TEL 011-706-2231 E-mail : sfmc_office@ees.hokudai.ac.jp http://www.ees.hokudai.ac.jp/division/material/index.html</p>



北海道大学大学院総合化学学院

<p>■募集学生</p>	<p>平成30年度4月入学・平成29年度10月入学 北海道大学大学院総合化学学院総合化学専攻 ○修士課程（一般選抜、外国人留学生入試） ○博士後期課程（一般選抜、社会人入試、外国人留学生入試） ※最新情報・詳細はホームページを参照してください。 http://www.cse.hokudai.ac.jp/exam/</p>
<p>■出願期間</p>	<p>平成29年6月下旬（予定） ※詳細は募集要項（5月上旬より配付開始予定）およびホームページで確認してください。 ※平成30年度4月入学希望者を対象に、第2次募集を行う場合があります。（第2次募集を行う場合の出願期間は1月下旬を予定） ※本学院ではTOEFLまたはTOEICのスコア提出を義務付けています。 出願予定者はこれらの試験を受験し、事前にスコアシートを取得しておいてください。（詳細はホームページ・募集要項をご覧ください。）</p>
<p>■試験日および試験内容</p>	<p>○修士課程 試験日：平成29年8月9日(水)・10日(木) 試験科目：筆答試験および口頭試問 ○博士後期課程 試験日：平成29年8月9日(水)・10日(木) 試験科目：口頭試問</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  <p>HOKKAIDO UNIVERSITY</p> </div> 	<p>■国立大学唯一の理工融合で実施する化学に特化した大学院教育：本専攻は、北海道大学大学院理学院化学専攻ならびに大学院工学研究科応用化学系3専攻の改組・再編によって平成22年度4月に創設されました。同年にノーベル化学賞受賞に輝いた鈴木章名誉教授は、理学院化学専攻で学位を取得され、工学研究科で永年にわたり教育・研究を牽引された偉大な先輩です。本専攻においては、理・工の化学系・生物化学系教員が密接に連携して教育研究にあたるとともに、物質材料研究機構、産業技術総合研究所、理化学研究所、国立循環器病研究センターの研究者が連携講座教員として参画し、化学に求められる様々な社会的要請に対応できる能力の育成を図っています。平成25年秋には、本専攻が中心となって提案した教育プログラムが文部科学省の「博士課程教育リーディングプログラム」に採択されました。博士後期課程進学を志望する修士課程入学者の中から希望者を募って1年次の夏にプログラム生を選抜し、将来産官学でリーダーとしての役割を担う人材へと育つカリキュラム・イベント企画を提供します。</p> <p>■基礎学理から生産プロセス・材料物性解析まで系統的カリキュラム：本専攻では、分子化学コース、物質化学コース、生物化学コースの3つの履修区分を設け、専門講義科目はもちろんのこと、理工系専門基礎科目等英語による講義を含め豊富な授業科目を提供し、化学の諸領域における研究成果を理学系・工学系の双方の立場から俯瞰した体系的な教育を行います。化学分野の基礎的素養及び高度な専門的素養を身につけ、国際化、科学技術の高度化、学際化等に対応できる多様な知識、判断力、実務対応能力を持つ人材、並びに基礎研究および応用の研究に必要な深い知識と能力を有し、独創的な研究を行うことができる人材を育成します。</p> <p>■国際的に通用する研究能力の育成：本専攻では、「国際先端物質科学大学院(AGS)プログラム」により多くの優秀な留学生を受け入れており、日本人学生が国際感覚を磨く環境が整っています。海外短期留学・海外インターンシップの支援、外国人研究者を招聘しての集中講義や学生主体の英語によるサマースクール企画を通じて、世界に通用する次世代フロントランナーの育成を積極的に推進します。</p> <p>■優れた業績への顕彰：本専攻では、優れた業績をあげた修士・博士後期課程学生（社会人を含む）に対する短縮修了システムが整備されています。また、特に優れた内容の博士学位論文は、Springer社よりSpringer theses（単行本）として出版されます。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>札幌（5月初旬）および東京（5月20日(土)）で実施予定 最新情報・詳細は、下記URLに掲載します。</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学 総合化学院事務室 教務担当 電話：011-706-7246・7247 FAX：011-706-7298 http://www.cse.hokudai.ac.jp/</p>

岩手大学大学院 総合科学研究科 理工学専攻 物質化学コース

<p>■募集学生</p>	<p>平成29年10月入学および平成30年4月入学</p> <p>◆修士課程 総合科学研究科 理工学専攻 物質化学コース (一般入試、推薦入試、社会人入試、外国人留学生入試)</p> <p>◆博士課程 工学研究科 フロンティア物質機能工学専攻 (一般入試、社会人入試、外国人留学生入試)</p>
<p>■出願期間</p>	<p>詳細は学生募集要項(5月下旬)またはホームページでご確認ください</p>
<p>■試験内容</p>	<p>◆修士課程 総合科学研究科 理工学専攻 物質化学コース 試験科目等: 英語(TOEIC提出)、総合科目、面接 第1期入試 平成29年8月23日(水)~8月24日(木) 第2期入試 平成30年1月23日(火)~1月24日(水)</p> <p>◆博士課程 フロンティア物質機能工学専攻 試験科目等: 英語、口頭試問、面接 第1期入試 平成29年8月25日(金) 第2期入試 平成30年1月25日(木) 詳細は学生募集要項(5月下旬)またはホームページでご確認ください</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">有機・高分子化学分野 有用な有機分子の構造・合成 有機合成のための反応開発 機能性高分子の合成・評価</p> <p style="text-align: center;">表面・エネルギー化学分野 無機物質の分析・合成・応用 次世代電池材料の合成・応用 超臨界流体と固体触媒の利用 環境動態と環境毒性の解明</p> <p style="text-align: center;">物理化学・化学工学分野 無機・ナノ化学現象の解析・応用 機能性結晶の分子・化学装置設計と評価</p> </div> <p>◆修士課程 総合科学研究科 理工学専攻 物質化学コース 基礎化学と応用化学およびその関連分野に関わる高度な専門性と幅広い知識を備え、地域社会と国際社会の持続的発展を実現する上で解決すべき諸問題に、積極的に取り組むことができる理学的素養と工学的課題解決能力を有する化学専門技術者の育成を行います。</p> <p>◆博士後期課程 フロンティア物質機能工学専攻 化学反応に基づく有用物質の創製および機能発現に必要な有機、無機、物理化学および化学工学分野における最新の学術研究成果を教授し、最先端の化学技術を駆使できる高度専門技術者と研究者の育成を行います。</p> <p>◆当専攻では他大学からの学生を広く募集しています</p> <p>◆奨学および早期修了制度 成績優秀者には奨学制度や早期修了制度があります。</p>	<p>◆修士課程 総合科学研究科 理工学専攻 物質化学コース 基礎化学と応用化学およびその関連分野に関わる高度な専門性と幅広い知識を備え、地域社会と国際社会の持続的発展を実現する上で解決すべき諸問題に、積極的に取り組むことができる理学的素養と工学的課題解決能力を有する化学専門技術者の育成を行います。</p> <p>◆博士後期課程 フロンティア物質機能工学専攻 化学反応に基づく有用物質の創製および機能発現に必要な有機、無機、物理化学および化学工学分野における最新の学術研究成果を教授し、最先端の化学技術を駆使できる高度専門技術者と研究者の育成を行います。</p> <p>◆当専攻では他大学からの学生を広く募集しています</p> <p>◆奨学および早期修了制度 成績優秀者には奨学制度や早期修了制度があります。</p>
<p>■大学院入試情報</p>	<p>最新の入試情報については、以下のホームページでご確認ください。 http://www.iwate-u.ac.jp/nyusi/index.html</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>岩手大学学務部入試課 〒020-8550 岩手県盛岡市上田3-18-8 TEL 019-621-6064 E-mail admgse@iwate-u.ac.jp</p>

東北大学大学院理学研究科化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>平成29・30年度入学 大学院入試 【博士課程前期2年の課程】 一般選抜、自己推薦入試、外国人留学生特別選考 【博士課程後期3年の課程】 一般選抜、社会人特別選考、外国人留学生特別選考</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>◆博士課程前期2年の課程（修士課程） ・自己推薦入試：平成29年6月5日(月)～6月9日(金)（平成30年4月入学） ・一般選抜：平成29年7月中旬（平成30年4月入学） ・外国人留学生特別選考：平成29年7月中旬（平成29年10月入学） 平成29年10月～11月（平成30年4月入学）</p> <p>◆博士課程後期3年の課程（博士課程） ・平成29年7月中旬（平成29年10月入学） ・平成30年1月初旬（平成30年4月入学）</p> <p>*日程などの詳細情報はこちら→化学教室HP (http://www.chem.tohoku.ac.jp/) *募集要項はこちら→大学院理学研究科HP (http://www.sci.tohoku.ac.jp/)</p>
<p>■試験内容</p>	<p>◆博士課程前期2年の課程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己推薦入試…他大学・他学部等の受験生向けの面接重視の試験 試験日：平成29年7月8日(土) ・ 一般選抜…筆記試験（英語・化学）および面接試験 試験日：平成29年8月中旬 ・外国人特別選考…研究概要の口頭発表および面接試験 <p>◆博士課程後期3年の課程…研究概要の口頭発表および面接試験</p>
<p>■インフォメーション</p>   	<p>○化学研究の世界的な一大拠点 化学科・化学専攻は5つの基幹講座（無機・分析化学講座、有機化学講座、物理化学講座、境界領域化学講座、先端理化学講座）に組織される17の研究室と学内の多元物質科学研究所、金属材料研究所、原子分子材料科学高等研究機構、高度教養教育・学生支援機構に所属する13の研究室、そして学外の連携・委嘱分野を併せ全32研究室から構成されています。協力講座を含め約90名もの教員が指導にあたります。その研究内容は、生物化学、天然物化学、有機合成化学、有機金属化学、金属錯体化学、超分子化学、ナノ・バイオ分析化学、レーザー分光学、計算化学などを含み、化学の主要分野を網羅しています。これらの研究室が、研究科付属の巨大分子解析研究センターなどの協力を得て化学研究の世界的な一大拠点を形成しています。</p> <p>○特徴ある研究教育プログラム、グローバル化へ向けて 当専攻では21世紀COEプログラム「大分子複雑系未踏化学」（2002年～2006年）、さらにそれを引き継いだグローバルCOEプログラム「分子系高次構造体化学国際研究拠点」（2007年～2011年）によって、工学、薬学・農学研究科などとも連携が推進され、我が国最大規模のオール化学分野の協力による大学院教育・研究体制が確立されつつあります。また、大学のグローバル化に向けた取組も進んでいます。 大学の世界展開力強化事業（日中韓のトライアングル交流事業・キャンパスアジアプログラム）「持続的社会に貢献する化学・材料分野のアジア先端協働教育拠点の形成」（2012年～2016年）により、東北大学のオール化学分野と日中韓五大学との間の教育・研究相互交流を進めました。 化学専攻はますます国際化を進め、世界的に活躍する人材を輩出する世界トップの化学研究拠点としてさらなる飛躍を目指します。</p> <p>○立地環境 学内の研究室は仙台市中心部に近い青葉山キャンパスと片平キャンパスにあります。市営地下鉄東西線の開業に伴い、仙台駅から青葉山キャンパスの最寄駅（青葉山駅）まで所要時間9分と大変便利になりました。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>◆理学研究科合同入試説明会：平成29年4月29日(土) 開催予定 会場：東北大学東京分室（サピアタワー10階、JR東京駅直結） ◆博士課程前期2年の課程自己推薦入試説明会：平成29年5月20日(土) 開催予定 会場：東北大学大学院理学研究科（研究室見学含む） ※詳細は化学教室HP (http://www.chem.tohoku.ac.jp/) をご覧ください。</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号 東北大学大学院理学研究科 化学専攻事務室 TEL：022-795-3492/E-mail：chem-jm@grp.tohoku.ac.jp</p>

秋田大学 大学院理工学研究科
生命科学専攻・物質科学専攻・共同ライフサイクルデザイン工学専攻

<p>■募集学生</p> <p>生命科学・物質科学・共同ライフサイクルデザイン工学専攻は、広義の化学関連分野を含みます。そこで、化学の素養を持つ学生・社会人・留学生を広く募集します。</p>	<p>平成29年10月入学・平成30年4月入学 秋田大学大学院理工学研究科 生命科学専攻（生命科学コース）・物質科学専攻（応用化学コース・材料理工学コース）・共同ライフサイクルデザイン工学専攻（環境調和型システム工学分野【材料理工学系】）</p> <p>以下は前年度実績です。詳しくは、平成29年6月公開予定の募集要項をご覧ください。</p> <p>【博士前期課程】（一般入試、特別入試（推薦入試）、特別入試（推薦入試：早期卒業生対象）、国際協力・社会人および外国人留学生特別入試）</p> <p>【博士後期課程】（一般入試、社会人および外国人留学生特別入試）</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p> <p>右記は、前年度実績です。詳しくは、平成29年6月公開予定の募集要項をご覧ください。</p>	<p>【博士前期課程・博士後期課程ともに】 ①一般入試、②社会人特別入試、および③外国人留学生特別入試：8月上旬</p> <p>【博士前期課程のみ】 ④特別入試（推薦入試）：7月中旬 ⑤特別入試（推薦入試：早期卒業生対象）：1月上旬 ⑥国際協力特別入試：8月上旬</p> <p>※平成30年4月入学希望者を対象に、第二次募集を行う場合があります。 （第二次募集を行う場合の出願期間は前年度においては1月上旬）</p> <p>詳細と募集要項の請求について：http://www.riko.akita-u.ac.jp/graduate/</p>
<p>■試験内容</p> <p>右記は、前年度実績です。詳しくは、平成29年6月公開予定の募集要項をご覧ください。</p>	<p>【博士前期課程】 ①一般入試：英語（※生命科学コース・応用化学コースはTOEIC公式認定証提出、他のコース・分野は筆記試験）、基礎・専門科目（筆記試験）、面接試験（試験日：8月下旬）②社会人特別入試、③外国人留学生特別入試、④特別入試（推薦入試）および⑥国際協力特別入試：書類審査・面接試験（試験日：8月下旬）⑤特別入試（推薦入試：早期卒業生対象）：書類審査・面接試験（試験日：1月下旬）</p> <p>【博士後期課程】 ①一般入試：書類審査、英語（筆記試験）、口述試験（試験日：8月下旬）②社会人特別入試および③外国人留学生特別入試：書類審査、口述試験（試験日：8月下旬）</p>
<p>■インフォメーション</p>   <p>Graduate School of Engineering Science, Akita University</p> 	<p>秋田大学大学院理工学研究科は、地域産業を担う高度な専門的職業人、地域産業を自ら生み出す挑戦者、そして、地域に根差したグローバル人材を育成することを目標としています。理工学の専門性に基礎を置き新しいモノづくり・コトづくりを目指す人、様々な課題を抱える地域社会の発展に貢献したい人、そして学問を通して人類の諸課題の解決に寄与することを目指している人を入学者として求めています。社会人に対しては働きながらも学ぶことを可能とする柔軟な取り組みを、そして、世界各国の留学生を受け入れるグローバルな環境をそれぞれ整備し、異なる背景と目標を持つ学生を積極的に受け入れます。</p> <p>各専攻では：生命科学専攻は化学と生物学を融合して、物質科学専攻は物理学・化学・数学などの基礎科学を結集して、共同ライフサイクルデザイン専攻は従来にはない枠組みで、様々な課題に挑戦しています。詳細：http://www.riko.akita-u.ac.jp/</p> <p>地元回帰入学歓迎：一度秋田を離れたものの地元に戻りたい方には、Uターンして秋田大の大学院でスキルを磨きながら、地元就職のチャンスを探ることも可能です。</p> <p>社会人入学歓迎：例えば、秋田に転勤した機会に、リカレント教育として、働きながら修士号・博士号取得を目指すことが可能です。秋田でお暮しの方、お暮し予定の方に、生涯教育の場としても社会人特別入試による大学院入学をご利用になれます。</p> <p>奨学資金制度：本研究科博士前期課程の学生で、経済的理由により修学困難と認められる者及び学業成績、人物共に優れている者に対し、教育・研究に専念するための援助経費として、返済の必要のない奨学資金を給付します。応募対象者【博士前期課程1年次向け】（研究科全体で20名程度）：本学理工学部4年次から入学予定者 同【博士前期課程2年次向け】（研究科全体で15名程度）：本研究科1年次に在籍者 支給金額：月額30,000円（1年間）【他の給付型奨学金（月額48,000円以上）の受給時点で停止】</p> <p>当該制度の詳細等は、今後変更される場合があります。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>大学院入試ガイダンスは予定していませんが、研究室見学等は歓迎します。下記の間合先、或いは指導を希望する教員にご相談ください。</p>
<p>■間合先</p>	<p>〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1-1 秋田大学入試課 電話：018-889-2313 E-mail：nyushi@jimu.akita-u.ac.jp</p>

山形大学 大学院理工学研究科・大学院有機材料システム研究科 フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院

<p>■募集学生</p>	<p>山形大学 大学院理工学研究科・大学院有機材料システム研究科 フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院 博士課程5年一貫コース 平成30年度4月入学コース生募集：募集人員12名 当コースの選抜試験を受験するには、山形大学大学院理工学研究科あるいは有機材料システム研究科の大学院入試を事前に受験している必要があります。 学生募集に関しての詳細は、下記の問い合わせ先で確認してください。</p>
<p>■出願期間</p>	<p>【理工学研究科・有機材料システム研究科 博士前期課程 大学院入試】 第1回 平成29年7月を予定 第2回 平成29年11月を予定 ※詳細は、学生募集要項（5月下旬）またはホームページ http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/ でご確認ください。 【博士課程5年一貫コース 選抜試験】 第1回 平成29年8月下旬を予定 第2回 平成30年2月を予定 ※詳細は、選抜試験実施要項（6月下旬）またはホームページ http://ifront.yz.yamagata-u.ac.jp/ でご確認ください。 ※出願期間は変更されることがあります。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>【大学院入試】 試験科目：面接、もしくは、筆記試験および面接 合否は、受験枠により異なりますが、面接（口頭試問含む）、学部成績書や外部テストの成績書、筆記試験などを総合して判断します。 【コース選抜試験】 試験科目：面接試験（口頭試問を含む） 合否は、学部成績証明書および外部テストの成績書、Application Essay Sheetならびに面接（口頭試問）の審査結果を総合して判断します。</p>
<p>■インフォメーション</p>  <p>2つの能力（「創造性」と「主体性」）を備えた 価値創成グローバルリーダーの輩出</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>高度な専門性を駆使できる人材</p> <p>創造性</p> <p>複眼的思考を持ち 価値創成実践力を 兼ね備えた人材</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>グローバル企画・コミュニケーション力を兼ね備えた人材</p> <p>主体性</p> <p>高い問題意識と 未来志向の使命感に あふれる人材</p> </div> </div>  	<p>■幅広い専門研究がそろう理工学研究科、有機材料研究に特化した有機材料システム研究科の大学院教育： 本大学院では、物質化学工学、バイオ化学工学、応用生命システム工学、情報科学、電気電子工学、機械システム工学、ものづくり技術経営学、有機材料システムの各専攻で履修できる教育環境が整備されており、専攻および研究科を超えて講義科目で履修できる柔軟な教育を実践しています。</p> <p>■フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院コース： 本コースは、山形大学大学院理工学研究科および有機材料システム研究科に設置された博士課程5年一貫コースです。従来の博士の学位取得を目指すだけでなく、将来はグローバルで活躍したいという意欲の高い学生を教育および経済的にサポートするプログラムです。</p> <p>■コースの教育目標： 山形大学では、古くから「有機材料」の基盤技術形成と産業化が行われてきました。有機半導体や有機発光素子、有機太陽電池、医療用バイオ高分子、ナノ成形加工、蓄電デバイスおよび3Dゲルプリンターなど従来では成し得なかった多様な機能性材料の開発に向けた発展研究が進められています。さらにこれらの有機材料を活用した新たな付加価値を持つ社会システムの実現には、有機材料分野に関わる様々な物理・化学・生物学的現象を理解し、複雑なシステムを目的に合わせて構築・制御できる人材が求められています。そのための新たな学問領域が「フロンティア有機材料システム分野」です。本コースでは、「フロンティア有機材料システム分野」創成に挑戦する創造性および「グローバルリーダー」としての主体性を合わせもつ人材を養成します。</p> <p>■コースの特色：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学業に専念するための経済的支援を受けることができます。 ・主専攻・副専攻制度により、主・副いずれかの専攻において「有機材料システム分野」を修得し、幅広い専門性を身につけることを目指します。 ・短期・長期海外インターンシップ、学生主体の国際シンポジウム/セミナーの企画・運営などの独自の講義科目を通じ、英語での生きた国際交流を実際に経験し、グローバルに活躍できるリーダーを目指します。 ・博士課程5年一貫コースであり、2年次には修士論文審査に代えてQE (Qualifying Examination: 博士課程研究基礎力試験) に合格することで3年次に進級します。 ・5年次には、主専攻での博士論文の審査と本コース独自のECE (End-of-Course Examination: フレックス大学院修了試験) があり、これに合格することで研究力に加えて「創造性」と「主体性」2つの能力を獲得したことの保証が得られます。
<p>■大学入試ガイダンスの開催</p>	<p>【コース生募集のための特別シンポジウム】 第1回：平成29年7月 第2回（予定）：平成29年12月 山形大学米沢キャンパスにて、特別シンポジウムを開催予定 見学・相談は、随時、受け付けています。下記まで、お問い合わせください。 ※日程は変更されることがあります。</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒992-8510 山形県米沢市城南4丁目3-16 山形大学工学部1号館102号室 フレックス大学院事務室 TEL 0238-26-3834、FAX 0238-26-3835 http://ifront.yz.yamagata-u.ac.jp</p>



総合研究大学院大学 高エネルギー加速器科学研究科

<p>■募集学生</p>	<p>総合研究大学院大学 高エネルギー加速器科学研究科 加速器科学専攻・物質構造科学専攻・素粒子原子核専攻 5年一貫制博士課程(1年次及び3年次編入学2017年10月及び2018年4月入学)</p>
<p>■出願期間(年間予定)</p>	<p>【5年一貫制博士課程(1年次)】 ○物質構造科学専攻第1回(2017年10月入学・2018年4月入学): 2017年6月2日(金)～6月8日(木) ○加速器科学専攻・物質構造科学専攻第2回・素粒子原子核専攻 (2017年10月入学・2018年4月入学):2017年7月14日(金)～7月20日(木) ○物質構造科学専攻第3回(2018年4月入学): 2017年12月8日(金)～12月14日(木)</p> <p>【5年一貫制博士課程(3年次編入学)】 ○全専攻第1回(2017年10月入学・2018年4月入学): 2017年7月14日(金)～7月20日(木) ○全専攻第2回(2018年4月入学):2017年12月8日(金)～12月14日(木)</p>
<p>■試験内容</p>	<p>【5年一貫制博士課程(1年次)】 ○物質構造科学専攻第1回～第3回 試験日:第1回(2017年10月入学・2018年4月入学):2017年6月30日(金) 第2回(2017年10月入学・2018年4月入学):2017年8月24日(木) (予備日:25日(金)) 第3回(2018年4月入学):2018年1月23日(火) 選抜方法:書類選考、面接試験 ○加速器科学専攻・素粒子原子核専攻 試験日:(2017年10月入学・2018年4月入学):2017年8月23日(水)、 24日(木)(予備日:25日(金)) 選抜方法:書類選考、筆記試験、面接試験 (筆記試験内容) ・数学(90分):基礎的な解析学、線形代数学、統計学、物理数学などから出題 ・英語(60分):英文和訳及び和文英訳 ・専門科目(180分):力学、電磁気学、量子力学、統計力学、実験物理学から合計6題を出題、このうち4題を選択し解答。(素粒子原子核専攻理論部門の出願・併願者は量子力学及び統計力学を必答)</p> <p>【5年一貫制博士課程(3年次編入学)】 ○全専攻第1回、第2回 試験日:第1回(2017年10月入学・2018年4月入学)2017年8月24日(木) (予備日:25日(金)) 第2回(2018年4月入学)2018年1月23日(火) 選抜方法:書類選考、面接試験</p>
<p>■インフォメーション</p>	<p>総合研究大学院大学(総研大)は、学部を持たない大学院だけの大学です。5年間で一貫した博士教育を行うのみならず、後期3年の博士教育を併設したユニークな博士教育制度を導入しています。高エネルギー加速器科学研究科の加速器科学専攻、物質構造科学専攻、素粒子原子核専攻の3専攻は、基盤機関である高エネルギー加速器研究機構(KEK)にキャンパスを置き、世界最先端の研究設備・施設を用いて、トップクラスの研究者による指導により、博士の学位取得を目指します。研究成果で世界をリードし、全国・全世界から研究者が集まるKEKに大きな関心を持ち、その研究分野を自らの将来の進路として考えている意欲的な学生を募集します。</p> <p>研究科の学生には、教職員の教育研究活動の補助的業務に従事することで給与を得るリサーチアシスタント(RA)制度や、経済的理由により授業料の納付が困難である者等を対象とした授業料免除制度など、経済的な支援制度が用意されています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>○大学院説明会:2017年6月17日(土) 日本教育会館9階第五会議室 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 ○オープンキャンパス:2017年7月4日(火) KEKつくばキャンパス ※説明会日程は予定ですので、詳細は研究科HPや問い合わせ先にてご確認ください。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>高エネルギー加速器研究機構 研究協力部研究協力課 大学院教育係 〒305-0801 茨城県つくば市大穂1-1 TEL:029-864-5128 Email:kyodo2@mail.kek.jp 高エネルギー加速器科学研究科ホームページ:http://kek.soken.ac.jp/sokendai/</p>



筑波大学大学院数理物質科学研究科化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>筑波大学大学院数理物質科学研究科化学専攻博士前期課程および博士後期課程（およびナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻ナノサイエンス分野 博士後期課程のみ）平成30年度大学院学生募集</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>■博士前期課程 推薦入学試験（7月期）平成29年6月1日(木)～9日(金) 一般入学試験（8月期）平成29年7月3日(月)～21日(金) 社会人入学試験（8月期）平成29年7月3日(月)～21日(金) ■博士後期課程 一般入学試験（8月期）平成29年7月3日(月)～21日(金) 社会人入学試験（8月期）平成29年7月3日(月)～21日(金)</p>
<p>■試験内容</p>	<p>■博士前期課程 推薦入学試験（7月期）平成29年7月4日(火) 筆記試験（小論文）：100点・口述試験（面接）：100点 一般入学試験（8月期）平成29年8月23日(水)～24日(木) 外国語（英語）※：200点・専門科目（化学）：500点・口述試験（個別面接）：250点 社会人入学試験（8月期）平成29年8月23日(水)～24日(木) 外国語（英語）※：200点・専門科目（化学）：500点・口述試験（個別面接）：250点 第2次学生募集（2月期）を行う場合は、平成29年11月下旬に募集要項を発表します。 ※外部英語試験（TOEFL、TOEIC、又はIELTSのいずれか）のスコアを提出。 ■博士後期課程 一般入学試験（8月期）平成29年8月25日(金) 口述試験（個別面接）：200点 社会人入学試験（8月期）平成29年8月25日(金) 口述試験（個別面接）：200点 第2次学生募集（2月期）を行う場合は、平成29年11月下旬に募集要項を発表します。</p>
<p>■インフォメーション</p> 	<p>化学専攻では、物理化学、無機・分析化学、有機化学などの化学の基礎を構成する分野のほか、物理学、生物学、地球化学、薬学、工学などとの境界領域化学の研究も盛んに行っています。また、数多くの研究機関を有するつくば地区の利点を生かし、国立研究開発法人産業技術総合研究所との連携大学院制度を活用した新領域の研究も活発に行っています。また、国立研究開発法人物質・材料研究機構との連携大学院制度により、材料化学分野の研究も推進しています。</p> <p>カリキュラムは、区分制博士課程の特徴を活かしてそれぞれの特性に合わせ、実施と評価を数段階に渡って懇切丁寧に行う、きめ細かな授業編成となっています。化学専攻では専門基礎科目と専門科目で化学の基礎と専門を幅広く修得し、優れた教員の指導の下に高度で最先端の研究を行います。これにより、博士前期課程では修士の学位を、博士後期課程では博士の学位を、無理なく取得する体制ができています。また、本研究科のナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻（博士後期課程のみ）ナノサイエンス分野でも、化学関連の研究が精力的に行われています。</p> <p>化学専攻の過去の入学試験問題を配付しています。化学専攻事務室（TEL 029-853-6505）にお問い合わせください。</p> <p>また、本研究科では博士後期課程において、「早期修了プログラム」を実施しています。このプログラムは「一定の研究業績や能力を有する社会人を対象に、標準修業年限が3年である博士後期課程を最短1年で修了し、課程博士号を取得するプログラム」です。</p> <p>下記にて説明会を開催しますので、奮ってご参加ください。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>■学生募集説明会（オープンキャンパス） 平成29年5月20日(土) 筑波大学第一エリア ■社会人のための博士後期課程「早期修了プログラム」説明会 毎年、6月中旬と11月上旬に、つくばキャンパス（春日地区）と東京キャンパス（文京校舎）で、説明会を開催しています。平成29年度開催の説明会日程は追って発表しますので、下記までお問い合わせください。 早期修了プログラムに関する問合せ先：学務部教育企画課教務担当（TEL 029-853-2226）</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒305-8577 茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1 筑波大学学務部教育企画課大学院入試担当 TEL 029-853-2230、2231 あるいは 〒305-8571 茨城県つくば市天王台1丁目1番地の1 筑波大学大学院数理物質科学研究科化学専攻長 木越英夫 TEL 029-853-4313 kigoshi@chem.tsukuba.ac.jp</p>

筑波大学 大学院数理物質科学研究科 物性・分子工学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>◆大学院博士前期課程 入学定員61名(推薦および8月期、2月期一般入試の合計) ◆大学院博士後期課程 入学定員13名(8月期、2月期一般入試の合計) (いずれも平成29年度入試における入学定員。平成30年度入試に関しては、募集要項公開後にご確認下さい)</p>
<p>■出願期間</p>	<p>◆8月期一般入試：7月中旬 ◆2月期一般入試：1月上旬 (いずれも平成29年度入試における出願期間。平成30年度入試に関しては、募集要項公開後にご確認下さい)</p>
<p>■試験内容</p>	<p>◆大学院博士前期課程 一般入試 ○筆記試験：専門科目500点(専門基礎課題から2問、専門課題から1問を選択) ○外国語：200点(TOEIC、TOEFLもしくはIELTSのスコアで換算) ○口述試験：250点 ◆大学院博士後期課程 一般入試 ○口述試験：200点(研究プレゼンテーションと質疑応答) (いずれも平成29年度入試における試験内容。平成30年度入試に関しては、募集要項公開後にご確認下さい)</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 20px;">  <div> <h3 style="margin: 0;">筑波大学</h3> <p style="margin: 0;">University of Tsukuba</p> </div> </div> <div style="display: flex; margin-top: 20px;">  </div> <div style="display: flex; margin-top: 20px;">  </div>	<p>◆物性・分子工学専攻について</p> <p>【専攻概要】物性物理、材料、化学、バイオテクノロジー、ナノサイエンスなどの複数の分野が互いに密接に連係して物質科学の高度な専門教育を行うとともに、内外との交流を通じて学際的な研究を推進しています。新物質・新材料の合成、構造や物理的・化学的性質の解明、およびそれらの応用に関する研究を、ミクロからマクロなレベルにわたり、実験および理論的手法を駆使して進めています。物質を基盤とする最先端研究が、量子物性、量子理論、材料物性、物質化学・バイオの4分野と物質・材料工学コースで進められています。</p> <p>【人材育成】物質科学の基礎から応用までの幅広い専門的知識を有し、国際社会で通用する独創性豊かで優れた研究者、並びに高度専門職業人の育成を目指しています。また様々な国から広く留学生を受け入れています。</p> <p>【連携研究】2000年の白川英樹本学名誉教授のノーベル化学賞受賞を記念して設立された学際物質科学研究センター(TIMS)、宇宙史の統一的理解や環境エネルギー材料研究による新物質の創出などを目的として設立された数理物質融合科学センター(CiRfSE)、計算科学研究センター、藻類バイオマス・エネルギーシステム開発研究センター(ABES)などと連携して、研究を推進しています。</p> <p>◆研究分野紹介</p> <p>【量子物性分野】先端的な測定や試料作製法による物性実験の研究(8研究室)：物質のミクロな物性に注目して基礎的な研究を行うとともに、実社会で役に立つ応用的な研究も進めています。超伝導体、誘電体、半導体、磁性体、金属などを幅広く対象とし、量子力学などを用いてミクロな性質を解明しています。</p> <p>【量子理論分野】量子力学的理論計算による物性研究(5研究室)：原子、分子、クラスター、固体の量子物性・光物性・電子物性の理論的研究を行っています。超高速量子ダイナミクス、非線形光学過程、強相関系物理、高温超伝導、量子コンピュータ、固体電子状態、生体機能などを対象にした計算科学の研究を行っています。</p> <p>【材料物性分野】原子の配列・結合状態の解明と制御からの物性研究(8研究室)：金属・合金・セラミックス・金属錯体など、様々な無機材料の特性を、原子の結合や配列状態から捕らえ、画期的な性能を持つ材料の開発に応用するべく、研究を行っています。</p> <p>【物質化学・バイオ分野】化学・生物を基盤とした機能材料開発と物質機能研究(12研究室)：化学や生物を基盤とした新しい機能性物質や触媒の開発、物質機能の解明、および新規有機・高分子デバイス、バイオデバイス、エネルギーデバイス等の開発に関する研究を行っています。</p> <p>【物質・材料工学コース】物質材料研究機構研究員によるナノテクノロジー研究(8研究室)：コンビナトリアル化学、ナノ組織制御やナノ粒子制御技術を用いたガラス材料、鉄鋼材料、磁性材料や、再生医療のための生体材料の開発、強相関物質・超伝導材料等の基礎研究など、幅広い研究を行っています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>2017年5月20日(土) 筑波大学 1H棟講義室および各研究室(オープンキャンパス)</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>専攻関連：〒305-8573 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学大学院 数理物質科学研究科 物性・分子工学専攻 専攻長 日野 健一 TEL/FAX 029-853-4994 e-mail：hino@ims.tsukuba.ac.jp、専攻ホームページ：http://www.ims.tsukuba.ac.jp 入試・事務関連：〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学教育推進部教育推進課大学院入試 TEL 029-853-2230/2231(募集要項：8月期入試は4月下旬、2月期入試は11月下旬に公開予定) http://www.tsukuba.ac.jp/admission/graduate/information.html 過去問：物性分子工学事務室 029-853-5443 http://www.tsukuba.ac.jp/admission/graduate/pdf/pastexam.pdf</p>

群馬大学大学院理工学府 理工学専攻 物質・生命理工学教育プログラム

<p>■募集学生</p>	<p>群馬大学大学院理工学府理工学専攻 平成30年度 大学院博士前期課程（修士課程）・博士後期課程（博士課程）学生募集 博士前期課程（理工学専攻全体として）募集定員300名 （物質・生命理工学教育プログラムとして96名程度） 博士後期課程（理工学専攻全体として）募集定員39名</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>平成29年7月中旬（予定）</p>
<p>■試験内容</p>	<p>・博士前期課程 筆記試験（基礎科目および専門科目：有機化学、無機・分析化学、物理化学、生物学・生物化学の4分野から出題）、英語および面接。英語については、事前にTOEIC、TOEFL等を受験し、出願時にスコアシートを提出。</p> <p>・博士後期課程 口述試験および面接</p> <p>*いずれも、平成29年8月下旬に実施予定</p>
<p>■インフォメーション</p> <div data-bbox="124 1016 507 1585" data-label="Image"> </div>	<p>平成25年4月、群馬大学大学院工学研究科は、「群馬大学大学院理工学府」として改組され、理学と工学を融合した新たな体系に基づく教育の実施を目指す組織として出発致しました。「物質・生命理工学教育プログラム」は、従来の工学研究科応用化学・生物化学専攻の理念を引き継ぎながら、より理学を重視した教育・研究を行っている部門です。</p> <p>現在、化学分野では、従来から行われてきた分子レベルの科学的研究および新材料物質の開発に加え、最近では生命現象の解明や新薬の開発などの生物に関連した研究が盛んに行われています。一方、生物分野の先端的研究では、分子レベルでの構造・機能解明が重要であり、化学を基盤とする生物科学の新しい展開が進められてきています。つまり、化学と生物の境界はなくなっており、これらを融合した領域は今後大きく発展することが期待されます。本教育プログラムでは、この融合領域をターゲットの一つとし、物質科学・生物科学に関する基礎から応用までの知識と最先端の技術を修得するための教育を行っています。物質科学、生物科学、計測科学に関する専門科目は言うまでもなく、理学系分野間の融合のための基礎的科目や高度実践スキルを習得するための実践実習科目などが開講されています。</p> <p>研究活動においては、研究組織である大学院理工学府分子科学部門の研究室に配属されて、修士論文や博士論文の作成に向けて実践的かつ最先端の研究を行うこととなります。分子科学部門には30をこえる研究室が所属しています。これだけ多くの研究室が存在する化学・生物系の専攻（組織）は、全国でもあまり例がありません。また、各研究室では物質の構成原理と物性の解明、生活を豊かにする新物質・新材料の創製・開発、医学・薬学への応用を目指した生体メカニズムの解明などの多彩な研究を推進しています。様々な研究テーマの中から、皆さんの興味にもっとも合致した研究テーマを見つけることができるでしょう。さらに、年々、新たな装置や設備が導入され、研究環境はますます充実してきていますので、皆さんにとって有意義で、実り多い研究生活が送れるでしょう。</p> <p>本教育プログラムでは、以上の教育・研究活動を通して、化学に関する知識・理論を基盤として、幅広い理工学分野において、国際社会で活躍できる技術者・研究者を育てています。化学や生物化学分野に広く関心があり、従来の学問分野の壁を越えた自由な発想で新しい領域を探求し開拓していくことに興味と意欲のある学生諸君の出願を歓迎します。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>平成29年5月下旬（予定）群馬大学大学院理工学府 総合研究棟（予定）</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒376-8515 群馬県桐生市天神町1-5-1 群馬大学理工学部 学務係大学院担当 TEL 0277-30-1039 FAX 0277-30-1061 E-mail : t-gakumu@jimu.gunma-u.ac.jp http://www.st.gunma-u.ac.jp/</p>

東邦大学大学院 薬学研究科

<p>■募集学生</p>	<p>◆修士課程 薬科学専攻 10名 ◆博士課程 医療薬学専攻 5名</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>◆修士課程 薬科学専攻 一般（1次）：平成29年8月14日(月)～8月26日(土) 一般（2次）：平成30年1月29日(月)～2月9日(金) ◆博士課程 医療薬学専攻 一般（1次）：平成29年8月14日(月)～8月26日(土) 一般（2次）：平成29年11月13日(月)～11月25日(土) 社会人（1次）：平成29年11月13日(月)～11月25日(土) 社会人（2次）：平成30年1月29日(月)～2月9日(金)</p>
<p>■試験内容</p>	<p>◆修士課程 薬科学専攻 入試 一般（1次）：平成29年9月2日(土) 一般（2次）：平成30年2月17日(土) 試験科目 筆記試験（英語・理科一般）、面接 ◆博士課程 医療薬学専攻 入試 一般（1次）：平成29年9月2日(土) 一般（2次）：平成29年12月2日(土) 社会人（1次）：平成29年12月2日(土) 社会人（2次）：平成30年2月17日(土) [※定員未充足の場合にのみ実施] 試験科目 筆記試験（英語）、プレゼンテーション・面接</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>薬学部D館 平成28年3月完成</p> </div>	<p>◆修士課程 薬科学専攻 薬科学専攻には、薬学の特徴である幅広い研究領域に関連する16講座（薬剤学、生薬学、薬理学、分子生物学、生体分子分析学、生化学、創薬化学、薬品物理化学、薬化学、衛生化学、微生物化学、薬物学、公衆衛生学、薬物動態学、生物物理学、臨床薬学）を有し、各研究分野での最先端の研究と教育を行っております。本専攻では薬学分野を含む自然科学系分野からの学生を広く募集しております。本専攻では薬を取り巻く学術と技術の進歩に貢献する、創薬科学を中心とした研究者を養成します。講義科目を通じて薬学の基礎的知識を学び、演習科目と各自が定めたテーマに基づく研究科目の履修を通じ、薬学の専門的知識・技術を修得します。 ◆博士課程 医療薬学専攻 医療薬学専攻には、薬学の専門性に対応する4つの研究分野として医薬品分析評価学（5研究室）、薬物治療学（4研究室）、分子病態解析学（6研究室）、医薬品分子設計学（5研究室）があり、各研究分野での医療に関連する最先端の研究と教育を行っています。本専攻では6年制薬学部卒業生、修士課程修了者、社会人についても広く募集しています。薬学研究科担当教員を中心として、本学医学部教員、医療センターの薬剤師等による指導のもと、薬剤師や研究者として自立して医療活動、研究活動を行うために必要な、高度な専門性と研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養います。 ◆キャンパス 薬学研究科のある習志野キャンパス（最寄り駅：JR津田沼駅または京成大久保駅）は、東京駅や成田空港から1時間ほどの緑に囲まれた環境にあります。新研究棟（薬学部D館）が平成28年3月に完成し、今後もさらに環境整備が行われます。また本学には3つの医療センター（大森病院・大橋病院・佐倉病院）があり、「臨床に強い」という特徴を生かして研究面でも積極的な交流が行われています。</p>
<p>■大学入試ガイダンスの開催</p>	<p>入試日程の詳細については、HPをご確認ください。</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒274-8510 千葉県船橋市三山2-2-1 東邦大学大学院薬学研究科 TEL：047-472-1217 E-mail：phar.kyomu.narashino@jim.toho-u.ac.jp http://www.toho-u.ac.jp/phar/index.html</p> <div style="text-align: right;">  </div>

東邦大学大学院 理学研究科

<p>■募集学生</p>	<p>博士前期課程及び博士後期課程 [化学専攻、生物学専攻、生物分子科学専攻] [物理学専攻、情報科学専攻、環境科学専攻]</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特別選抜入試（博士前期課程） 2017年6月 7日～6月14日、2017年8月1日～8月15日 2018年1月30日～2月 6日 ・一般入試（博士前期課程・博士後期課程） （8月募集）2017年8月 1日～8月15日 （2月募集）2018年1月30日～2月 6日 ・社会人及び外国人入試（博士前期課程・博士後期課程） （8月募集）2017年8月 1日～8月15日 （2月募集）2018年1月30日～2月 6日 <p>※入試により出願資格が異なります。詳細はホームページ、募集要項をご覧ください。 （ホームページ： http://www.toho-u.ac.jp/grad/sci_grad/scigrad_exam/index.html）</p>
<p>■試験日程及び科目（予定）</p>	<p>【博士前期課程】</p> <p>特別選抜入試 : 2017年6月21日、8月26日、2018年2月16日（面接） 一般入試（8月募集）：2017年8月26日（英語、専門科目、面接） 一般入試（2月募集）：2018年2月16日（英語、専門科目、面接） 社会人及び外国人入試（8月募集）：2017年8月26日（面接） 社会人及び外国人入試（2月募集）：2018年2月16日（面接）</p> <p>【博士後期課程】</p> <p>一般入試（8月募集）：2017年8月26日（英語、口述試験） 一般入試（2月募集）：2018年2月16日（英語、口述試験） 社会人及び外国人入試（8月募集）：2017年8月26日（英語、口述試験） 社会人及び外国人入試（2月募集）：2018年2月16日（英語、口述試験）</p> <p>※試験科目の詳細は、下記教務担当窓口にお問い合わせ下さい。</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">自然とは何だろう。 <small>いのち</small> 生命とは何だろう。</p>	<p>東邦大学大学院理学研究科は、自然科学の研究教育を通して、高度な専門知識に裏打ちされた問題発見・解決能力を身につけた人材を育成することを使命としています。そのため、理学に関する学術の理論及び応用の研究を通して、その深奥を究め、ひいては文化の発展と人類の福祉に寄与することを目的としています。この目的を実現するために、理学研究科では、基礎的な自然科学を中心に据える物理学、化学、生物学の3専攻だけでなく、現代の情報技術を支える情報科学、生命と化学の結合を目指す生物分子科学、持続可能な社会の創成を目指す環境科学専攻の3専攻を加えた計6つの専攻が設置されています。</p> <p><専攻・研究部門></p> <p>化学専攻 : 無機・分析化学、物理化学、有機化学 生物学専攻 : 進化・生態学、機能生物学、人間生物学 物理学専攻 : 基礎物理学、物性物理学、応用物理学 生物分子科学専攻 : 分子生物学、分子科学、分子医学・生理学 情報科学専攻 : 情報科学 環境科学専攻 : 環境科学</p>
<p>■大学入試ガイダンスの開催</p>	<p>下記教務担当窓口にお問い合わせ下さい。</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒274-8510 千葉県船橋市三山2-2-1 東邦大学習志野学事部学事課 理学部教務担当 電話：047-472-1675・7208 FAX：047-472-1188</p>

千葉大学大学院医学薬学府

<p>■募集学生</p>	<p>千葉大学大学院医学薬学府（薬学領域）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆修士課程学生募集 平成29年10月入学および平成30年4月入学 ◆博士課程学生募集 平成29年10月入学、平成30年4月入学および平成30年10月入学
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆修士課程 現在未定、本年6月頃に発表します。 ◆博士課程（2回実施） 第1回目 平成29年7月下旬から8月上旬頃（本年6月頃に発表します。） 第2回目 平成30年1月上旬頃（本年11月頃に発表します。）
<p>■試験内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆修士課程：筆記試験および面接試験による選抜（平成29年10月入学にも適用） 試験日：平成29年8月の予定（現在未定、本年6月頃に発表します。） <ul style="list-style-type: none"> ●筆記試験：300点 英語：100点（提出されたTOEFL-iBT、TOEFL-PBT、TOEFL-ITP Level1、TOEIC公開テスト、又はTOEIC-IPの成績を本学府が設定する換算式に基づき換算して得点を決定します。） 基礎科目：200点 有機化学3問、生物化学3問、物理化学3問の計9問から3問選択 ●面接試験：100点（筆記試験の翌日に実施） ◆博士課程：4年博士課程 専門科目（筆答）、英語、面接 後期3年博士課程 外国語（薬学英语）、面接、専門科目及び関連科目（口述） 試験日：第1回目 平成29年8月下旬（平成29年10月および平成30年4月入学） 第2回目 平成30年1月下旬（平成30年4月および平成30年10月入学） （試験内容等詳細は学生募集要項をご覧ください。）
<p>■インフォメーション</p>  <p style="text-align: center; font-size: small;">医薬系総合研究棟（千葉市亥鼻地区） I期棟（奥）、II期棟（手前）</p>	<p>当医学薬学府（薬学領域）では他大学・他分野からの学生を広く募集しています。本学府（薬学領域）は有機化学系、生物化学系、物理化学系、医療系の薬学を構成する広い研究分野に属する21の研究室（●薬化学●薬品合成化学●生体機能性分子●活性構造化学●製剤工学●薬品物理化学●遺伝子資源応用●分子細胞生物学●生化学●微生物薬品化学●病態分析化学●分子画像薬品学●予防薬学●薬効薬理学●薬物学●生物薬剤学●分子心血管薬理学●社会薬学●実務薬学●臨床薬理学●医療薬学）および連携大学院2研究室（●環境リスク ●遺伝子創薬学）を有し、薬学に関連する最先端の研究・教育を行っています。この多彩な専門分野の中に自然科学系大学院を志望する皆さんの希望と一致する分野が必ずあります。（研究内容等詳細はそれぞれの研究室のホームページをご覧ください。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆修士課程：4年制薬学部学生はもちろんのこと、理学部、工学部、農学部等で受けた基礎教育を薬学研究へ発展させる意欲のある学生を求めています。そのため筆記試験は基礎分野（有機化学、物理化学、生物化学から選択）と、英語については提出されたTOEFL-iBT、TOEIC公開テストなどの成績により判定します。薬学部6年制学科の4年生は修士課程への出願が可能です。 ◆博士課程：創薬研究に興味のある薬学、理学、工学、農学等の修士課程修了者もしくは修了予定者を求めています。 （3年制課程と4年制課程があります。詳細は学生募集要項をご覧ください。）
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>平成29年6月頃に実施します。詳細は千葉大学薬学部のホームページをご覧ください。</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒260-8675 千葉市中央区亥鼻1-8-1 千葉大学薬学部学務係：Tel 043-226-2862 E-mail : yakugaku-in@chiba-u.jp 千葉大学薬学部ホームページ：http://www.p.chiba-u.jp</p>

お茶の水女子大学大学院

<p>■募集学生</p>	<p>平成30年度（平成29年度10月入学生含む） お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科理学専攻 ■化学・生物化学領域 博士後期課程大学院生募集 （外国人留学生特別選抜を含む）（社会人・既卒者も可、学位取得実績多数） ■化学・生物化学コース 博士前期（修士）課程大学院生募集 （外国人留学生特別選抜を含む） http://www.sci.ocha.ac.jp/chemHP/</p>
<p>■願書受理期間（予定）</p>	<p>■博士後期課程 9月入試 平成29年7月31日(月)～8月2日(水) 3月入試 平成30年1月9日(火)～12日(金) ■博士前期（修士）課程 8月入試 平成29年7月18日(火)～20日(木) 2月入試 平成29年12月15日(金)～21日(木)</p>
<p>■試験日程および科目（予定）</p>	<p>■博士後期課程 9月入試 平成29年9月4日(月)（口頭試問） 3月入試 平成30年3月5日(月)～6日(火)（口頭試問） ■博士前期（修士）課程 8月入試 平成29年8月24日(木) 9:30～（専門科目筆記試験） 平成29年8月25日(金) 10:00～（口頭試問） 2月入試 平成30年2月5日(月) 9:30～（専門科目筆記試験、口頭試問） ※博士前期課程入試においてはTOEFLまたはTOEICのスコア提出を義務付けています。出願予定者は事前にこれらの試験を受験し、事前にスコアシートを取得しておいて下さい。（詳細はホームページ・募集要項をご覧ください。）</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  <p>お茶の水女子大学 Ochanomizu University</p> </div>  <p style="text-align: center;">お茶大の博士課程へ</p> 	<p>■研究教育内容 理学専攻化学・生物化学領域（博士後期課程）および化学・生物化学コース（博士前期課程）では、多岐に渡る物質を構成する分子、生体分子及び分子集合体を対象とし、構造と性質、合成と反応、機能と現象に関して、基礎に重点を置きつつ幅広い角度から教育研究を行っています。本領域およびコースは10研究室で構成され、物理化学、無機化学、有機化学、分析化学、生物化学分野を基礎とする物質科学、材料科学、超分子化学、複雑系科学、ならびに生命科学などの諸分野に広がる教育研究を通して、幅広い知識と専門性を備えた研究者の育成を目指しています。本大学院では、副専攻として博士前期・後期を通じて毎月奨励金を受けながら、グローバルに活躍できる人材を育成する博士課程教育リーディングプログラムをはじめとした、複数のプログラムによる大学院教育の高度化・国際化を進めており、これまでにロレアルユネスコ女性科学者日本奨励賞などの多くの受賞者を輩出しています。また、進学前から申請可能な予約型奨学金を含む数多くの奨学金制度があります。研究室見学を歓迎していますので、担当教員（上記URLを参照）に連絡の上、ぜひ訪問して下さい。</p> <p>■研究環境 大型機器などの研究設備は全学共同利用を基本に整備が進められ、化学・生命科学分野の研究に必要な多種多様な最新機器を自由に利用できます。実験台には局所排気装置を完備し、また居室と実験室との分離、自習室や学生用個人ロッカーの設置等、実験環境・研究環境に配慮しています。</p> <p>■他大学との連携 都心にある地の利を生かし、他大学との連携を積極的に行っています。東京医科歯科大学、学習院大学、北里大学との四大学連携により「学際生命科学」をキーワードとした「化学」の周辺分野まで幅広く学ぶことができます。また、複数の大学との単位互換制度により他大学の授業科目を履修することもできます。</p> <p>■留学支援プログラム 留学費用の一部を支援する海外派遣事業を実施しています。博士前期課程の学生を対象とした研修留学では、ドイツの協定校で1セメスターの専門科目講義（英語）を受講します（取得単位認定）。この9年間に、理学専攻を中心に80名を派遣しました。研究留学する博士後期課程の学生も数多く、複数名がEUの大学との共同学位を取得しています。</p> <p>■早期修了制度と長期履修制度 成績優秀者には早期修了制度が、また、特別な理由のある学生に対しては長期にわたる計画的履修を認め授業料を分割する制度があります。</p> <p>■修了者の最近の就職先 【博士後期課程修了者】 国立健康・栄養研究所、(独)原子力安全基盤機構、東京大学、愛知学院大学、山梨大学、セントラル硝子(株)、東亜合成(株)、三菱レイヨン(株)、文部科学省、他。 【博士前期課程修了者】 富士フィルム(株)、(株)プリヂェストン、トヨタ自動車(株)、花王(株)、帝人(株)、東レ(株)、日清食品(株)、ライオン(株)、資生堂(株)、厚生労働省、他。</p>
<p>■大学院オープンキャンパスの開催</p>	<p>平成29年4月15日(土)に大学構内にて大学院オープンキャンパスを開催します。研究室見学も可能です。（詳細は下記URLに確定次第掲載）</p>
<p>■問合先</p>	<p>■お茶の水女子大学事務部学務課大学院担当 〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 電話 (03) 5978-5822 (前期課程)、5821 (後期課程) http://www.ocha.ac.jp/</p>

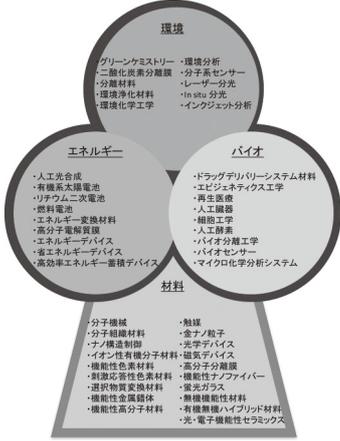
学習院大学大学院

■募集学生	学習院大学大学院 自然科学研究科 化学専攻 平成30年度 大学院博士前期課程(修士課程)・博士後期課程(博士課程) 学生募集
■出願期間 (年間予定)	秋季募集： 出願は平成29年8月上旬、試験は平成29年9月上旬を予定* 春季募集： 出願は平成30年1月中旬、試験は平成30年2月下旬を予定* *詳しい日程はお問い合わせ下さい。
■試験内容	入学者の選考は、学力試験(筆記試験・口頭試問)、TOEIC (TOEIC IPも可)のスコア、および出身学校の成績によります。 筆記試験の科目は、化学(物理化学、有機化学、無機化学：合計180分)です。 詳しくは、学習院大学のホームページより「入試情報」をご覧ください。 http://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/guraduate/exam/index.html に自然科学研究科博士前期(後期)課程 化学専攻のリンクがあります。
■インフォメーション キャンパスは、都心にありながら緑豊かな自然環境に恵まれています。  目白の高台に建つ南7号館(理学部棟) 化学専攻の9研究室はこの建物の中にあります	私たちの化学専攻は、物理化学、有機化学、無機化学の3分野、合計9研究室からなっています。大学の規模は小さいですが、実験を重視したユニークな研究を行っており、それぞれの分野で世界的にも高く評価されています。各研究室には教授(准教授)の他に助教がおり、高い水準の教育環境を整えています。また、建物は新しく、競争的資金などによって整備された一級の装置が揃っております。 院生と教員の距離も近く、いっしょになって明日の化学を作り出すべく研究を進めています。国際学会で研究成果を発表する大学院生も多く、大学が渡航費や学会参加費を補助する制度もあります。 各研究室の研究内容は、化学科のホームページをご覧ください。 http://www.chem.gakushuin.ac.jp/ 自然科学研究科には化学専攻の他に、物理学専攻、数学専攻、生命科学専攻もあり、研究交流も行われています。
■大学入試ガイダンスの開催	特に予定はありませんが、施設見学等のご希望は歓迎致します。 詳細は下記の問合せ先までご連絡下さい。 なお、オープンキャンパス時にも関連資料を入手できます。
■問 合 先	住所：〒171-8588 豊島区目白1-5-1 学習院大学理学部 電話：03-5992-1107、Fax: 03-5992-1029 (理学部) 資料等はアドミッションセンターへご請求下さい。 E-mail adm-enq@gakushuin.ac.jp 電話：03-5992-1083・03-5992-9226 Fax：03-5992-9237 大学ホームページ http://www.gakushuin.ac.jp/univ/

公立大学（東京都） **首都大学東京** 大学院

<p>■募集学生</p>	<p>首都大学東京 大学院 理工学研究科 分子物質化学専攻 (平成30年度から理学研究科 化学専攻に再編が予定されています) 平成30年度4月入学および平成29年度10月入学 博士前期課程(修士課程)、博士後期課程(博士課程) 募集人数: 博士前期課程35名、博士後期課程9名</p>
<p>■出願期間(年間予定)</p>	<p>○博士前期課程(修士課程) (平成29年度10月入学) 平成29年7月28日(金)～8月4日(金) (平成30年度4月入学) 1回目 平成29年7月28日(金)～8月4日(金)(夏季試験) 2回目 平成30年1月9日(火)～1月16日(火)(冬季試験) *出願期間は郵送(消印有効)のみです。直接出願は認めません。 ○博士後期課程(博士課程) (平成29年度10月入学) 平成29年7月28日(金)～8月4日(金)(郵送のみ・消印有効) (平成30年度4月入学) 平成30年1月4日(木)～1月10日(水)(郵送・消印有効) 平成30年1月11日(木)に持参可能 *社会人の場合には、それぞれの事前協議、出願相談が必要です。 *募集要項は5月26日(金)および10月3日(火)から配布します。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>○博士前期課程(修士課程) (平成29年度10月入学) 8月29日(火) ◎筆記試験(化学) 8月30日(水) ◎口述試験 (平成30年度4月入学) (夏季試験) 8月29日(火) ◎筆記試験(化学) 8月30日(水) ◎口述試験 (冬季試験) 2月8日(木) ◎筆記試験(化学) 2月9日(金) ◎口述試験 *英語に関してTOEFL、TOEIC、IELTSにより評価します。 ○博士後期課程(博士課程) (平成29年度10月入学) 8月28日(月) ◎口述試験のみ (平成30年度4月入学) 1月30日(火) ◎口述試験のみ</p>
<p>■インフォメーション</p>  <p>理工学研究科の全貌</p>  <p>首都大学東京 TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY</p>	<p>当専攻は都心からほどよい距離にある緑豊かな南大沢キャンパスに位置します。修士課程の定員33名(平成30年度から35名)に対して、専任の教授・准教授・助教は31名(平成29年4月現在、非常勤・特任・客員教官は人数に含みません)という真の少人数教育を実践しています。当専攻では他大学、他分野、及び社会人からの学生を広く募集します。 【研究分野・研究室】 無機・分析化学、有機化学・生物化学、物理化学など化学分野を均等にカバーしており、幅広い社会ニーズや学生の興味に対応することが可能です。 無機化学 : 錯体合成化学、ナノサイエンス、スピン化学 環境・地球化学 : 環境化学、大気科学、分析化学 宇宙化学 : 地球外物質中の元素・同位体組成に関する研究 同位体化学 : 放射化学的手法を用いた機能性材料の解析 有機化学 : 高性能分子触媒による高効率合成法、新機能π電子系 有機合成化学 : 新規な高周期典型元素化合物の合成と有機合成への応用 生物化学 : 染色体機能に関する研究、プロテオーム解析 有機構造生物化学 : 生体高分子のNMR観測の方法論、蛋白質の高次構造 物性物理化学 : 分子性超伝導体、分子機能物質に関する研究 分子集合系物理化学 : 両親媒性分子集合体の実験、ソフトマターの理論 反応物理化学 : 気相反応ダイナミクス、炭素クラスターの科学 理論・計算化学 : 励起状態理論、相対論的量子化学、化学反応の理論解析 【入試情報】 博士前期課程(修士課程)の〔夏季試験〕では化学専門試験として例年、無機・分析化学、物理化学、有機化学、生物化学の4分野から出題されており、受験生はその中から選択して解答します(平成29年度は8問中5問)〔冬季試験〕も問題数が少ないものの同様の方針で出題されます。 過去の試験問題は当専攻のウェブサイトに掲載されています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>平成29年度「理工学研究科大学院説明会」6月頃開催予定 また、理工毎月説明会を第一土曜日に開催していますので、理工学研究科のウェブサイトでご確認下さい。http://www.se.tmu.ac.jp/</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 首都大学東京 大学院 理工学研究科 分子物質化学専攻 事務室 TEL 042-677-1111(代表)、FAX 042-677-2525、URL http://www.se.tmu.ac.jp/chem/ 専攻長: 廣田耕志(042-677-2542)、広報委員: 清水敏夫(042-677-2557) 大学院入試委員: 杉浦健一(042-677-2550)</p>

公立大学（東京都）首都大学東京大学院 都市環境科学研究科 環境応用化学域
平成30年4月より新組織 ※平成29年4月に文部科学省に届出予定

<p>■募集学生</p>	<p>首都大学東京大学院 都市環境科学研究科 環境応用化学域 平成30年度4月入学および平成29年度10月入学 博士前期課程（修士課程）、 博士後期課程（博士課程） 募集人数：博士前期課程50名、博士後期課程6名</p>
<p>■出願期間</p>	<p>博士前期課程（修士課程）、博士後期課程（博士課程） [平成29年度10月入学] 平成29年6月27日(火)～7月4日(火) [平成30年度4月入学] [夏季試験] 平成29年6月27日(火)～7月4日(火) [冬季試験] 平成30年1月9日(火)～1月16日(火) *出願は郵送のみ受け付けます（必着）。社会人及び外国人（留学生）は事前に 出願資格審査が必要です。また、身体に障がいがあるため受験及び修学に際して特 別な配慮を希望する方は事前協議が必要です。</p>
<p>■試験日及び試験科目</p>	<p>○博士前期課程（修士課程） [平成29年度10月入学] [夏季試験] 平成29年7月20日(木)、21日(金) [平成30年度4月入学] [夏季試験] 平成29年7月20日(木)：英語、有機化学、物理化学・無機化学 21日(金)：面接（口頭試問を含む） [冬季試験] 平成30年2月8日(木)：英語 9日(金)：面接（口頭試問を含む） ○博士後期課程（博士課程） [平成29年度10月入学] [夏季試験] 平成29年7月20日(木)、21日(金) [平成30年度4月入学] [夏季試験] 平成29年7月20日(木)：専門科目 21日(金)：面接（口頭試問を含む） [冬季試験] 平成30年2月8日(木)：専門科目、面接（口頭試問を含む）</p>
<p>■インフォメーション</p> 	<p>当学域では、地球環境と共生しながら、有限な地球資源やエネルギーのもとで人類や社会が持続的に発展していくために必要となる環境応用化学あるいは環境材料化学を指向し、それに貢献できる資質をもった人材を育成することを目的としています。当学域のカリキュラムは、講義の約50%を英語で行うなどグローバル化に対応した講義を実施しており、カリキュラム制度もすべての国々の学期をカバーできるクォーター制に対応しています。また、研究面では、環境、エネルギー、材料、バイオなどを包含した広大な応用分野を対象に、世界トップレベルの研究を行っています。当学域では、他大学・他分野からの学生のみならず社会人学生や外国人留学生も広く募集しています。</p> 
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>環境応用化学域の大学院説明会を平成29年5月13日(土)と6月3日(土)に開催する予定です。詳しくは分子応用化学域のウェブサイトでご確認ください。 http://www.ues.tmu.ac.jp/apchem/</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1 首都大学東京大学院 都市環境科学研究科 分子応用化学域 e-mail : apchem@tmu.ac.jp 学域長：高木慎介（042-677-2839）、広報委員：武井 孝（042-677-2822） 大学院入試委員：穴戸哲也（042-677-2850） ※新組織、出願期間、試験日及び試験科目は予定であり、変更される場合もありますので、5月中旬配布予定の募集要項で必ず確認してください。</p>

国立大学法人 電気通信大学 大学院

■募集学生	電気通信大学 大学院 情報理工学研究科 基盤理工学専攻 化学生命工学プログラム 平成30年度大学院博士前期・後期課程学生募集
■出願期間 (予定)	平成29年6月12-15日 博士前期課程推薦入試 平成29年7月21-27日 博士前期課程・後期課程一般入試
■試験内容 (予定)	7月3日 博士前期課程推薦入試 7月14日 推薦入試合格発表 8月17、18日 博士前期課程・後期課程一般入試 博士前期課程の場合、専門科目：400点、外国語 (TOEICまたはTOEFL)：100点、面接：100点 8月21日 博士後期課程一般入試 9月7日 一般入試合格発表

■コース紹介

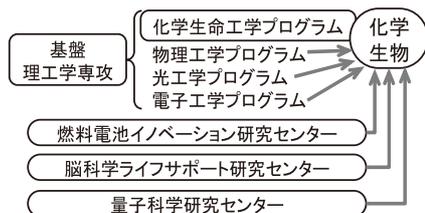


図1 化学生命工学プログラムの紹介

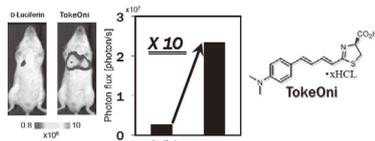


図2 ホタルに学ぶバイオイメージング用生物発光材料の開発 (牧昌次郎研究室)

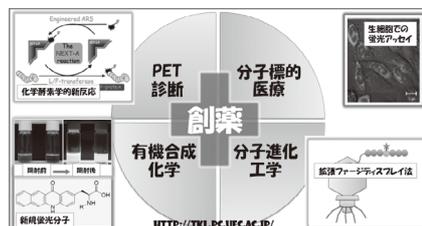
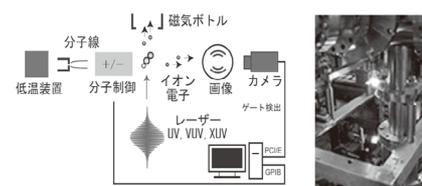


図3 創薬システム開発 (瀧真清研究室)



分子・イオン・電子の制御とレーザー実験

図4 ナノ物質の化学 (山北佳宏研究室)

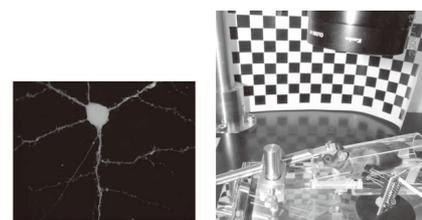


図5 記憶の仕組みと制御 (松田信爾研究室)

本専攻の幅広い研究・教育

電気通信大学は平成28年度に組織改革・学科改組を行いました。学部組織は3つの学類に統合され、大学院組織は4専攻となります。「化学生命工学プログラム」は「基盤理工学専攻」の4つの教育プログラムの1つです (図1)。

新しくなった専攻では、広く理工学の学問・研究をする環境が整っています。一般的な化学分野にとどまらず、**生命、電子工学、光学などと密接に結びついた研究・教育**が行われています (図1)。さらにはIT、情報通信、機械工学、各種研究センターとの連携もあります。学内の研究室間の自由な出入りや様々な講義の受講を通して、**自分の力で新しい工学を作り出す気風**にあふれています。本学は**文部科学省より研究大学強化促進事業に採択**されており、世界レベルの研究に取り組んでいます。

本プログラムの理念・内容

化学生命工学プログラムでは、**材料化学と生命科学が融合した学問領域の研究・教育**を行っています (図1)。現在、**有機化学、無機化学、物理化学**を含む化学専門の**11名のスタッフ**が活動し、本専攻の他コースも含めると約40名の研究者が材料開発に携わっています。また電気通信大学には**燃料電池や生体機能材料**など大きな目標を掲げた研究センターも数多く活動しています。情報と通信を主とする電気通信大学の他の専攻にも多くの研究者が材料・化学に関わっており、これらの研究室から数多くの材料開発に携わる人材を社会に送り出してきました。

研究例

化学関連の研究室をいくつか紹介しましょう。牧研究室では生体の窓と呼ばれる近赤外光で光るバイオイメージング用の生物発光材料の実用化を行っています (図2)。

瀧研究室ではケミカルバイオロジーで創薬を目指します (図3)。抗体の機能を模倣して、**癌細胞を発見できる診断薬やミサイル療法医薬**の研究開発を行っています。

山北研究室では、分子ビームによる孤立分子系の極限的計測などを通じて、**機能性分子の創製とその分子論的理解**を目指しています (図4)。

松田研究室では、記憶・学習といった脳・神経機能を支える細胞内の分子メカニズムを解明し、**脳機能を制御する技術の開発**を目指しています (図5)。

他にも、**ホタルやウミホタルに学ぶ光機能材料開発、ナノテクノロジー材料の一つである単分子磁石、高周期の元素を含む有機金属化学、触媒機能を発現する錯体化学、フラーレンの材料化学、金属材料機能を化学で解明する放射線化学、分子構造化学、超高速光物理化学、超音波化学、自己組織化の科学、核酸化学、イメージングを駆使する生体機能科学、脳・神経系の情報処理科学**などについても研究しています。

最先端の材料技術者・研究者を目指す人を歓迎します

以上のように、電気通信大学では**化学と生命科学の関連分野で活発な研究**が行われています。化学が得意で、生命、電気、光学、通信、機械にも通じた、社会で活躍できる一級の技術者・研究者を目指すならば、電気通信大学大学院の基盤理工学専攻化学生命工学プログラムはたいへんお勧めです。電気通信大学は京王線調布駅から徒歩5分に位置し、**都心や多摩地域からのアクセスが抜群**です。オープンキャンパスなどの機会に、ぜひ一度訪れてみてください。幅広く奥深い化学の研究に共に励みませんか。

■大学院入試ガイダンスの開催

3月22日(水)、4月8日(土)、5月13日(土)：大学院説明会および相談会
6月3日(土) 大学院入試説明会および研究室公開。*詳細はHPをご覧ください。

■問合せ先

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1
電気通信大学 大学院 情報理工学研究科 基盤理工学専攻 化学生命工学プログラム
大学院入学試験担当 TEL 042-443-5490 (石田) FAX 042-443-5501
<http://www.uec.ac.jp/admission/>

国立大学法人 東京医科歯科大学 大学院／生体材料工学研究所

■募集学生



国立大学法人 **TMDU**
東京医科歯科大学

平成30年度入学 大学院入試

修士課程 【医歯理工学専攻】（理学、工学、他）

博士課程 【生命理工学系専攻】（理学、工学、疾患予防科学）

【医歯学系専攻】

*希望分野の教授にあらかじめ連絡をとり、承諾を得た上で出願して下さい。

■出願期間

修士課程 6月中旬（予定）（4月以降に正式アナウンス）

博士課程 1次募集：7月下旬（予定）（4月以降に正式アナウンス）

2次募集：11月下旬（予定）（4月以降に正式アナウンス）

■試験日および試験内容

修士課程 8月上旬（予定）（4月以降に正式アナウンス）

・筆記試験：英語1および専門科目（英語2・生物・化学・工学から1科目選択）

・面接

博士課程 1次募集：9月下旬（予定）（4月以降に正式アナウンス）

2次募集：2018年2月上旬（予定）（4月以降に正式アナウンス）

・筆記試験：英語（TOEFL ITPで実施）

・面接

■インフォメーション

東京医科歯科大学で化学!?

東京医科歯科大学（国立大学です！）というと、お医者さん、歯医者さんになる人たちを思い浮かべるとも思います。もちろん、その連想は正しいのですが、その一方で、医歯学だけではなく、「理学」や「工学」を修める大学院もあります。

生体材料工学研究所（生材研）では、医療への応用を目指した生体材料に関わる世界最先端の研究を通して、理工学を修めることができます。

生体材料工学研究所？

医療基盤材料部門、生体機能修復部門、医療デバイス部門、生体機能分子部門の4つの部門からなる研究所です。ここでは、知の源泉となる純粋な化学（有機化学、高分子化学、無機化学、物理化学など）に関する**基礎研究**から、難病の克服に挑む「くすり」づくり、医療や歯科医療に革新をもたらす、夢のような分子・材料づくりといった、社会のニーズに応える**応用研究**まで、幅広い研究を行っています。一流の教員陣と世界最先端の研究をしてみませんか？

どこにあるの？

生材研は、御茶ノ水駅のすぐ近く、都心にある研究所です。

興味のある方は、ぜひ一度、見学にきてみて下さい！

（見学を希望される方は、Webをチェックして下さい！）

**医科歯科で
化学!?**
基礎から応用まで
一流の教育・研究体制

IBB 生体材料工学研究所
東京のど真ん中
ココ！ 御茶ノ水駅から徒歩3分！

■大学院入試ガイダンスの開催

◆大学院受験者のための「生体材料工学研究所オープンキャンパス」

5月中に開催予定（Webでチェック！）

◆東京医科歯科大学「大学院入試説明会」

6月上旬に開催予定（Webでチェック！）

■問い合わせ先



〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-3-10

東京医科歯科大学 生体材料工学研究所

生材研で行われている研究や入試情報、オープンキャンパスなどに関する詳しい情報はWebでチェック！

（「生材研」で検索！） <http://www.tmd.ac.jp/i-mde/www/>

東京工業大学生命理工学院 生命理工学系

<p>■入学年度/募集学生</p> <p>2016年ノーベル生理学・医学賞を大隅良典 東京工業大学栄誉教授が受賞しました</p>	<p>東京工業大学は平成28年4月より、学部と大学院を統一した学院に改組する教育改革を実施しました。募集単位は、学院・系として実施します。詳細につきましては下記のURLを参照してください。 http://www.titech.ac.jp/education/reform/index.html</p> <p>入学年度：平成30年4月、または平成29年9月入学 募集する系：生命理工学系 参考：履修できるコース ○生命理工学コース ○ライフエンジニアリングコース</p> <p>修士課程：大学学部卒・高専専攻科修了もしくは見込みであること。 博士課程：大学院修士課程を修了もしくは見込みであること 博士課程（社会人大学院プログラム）：修士の学位を有する者又は学部卒業後2年以上の研究歴を有する者等。修士の学位を有しない者が出願する場合には、出願に先立ち事前審査を要します。</p>
<p>■入試に関する重要な日程</p>	<p>修士課程： 募集要項の配布：平成29年5月上旬 Web (http://www.titech.ac.jp/graduate_school/news/index.html) から入手可能。 出願期間：平成29年6月19日(月)～6月23日(金) A日程 口述試験：平成29年7月下旬 B日程 筆答試験：平成29年8月17日(木) 口頭試問：平成29年8月下旬 (試験日程につきましては、募集要項で必ず再度確認してください) 博士課程：別途上記Webを参照</p>
<p>■試験内容</p>	<p>修士課程： A日程 口述試験 専門的知識、英語力、学士論文研究等の内容及び修士課程での研究計画を中心とした試問。 英語：本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用する。 B日程 筆答試験 専門科目：生物化学2題、生物学2題、有機化学2題、物理化学2題の合計8題中4題選択し回答する。(1題につき100点満点、試験時間：150分) 英語：本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用する。(100点満点) 口頭試問 専門的知識、学士論文研究等の内容及び修士課程での研究計画を中心とした試問。</p> <p>★筆答試験専門科目の過去問題を公開しています。 http://www.titech.ac.jp/graduate_school/admissions/past_exam_papers.html</p> <p>★英語外部テストスコアシートは出願時に提出してください。</p> <p>博士課程（社会人大学院プログラムを含む）： 英語：本学の指定する英語外部テストのスコアシートを利用する。 口頭試問：専門的知識、修士論文の内容、及び博士課程での研究計画に関する試問。</p>
<p>■大学入試説明会/研究室公開</p>	<p>オープンキャンパス・すずかけ祭 平成29年5月13日(土) 14日(日) オープンラボ：平成29年5月13日(土) 13:00～16:00 入試説明会：平成29年5月13日(土) 14日(日)、14日も一部研究室公開あり アクセス：東急田園都市線すずかけ台駅から徒歩5分 詳細はWeb (http://www.titech.ac.jp/suzukakesai/) を参照してください。</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒226-8501 神奈川県横浜市緑区長津田町4259 B-70 東京工業大学生命理工学院事務グループ (TEL: 045-924-5943)</p>
<p>★入試情報は変更される可能性があります。必ず募集要項で確認してください。</p>	

東京工業大学 物質理工学院 材料系、応用化学系

<p>■募集学生</p>	<p>平成30年度大学院修士課程学生募集 (H29年9月入学、H30年4月入学) 平成30年度大学院博士後期課程学生募集 (一般・社会人プログラム)(H29年9月入学、H30年4月入学)</p>
<p>■出願期間 (年間予定)</p>	<p>【修士課程】 平成29年6月19日(月)～6月23日(金) ※修士課程募集要項(冊子体)は平成29年5月上旬に配付されます(4月中旬にWeb版公開)。 ※募集に関する詳細は必ず最新の募集要項でご確認下さい。</p> <p>【博士後期課程】 平成29年7月上旬(H29年9月入学) 平成30年1月中旬(H30年4月入学) ※博士後期課程募集要項は平成29年5月上旬、及び平成29年11月上旬に配付されます。 ※出願に先立ち、修士課程及び博士後期課程ともに、出願資格審査の必要な場合があります。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>【修士課程】 A日程：口述試験 平成29年7月22日、24日～26日(期間内のいずれかの日) B日程：筆答試験 平成29年8月17日(基礎科目、専門科目) 外国語：外部英語テスト(TOEFL-iBT、TOEFL-PBT、TOEIC)のスコアシート原本を出願時に提出 口頭試問 平成29年8月18日～28日(期間内のいずれかの日)</p> <p>【博士後期課程】 英語試験：TOEFL-iBT、TOEFL-PBT、TOEIC、IELTSのいずれかのスコア提出により評価します。 学位論文(又はこれに代わる研究業績)の試問、学力検査及び口頭試問</p>
<p>■インフォメーション</p>	<p>材料系と応用化学系という二つの系から構成される物質理工学院は、物質の構造・物性の理解に基づいた機能創成を行う研究者・技術者やダイナミックな物質の化学変化を操る原理・手法を創出する研究者・技術者の育成を目指しています。本学院は、世界最高峰の研究者が相互に交流・協力し、あらゆる物質を対象とし、環境・エネルギー・資源・安全・健康の課題解決という目標に向かって若人を育成する揺り籠であり、夢に燃える彼らと共働する道場です。地球の生き物たちと共生する物質文明を創造する学びと研究に触れてみませんか。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>【大学院進学説明会(大岡山キャンパス)】 第1回：平成29年4月1日(土) 13:00～ 第2回：平成29年5月27日(土) 13:00～ ※当日、研究室を見学できます。</p> <p>【大学院進学説明会(すずかけ台キャンパス)】 第1回：平成29年3月29日(水) 11:00～ 第2回：平成29年4月15日(土) 11:00～ 第3回：平成29年5月12日(金) および13日(土) 11:00～ (すずかけ台キャンパス オープンキャンパス) 第4回：平成29年6月10日(土) 11:00～ ※当日、研究室を見学できます。</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>【材料系】 〒152-8552 東京都目黒区大岡山2-12-1 S7-22 東京工業大学 物質理工学院 材料系事務室 E-mail: mat.adm@mac.titech.ac.jp</p> <p>【応用化学系】 〒152-8552 東京都目黒区大岡山2-12-1 S1-7 東京工業大学 物質理工学院 応用化学系事務室 E-mail: ent_admin@cap.mac.titech.ac.jp</p>

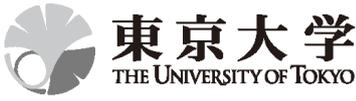
東京大学大学院工学系研究科応用化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>東京大学大学院 工学系研究科 応用化学専攻 修士課程（30年4月入学、29年9月入学） 博士課程（30年4月入学、29年9月入学） 最新情報はWebでご確認ください（http://www.appchem.t.u-tokyo.ac.jp/）。 詳細は、5月中旬から配付予定の入試案内書をご覧ください。</p>
<p>■出願期間</p>	<p>平成29年7月〔修士課程、博士課程（A日程）：予定〕 平成29年11～12月〔博士課程（B日程）：予定〕</p>
<p>■試験内容</p>	<p>入学者選抜試験 ・修士課程、博士課程（A日程） 平成29年8月28日（月）～8月29日（火）〔実施予定〕 試験内容：筆記試験（英語、一般教育科目 化学、専門学術（博士のみ））、 口述試験 ・博士課程（B日程） 平成29年1～2月〔実施予定〕</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO</p> </div> </div>	<p style="text-align: center;">「21世紀は応用化学の時代」～物質を自在にデザインし、新しい機能を創出～</p> <p>応用化学専攻では、化学を基礎として環境・エネルギー・情報など多岐の分野にわたる基礎・応用研究を展開しています。高度に有能な研究者、技術者を養成するために、基礎学力の充実、高度な専門知識が獲得できるカリキュラムを設けており、さらに修士論文・博士論文研究で実践的な能力を養います。</p> <p>応用化学専攻の研究室では、光に応答して機能を発現する材料の開発、新エネルギー開発、ウェアラブル半導体デバイスや有機エレクトロニクスの実現に向けたナノテクノロジー、多彩な電子機能を有する材料開発とその物性研究、生体分子計測と生体ナノマシン、1分子計測と制御化学、環境保全のための触媒化学研究、自己組織化による物質創成研究、次世代高分子材料の開発、人工光合成系の理論的研究、遷移金属クラスター化学などの分野において、基礎から応用につながる幅広い研究を展開しています。</p> <p>また、応用化学専攻の多くの研究室は大型プロジェクトに参画しており、さらに国際共同研究も盛んであるなど、大学院の学生が世界の第一線で活躍する研究者に成長できる研究・教育の舞台を用意しています。博士課程学生は、その約30%が学振特別研究員として月額20万円の奨励金を、このほかSEUTフェローシップや博士課程教育リーディングプログラム、化学人材育成プログラムなどにより、ほぼ全員が何らかの形で給与を受けています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>（専攻説明会*） 平成29年3月29日（水） 13：00～ 東京大学 駒場リサーチキャンパス 生産技術研究所 An棟2階 コンベンションホール（駒場IIキャンパス） （入試説明会*） 平成29年5月13日（土） 13：00～ 東京大学 工学部5号館1階51号講義室（本郷キャンパス） *変更の可能性もありますので、専攻HPを必ずご確認ください。</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>東京大学 大学院工学系研究科 化学・生命系事務室 電話 03-5841-7211、7361、7213</p>

東京大学大学院工学系研究科化学システム工学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>東京大学大学院 工学系研究科 化学システム工学専攻 修士課程（平成30年4月入学、平成29年9月入学） 博士課程（平成30年4月入学、平成29年9月入学） 最新情報はWebでご確認ください（http://www.chemsys.t.u-tokyo.ac.jp/）。 詳細は、5月から配付される入試案内書をご覧ください。</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>平成29年7月4日(火)～13日(木)</p>
<p>■試験内容</p>	<p>入学者選抜試験 ・修士課程、博士課程 平成29年8月28日(月)～8月29日(火) [実施予定] 試験内容：筆記試験（英語、専門学術）、口述試験</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="text-align: center;"> <p>東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO</p> </div> </div> 	<p>化学とシステムの思考の融合～化学システム工学専攻</p> <p>化学システム工学専攻では、化学に対する広範な知識をベースに、環境問題・エネルギー問題・安全性の問題に正面からシステムチックにアプローチし、化学と社会との密接な関係を築く研究を行うことができます。</p> <p>化学システム工学専攻の特徴は、単に面白いからという理由で分子や物質を合成するのではなく、ある目的・機能をもった分子・物質、材料・デバイスを開発し、さらにそれをどのように応用すれば、社会的なニーズに応えることができるかを、常に念頭において研究を行っているという点です。そのため、企業からの共同研究の申し込みも多く、学生達も積極的に研究と向き合っています。</p> <p>化学システム工学専攻の研究室では、非常に基本的な原理を追究している研究から、社会における物質循環や安全性の問題に取り組んでいる研究まで、多岐にわたった研究に取り組んでいます。そしてどの研究室においても、現実の問題にどのように取り組み、解決していくかという明確な視点をもって研究を進めています。研究が社会的ニーズに応えることになるのです。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>第1回 平成29年5月27日(土) 13:00～ 東京大学 工学部5号館1階51号講義室（本郷キャンパス） 第2回 平成29年6月24日(土) 13:00～ 東京大学 工学部5号館1階51号講義室（本郷キャンパス）</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>東京大学 大学院工学系研究科 化学システム工学専攻 常務委員 山田 淳夫 教授 電話 03-5841-7295 e-mail admission@chemsys.t.u-tokyo.ac.jp</p>

東京大学大学院工学系研究科マテリアル工学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>東京大学大学院工学系研究科マテリアル工学専攻 修士課程（平成30年4月入学、平成29年9月入学） 博士課程（平成30年4月入学、平成29年9月入学） 最新情報はWebでご確認ください。 (http://www.material.t.u-tokyo.ac.jp/graduate/) 詳細は、5月から配布される入学試験案内をご覧ください。</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>平成29年7月4日(火)～7月13日(木)</p>
<p>■試験内容</p>	<p>入学者選抜試験 修士課程、博士課程 平成29年8月28日(月)～9月1日(金) 実施予定。 試験内容：筆記試験（英語、数学、マテリアル工学基礎）、口述試験 ＊数学は一般教育科目である。詳細はマテリアル工学専攻Webをご覧ください。 (http://www.material.t.u-tokyo.ac.jp/graduate/)</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">   </div>	<p style="text-align: center;">「未来はマテリアルが拓く」～マテリアル工学専攻～</p> <p>全ての工学の基盤にはいつもマテリアルがあります。それは未来社会をつくるモノづくりの根幹を支えているということです。この工学を横断するマテリアル工学の叡智には、さらに様々な分野と新たな相互作用を生み出すことで、次代に向けたダイナミックな工学の可能性の扉を開く鍵が託されています。</p> <p>マテリアル工学専攻では、近年のマテリアル工学の裾野の広がりに対応して、広い領域でマテリアル工学の教育を受けていた受験生に加え、物理学・化学といったマテリアル工学の基礎となる学問を学んできた方、さらにまた、バイオ・機械・電子デバイスを実際に作り出す立場でマテリアルを学んでいこうとする方の本専攻への受験を歓迎いたします。</p> <p>材料の製造・リサイクルプロセス、原子レベルでの材料設計、高分子ゲルなどのバイオマテリアルなど、これらは全て物理化学、無機化学、有機化学を応用することによって実現できています。モノづくりの基礎となるサイエンスと製品としての出口であるエンジニアリングの両方を学ぶことで、様々な分野で活躍できる人材を輩出しています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>平成29年5月19日(金) 13:00～14:30 東京大学工学部4号館3階41 講義室（本郷キャンパス）</p> <p>説明会后、希望者を対象に以下のような研究室見学会を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本郷キャンパス 研究室見学ツアー ・各研究室の研究内容についてポスター紹介 ・駒場IIキャンパス 研究室見学ツアー
<p>■問 合 先</p>	<p>東京大学 大学院工学系研究科 マテリアル工学専攻 教務担当 電話 03-5841-7091 Email exam@material.t.u-tokyo.ac.jp</p>

東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻修士・博士課程募集 修士課程（29年9月入学、30年4月入学） 博士課程（29年9月入学、30年4月入学） 最新情報はWeb（http://kouiki.c.u-tokyo.ac.jp/）でご確認ください。 詳細については本研究科学生募集要項（平成29年3月24日から配布予定）をご確認ください。</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>【修士課程】 ・学生募集要項配布 平成29年3月24日(金)～ ・出願期間 平成29年6月13日(火)～6月19日(月)（消印有効） ・筆記試験 平成29年7月22日(土) ・口述試験 平成29年8月1日(火)～8月3日(木) ※この期間のうち各系が定める日程による。 詳細については本研究科学生募集要項（平成29年3月24日から配布予定）をご確認ください。</p> <p>【博士課程】 詳細については本研究科学生募集要項（平成29年3月24日から配布予定）をご確認ください。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>大学院入試説明会・研究室見学会 第一回 平成29年4月22日(土) 13:00～、第二回 5月27日(土) 13:00～ 会場：東京大学駒場Ⅰキャンパス13号館（東京都目黒区駒場3-8-1） 詳細は下記URLをご確認ください。 http://kouiki.c.u-tokyo.ac.jp/examination/briefing.html</p>
<p>■関連基礎科学系の紹介・試験内容</p>	<p>【関連基礎科学系】 関連基礎科学系は、基礎科学を研究する組織で、相互に関連する5つのグループで構成されています。化学の研究室は主に分子科学・物質科学のグループ（D2）に所属しています。物理化学、無機化学、有機化学の体系を中心に、分子やその集合体、表面・界面、生体擬似組織体などを対象とし、ミクロからメゾ、マクロの各階層にわたる構造・ダイナミクス・機能に関する教育・研究を、理論と実験の密接な協力のもとに行っています。より詳しい研究内容を知りたい方は、関連基礎科学系のHP（http://www.dbs.c.u-tokyo.ac.jp/）をご覧ください。</p> <p>【試験内容（修士課程）】 ①筆記試験 800点満点 ■外国語（英語）200点（注） 外国語（英語）の試験は、筆記試験当日に本研究科で実施されるTOEFL（ITP）の受験あるいはTOEFLスコアシートの提出（出願時に受験者が選択）によって行われる。 ■総合科目 600点（注） 化学、物理学、生物学、数学、科学史・科学哲学の全15問の出題のうち3問を選択して解答する。出題分野や過去問など詳細については学生募集要項（平成29年3月24日から配布予定）およびWeb（http://www.dbs.c.u-tokyo.ac.jp/）をご確認ください。 ②口述試験 筆記試験の合格者を対象に実施する。</p> <p>【試験内容（博士課程）】 口述試験（論文審査を含む）を行う。なお、東京大学大学院修士課程に在学中の受験生以外には、原則として筆記試験が課される。</p>
<p>■生命環境科学系の紹介・試験内容</p>	<p>【生命環境科学系】 生命環境科学系は、生命に関して分子からヒトまでを包括するきわめて学際的で先端的な研究者組織です。化学に関わる研究室は主に、生化学（核酸・タンパク質の化学）、生物物理学、細胞生物学、分子生物学などを専門としています。分子から細胞、組織と積み上げて人間を理解する方向と、ミクロな生命環境科学のあり方を考える方向性を持った人材を養成することを目指し、基礎研究から応用研究まで幅広い研究を行っています。より詳しい研究内容を知りたい方は、生命環境科学系のHP（http://bio.c.u-tokyo.ac.jp/）をご覧ください。</p>

	<p>【試験内容（修士課程）】</p> <p>①筆記試験 800点満点</p> <p>■外国語（英語）200点（注）外国語（英語）の試験は、筆記試験当日に本研究科で実施されるTOEFL（ITP）の受験あるいはTOEFLスコアシートの提出（出願時に受験者が選択）によって行われる。</p> <p>■総合科目 600点（注）物理学、化学・生化学、生物学、身体運動科学、認知行動科学、認知脳科学の全26問の出題のうち3問を選択して解答する。出題分野など詳細については学生募集要項（平成29年3月24日から配布予定）を、過去問はHPをご確認ください。</p> <p>生命環境科学系HP：http://bio.c.u-tokyo.ac.jp/</p> <p>②口述試験 筆記試験の合格者を対象に実施する。</p> <p>【試験内容（博士課程）】</p> <p>口述試験（論文審査を含む）を行う。なお、東京大学大学院修士課程に在学中の受験生以外には、原則として筆記試験も課される。英語に関する筆記試験は無く、TOEFLスコアシートの提出により評価を行う。</p>
<p>■広域システム科学系の紹介・試験内容</p>	<p>【広域システム科学系】</p> <p>広域システム科学系は、自然界から人間社会にいたるさまざまなレベルの複雑な事象の解析や問題の解決に、システム的な思考を駆使して総合的・複合的に取り組んでいます。化学を方法論とする研究室は、自然体系学、複合系計画学の大講座に所属し、各専門分野に固有の分析的方法論を深めると同時に、それらをシステム論的な視点から総合化しようとする新しい基礎科学、環境科学、分析科学、エネルギー科学などの研究アプローチに特色があります。より詳しい研究内容を知りたい方は、広域システム科学系のHP（http://system.c.u-tokyo.ac.jp/）をご覧ください。</p> <p>【試験内容（修士課程）】</p> <p>①筆記試験 900点満点</p> <p>■外国語（英語）300点（注）外国語（英語）の試験は、筆記試験当日に本研究科で実施されるTOEFL（ITP）の受験あるいはTOEFLスコアシートの提出（出願時に受験者が選択）によって行われる。</p> <p>■総合科目 600点（注）数学、物理・宇宙物理、化学、生物学、認知行動科学、地球科学、情報、地理学、地誌学、科学史・科学哲学、社会科学、科学技術社会論の全20問の出題のうち3問を選択して解答する。出題分野など詳細については学生募集要項（平成29年3月24日から配布予定）およびWeb（http://system.c.u-tokyo.ac.jp/）をご確認ください。</p> <p>②口述試験 筆記試験の合格者を対象に実施する。</p> <p>【試験内容（博士課程）】</p> <p>口述試験（論文審査を含む）を行う。なお、東京大学大学院修士課程に在学中の受験生以外には、原則として筆記試験が課される。</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒153-8902 東京都目黒区駒場3-8-1 東京大学大学院総合文化研究科事務部教務課総合文化大学院係 http://www.c.u-tokyo.ac.jp/students/ 電話：03-5454-6050、6049</p>

東京大学大学院薬学系研究科（薬科学専攻、薬学専攻）

<p>■募集学生</p>	<p>平成30年度東京大学大学院薬学系研究科学生募集（薬科学専攻、薬学専攻）</p> <p>■修士課程：大学卒業・卒業見込みの者又はこれに準ずる者</p> <p>■博士後期課程（3年制）：大学院修士課程修了・修了見込みの者又はこれに準ずる者</p> <p>■薬学博士課程（4年制）：6年制大学卒業・卒業見込みの者又はこれに準ずる者</p>
<p>■出願期間</p>	<p>【各課程共通】平成29年6月22日(木)～6月29日(木)</p> <p>■一般選抜、外国人留学生特別選抜、社会人特別選抜（各課程共通）</p> <p>■平成30年4月入学者及び平成29年9月入学者を募集します。</p>
<p>■試験日程等</p>	<p>■修士課程 筆記試験：平成29年8月17日(木)・18日(金) 外国語(英語：TOEFL ITP)、専門科目、一般教育科目 口述試験：平成29年8月18日(金)</p> <p>■博士後期課程 筆記試験：平成29年8月17日(木) 外国語(英語：TOEFL ITP)、専門科目、小論文 口述試験：平成29年8月18日(金) 論文審査：平成30年2月中旬</p> <p>■薬学博士課程 筆記試験：平成29年8月17日(木) 外国語(英語：TOEFL ITP)、専門科目、小論文 口述試験：平成29年8月18日(金)</p> <p>※その他の情報は、各課程の募集要項を参照して下さい。</p>
<p>■インフォメーション</p>	<p>薬学は、医薬の創製から適正使用までを目標とし、低分子有機化合物から生体高分子に渡る生命に関わる物質全般と、物質同士の相互作用から生じる生命現象を研究対象とします。科学の立場から人類の健康維持や増進に積極的に貢献して行ける点が薬学の大きな魅力で、皆さんの人生を賭けて追究するにふさわしい、素晴らしい学問です。本研究科は、明日の創薬生命科学のメインプレーヤーを目指す意欲的な学生を、生物、化学、物理の広い分野から募集します。</p> <p>本研究科は、薬科学専攻と薬学専攻の2専攻、32教室から成り、世界第一線の研究を行っています。また、研究に裏付けられた最高水準の学生教育により、創薬科学および基礎生命科学の発展に寄与する研究者リーダーや、医療行政に貢献する人材、さらには高度医療を担う薬剤師を、アカデミアや官公庁、製薬企業、化学メーカー、病院などに多数輩出しています。</p> <p>薬学基礎研究には、生命現象からその原因分子（主に蛋白質などの生体高分子）やメカニズムを発見するトップダウンの方式と、生物活性分子（主に天然物などの低分子）から生命現象を解明、制御するボトムアップの方式の2つの方法論が存在します。生命科学という総合学問では、2つの方法論が車の両輪のように連携しながら研究を進めていく必要があります。驚くべきことに、1つの研究科内で「病態治療」を旗印に高い水準の両輪を兼ね備えているのは、世界的に見て日本の薬学だけです。</p> <p>本研究科においてこの両輪は、博士課程教育リーディングプログラムをはじめとする統合型教育・研究プログラムによって、ますます連携を強めています。様々な学生支援体制によって、本研究科の博士後期課程学生は全員一定額のサポートを受けます。修士課程から博士後期課程への進学率は40%で、176人中77人が日本学術振興会の特別研究員に採用されています。留学生は大学院学生の8.1%、博士研究員等を含めると54人の外国人が本研究科に参画しています。約50%のセミナーに英語でのディスカッションを取り入れており、高いプロ意識と国際感覚を磨くことができます。各種支援プログラムのもと海外の研究・教育機関に短期留学し（昨年度実績14人）、更なる研鑽を積むこともできます。その一方で、陸上および水上運動会、その他のスポーツ大会を通して、学問以外の人間関係も育んでいます。</p>
<p>■大学院入試説明会の開催</p>	<p>平成29年5月27日(土) 午後1時～ 薬学部講堂（総合研究棟2階）</p>
<p>■問い合わせ・連絡先</p>	<p>東京大学大学院薬学系研究科事務部教務チーム 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 電話：03-5841-4704（午前9時～午後5時） Eメール：gakuin1@mol.f.u-tokyo.ac.jp ホームページ：http://www.f.u-tokyo.ac.jp/exam/</p>

東京大学大学院理学系研究科化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>東京大学大学院理学系研究科化学専攻 修士・博士課程学生募集 平成29年9月入学および平成30年4月入学</p>
<p>■出願期間</p>	<p>平成29年7月3日(月)～7月7日(金)(修士・博士課程4月・9月入学共通)</p>
<p>■試験内容</p>	<p>【修士課程(4月・9月入学共通)】 筆記試験：平成29年8月22日(火) 外国語、専門科目、作文 口述試験：平成29年8月30日(水) 合格発表：平成29年9月12日(火)</p> <p>*博士課程の試験日程等に関しては専攻HPを確認すること。</p>
<p>■インフォメーション</p>     <p>東京大学 大学院 理学系研究科・理学部 SCHOOL OF SCIENCE, THE UNIVERSITY OF TOKYO</p>  <p>東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO</p>	<p>東京大学大学院理学系研究科化学専攻では、基幹研究室(構造化学、物性化学、量子化学、化学反応学、生物有機化学、有機合成化学、物理有機化学、固体化学、分析化学、無機化学、生物無機化学)および、社会連携講座、スペクトル化学研究センター、超高速強光子場科学研究センター、地殻化学実験施設、革新分子技術総括寄付講座、物性研究所、大学院総合文化研究科、大学院新領域創成科学研究科、高エネルギー加速器研究機構、大気海洋研究所、地震研究所、JAXA宇宙科学研究所の化学関連領域の教員が研究と教育に参画しています。化学専攻がカバーする研究分野は極めて広く、化学を中核として、物理学や生物学などの他の自然科学分野との境界領域や、工学、医学、薬学、農学、環境科学などの領域につながる学際的な分野に及んでいます。本専攻では、将来、第一線の研究者として活躍するとともに、次世代の化学者の教育にあたることのできる指導者を育成することを教育の目標としています。そして、最先端領域の研究活動を通じ、新しい研究分野を開拓するとともに、従来の概念を超える自然感と物質感を創出することを研究の目標としています。私たちは、自然科学のあらゆる分野の基礎となる化学の最先端に立ち、新現象の発見や新物質の創製を通じて理学の発展に貢献することを目指しています。</p> <p>化学専攻は、教員約100人、大学院学生約230人、博士研究員約50人から構成されています。最近5年間の実績を見ると、博士課程学生の5割以上、また国内外から集まる研究員の大多数が大学や公的研究機関に就職し、先端研究に従事するとともに、後進の教育に当たっています。また、平成23年度より、「フォトンサイエンス・リーディング大学院」Advanced Leading Graduate Course for Photon Science (ALPS)、平成24年度より「統合物質科学リーダー養成プログラム」Material Educational program for the future leaders in Research, Industry, and Technology (MERIT)を推進する中核専攻の一つとして、若手人材育成に取り組んでいます。平成28年度からは、「修士課程国際卓越大学院コース」Global Science Graduate Course (GSGC)の取り組みも開始しています。化学専攻では、大学院学生や博士研究員の生活支援を充実させるとともに、国内外各地から学生を受け入れ、国際的な環境の下で学生が勉学と研究に打ち込める条件を整えています。そして、将来、国内外の教育・研究の分野において、指導的立場に立って活躍する人材の育成に力を入れています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>第1回：5月6日(土) 13:00～18:00 第2回：6月3日(土) 13:00～18:00 於：東京大学 本郷キャンパス 理学部化学本館5階講堂 第1回と第2回は同じ内容です。入試ガイダンスについては、問合先の専攻ホームページアドレスにて、随時最新情報を掲載します。</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目3番1号 東京大学大学院理学系研究科 事務部大学院担当 電話 03-5841-4023 専攻HP http://www.chem.s.u-tokyo.ac.jp/</p>

東京薬科大学大学院薬学研究科

<p>■募集学生</p>	<p>薬科学専攻修士課程（薬学部やその他理系大学の卒業生もしくは卒業見込みの方） 薬学専攻博士課程（6年制薬学部卒業生もしくは卒業見込みの方、4年制薬学部卒業生で修士修了もしくは修士相当の方、他学部修士課程修了もしくは修了見込みの方） 薬学専攻博士課程では、平成26年度より社会人学生も募集しています。</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>薬科学専攻修士課程：7月中旬 薬学専攻博士課程：9月上旬 締切日時は、正式に決定次第薬学研究科ホームページに掲載します。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>薬科学専攻修士課程（7月下旬）：外国語（英語）と専門科目の筆記試験および面接により判定（専門科目は生物系4問、化学系4問、計8問中2問を選択）、配点は外国語50点、専門50点の計100点満点 薬学専攻博士課程：（9月上旬）：外国語（英語）の筆記試験および口頭試問により判定</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;"> </div>	<p>薬学研究科の大学院生教育では、ヒューマンイズムの精神に基づいて、科学技術の発展および人類の福祉と健康に貢献するための薬学研究を推進できる高度な研究能力と学識を有し、かつ国際社会で活躍できる人材の育成を目的としています。特に、高度医療、医薬品開発、大学教育などの高等教育に関与する薬学研究者としての視点を有する医療人および指導者の育成に主眼を置いています。</p> <p>本学は、136年の歴史の中に創薬基礎研究体系を確立した大学であり、基礎研究の考え方や手法を臨床における薬物治療や医薬品開発に応用する有力な基盤を有しています。そこで薬科学専攻修士課程では、医薬品の創製に係る研究を介し人類の健康と福祉に寄与する研究者としての素養を身につけた人材の育成を目指します。一方本学は、1981年に医療薬学専攻修士課程を日本で初めて設置した大学であり、古くから医学部附属病院等と姉妹校もしくは医薬提携を結び、その基盤を生かした医療薬学研究を推進してきました。そこで平成24年度から設置された薬学専攻博士課程では、このような基盤をもとに基礎薬学コースと臨床薬学コースの2コースを設け、疾病と薬物療法あるいは医薬品開発の基礎から臨床までの流れを理解しつつ、基礎薬学研究の知識と手法を用いて臨床応用を強く意識した研究を遂行できる研究者を育成します。さらには、将来の薬学教育を担う指導者の立場の薬剤師や大学教員の育成も本課程で推進していきます。</p> <p>なお、平成29年度の学生数（予定）は次の通りです。薬科学専攻修士課程：1年次生3名、2年次生6名、薬学専攻博士課程：1年次生12名、2年次生15名、3年次生10名、4年次生13名。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>入試説明会は、6月下旬と7月下旬の2回を予定 場所：東京薬科大学医療薬学研究棟2階医201講義室を予定</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒192-0392 東京都八王子市堀之内1432-1 東京薬科大学薬学部薬学事務課大学院担当 TEL 042-676-7312、FAX 042-676-5413 http://www.toyaku.ac.jp/faculties/pharmacy/grad-school_p</p>

日本女子大学大学院 理学研究科

<p>■募集学生</p>	<p>日本女子大学大学院理学研究科 数理・物性構造科学専攻、物質・生物機能科学専攻 平成29年度大学院博士課程前期・博士課程後期学生募集</p>
<p>■出願期間（予定）</p>	<p>博士課程前期 9月入試 平成29年8月2日(水)～8日(火) 博士課程後期 2月入試 平成30年2月5日(月)～9日(金)</p>
<p>■試験日程および科目（予定）</p>	<p>博士課程前期 9月入試 8月31日(木) 筆記試験 9月 1日(金) 口述試験 社会人出願あり 博士課程後期 2月入試 2月20日(火) 論文発表 2月21日(水) 論文発表・口述試験 社会人出願あり 詳しくは、今後ホームページに掲載される募集要項をご参照ください。</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 30%;">  <p style="text-align: center;">目白キャンパス百年館</p>  <p style="text-align: center;">八十年館</p> </div> <div style="width: 65%;"> <p style="text-align: center;">～深い探求力と自由な発想力を育む、女子総合大学の大学院～</p> <p>本学は「自ら判断し、自ら決定し、自ら実行する力を身につけ、社会に貢献できる女性を養成する」という創立者の精神を受け継ぎ、新しい時代にふさわしい理系女性の教育に積極的に取り組んでいます。本学大学院理学研究科には、数理・物性構造科学専攻と物質・生物機能科学専攻があります。前者には数理構造部門、数理・物質情報部門、構造物性部門があり、数学・情報・物理を基軸とした研究を行っています。後者には物質機能部門・細胞分子機能部門・生理分子機能部門があり、化学、生物を基軸として分子レベルまでの研究を行っています。いずれの部門でも基礎から最先端までの研究を行っており、社会に出てから実践できるように学びます。また、学際的な時代に対応するために、二つの専攻間で専攻を越えた講義の受講、意見交換ができる環境を作っています。是非本研究科で表題に掲げた「深い探求力と自由な発想力」を身につけて欲しいと思います。</p> <p style="text-align: center;">—奨学金—</p> <p>日本学生支援機構奨学金の他、森村豊明会奨励賞、日本女子大学独自の奨学金、奨励賞があります。また、特に理系を目指す学生に対して、学部3年生で申請し、大学院に進学後給付される吉田育英会など、学外の奨学金も申し込みます。</p> <p style="text-align: center;">—国際的な交流—</p> <p>韓国の梨花女子大学、お茶の水女子大学との3大学間での交流（研究発表会など）をはじめ、大学による、学生の国際会議への参加推進方針を受けて、多数の学生が国際会議へ参加し、発表を行っています。また他大学大学院との連携も盛んに行われています。</p> <p style="text-align: center;">—キャンパス—</p> <p>創立からの歩みを見つめてきた目白キャンパスは、都心部にありながら、ゆったりとした時が流れ、落ち着いた環境の中で学ぶことができます。</p> <p>理学研究科に関する詳細は、ウェブサイトをご覧ください。 http://www.jwu.ac.jp/unv/faculty_department/grd_science/about/</p> </div> </div>	
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>詳細は、本学ホームページならびに以下連絡先まで問い合わせ下さい。 ご相談は、オープンキャンパス時にも承ります。また関連資料は、ホームページよりご請求ください。</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1 日本女子大学学務部入学課大学院係 TEL 03-5981-3786 http://www.jwu.ac.jp/</p>

明星大学大学院理工学研究科

<p>■募集学生</p>	<p>明星大学大学院理工学研究科 平成30年度入学生および平成29年度秋季入学生募集 博士前期課程および博士後期課程 化学専攻、物理学専攻、機械工学専攻、電気工学専攻、建築・建設工学専攻、環境システム学専攻（学内推薦、学内一般、一般、社会人、秋季入試があります）</p>
<p>■試験日、出願期間</p>	<p>7月上旬実施入試（出願は平成29年6月上～中旬） 秋季入試、学内推薦（博士前期・後期課程とも共通） 9月下旬実施入試（出願は平成29年9月上～中旬） 学内一般、社会人1期（博士前期・後期課程とも共通）、一般1期（博士前期課程） 2月上旬実施入試（出願は平成30年1月上～中旬） 一般2期（博士前期課程）、社会人2期（博士前期・後期課程とも共通） 一般（博士後期課程） 正式には、4月以降に決定します。詳細は下記問い合わせ先までご連絡下さい。</p>
<p>■試験内容</p> <p>【明星大学へのアクセス】 多摩モノレール利用 最寄り「中央大学・明星大学」駅直結 (1) 新宿駅→（京王線30分）→高幡不動駅 →（多摩モノレール7分）→最寄り駅 (2) 小田急・京王多摩センター駅→（徒歩3分）→多摩センター駅→（多摩モノレール5分）→最寄り駅</p>	<p>博士前期課程 学内推薦：面接 学内一般：専門科目（化学専攻では、物理化学・有機化学・無機化学・分析化学・生化学）と英語（化学専攻、物理学専攻、建築・建設工学専攻を除く）の筆記試験および面接 秋季入試、一般1期、一般2期：専門科目と英語の筆記試験および面接 社会人1期、社会人2期：小論文および面接 博士後期課程 学内推薦：面接 秋季入試、学内一般、一般：専門科目（化学専攻では、特に研究専門分野の内容）と英語の筆記試験および面接 社会人1期、社会人2期：小論文（化学専攻と物理学専攻を除く）および面接 なお、英語に関して、外国人留学生在が受験する場合には、日本語になります。 詳細は下記問い合わせ先までご連絡下さい。</p>
<p>■インフォメーション</p>  <p>都心に近く自然豊かなキャンパス</p>  <p>理工学研究科の研究棟30号館</p>  <p>生命科学・化学系（化学専攻）のHP</p>	<p>理工学研究科 明星大学大学院理工学研究科は6つの特色豊かな専攻からできており、最先端の学問や技術を学びながら、様々な「世界初」を生み出しています。世界の謎を解き明かす新理論、世界の誰も作ったことのない新物質の合成、優れた性能を発揮するエンジン、エネルギー問題の解決に役立つ電力技術、住みやすさと高い防災性を兼ね備えた建築、日常生活と環境保護の両立を可能とする都市設計…etc。大学院では、「未来に繋がる新しい科学・技術」を生み出すために必要な知識や考え方を学びながら、それらを実際に活かして最先端の研究に参加できることが魅力です。</p> <p>化学専攻 化学は、ナノサイエンスや生命科学など複合科学分野の発展の原動力となっており、学界はもとより産業界においても高い専門性を持つ研究者・技術者の需要が高い学問です。化学専攻では、この社会的背景から複合領域の最前線で実践されている無機化学、有機化学、物理化学、分析化学、そして生命科学のそれぞれの分野に対応し、確かな専門性を持つ研究者・技術者の養成を目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●特色ある幅広い分野から自分に適した研究ができます。 (研究例) 遷移金属錯体の振動スペクトルの観測と解析（錯体化学） 分子からできた磁石の開発（磁性） 酵素を用いる有機合成化学（生体触媒化学） 有用な微生物酵素群の探索とその機能解析（応用微生物学） 超音波または光を用いた化学反応（超音波化学） ヌクレオソーム間相互作用の解析（細胞生物学） 生体分子間相互作用の解析（構造生物学） クロマチンの機能、遺伝子発現制御機構の解明（分子生物化学） タンパク質のX線結晶構造解析（生物物理化学） ●奨学金、TA制度が充実しています。 ●中学校教諭専修免許状（理科）、高等学校教諭専修免許状（理科）を取得できます。
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>オープンキャンパスにおいて専攻個別相談、入試相談、施設見学、資料配付等を実施しております。詳細は大学ホームページ（http://www.meisei-u.ac.jp/index.html）等においてご確認ください。</p>
<p>■問合せ先</p>  	<p>〒191-8506 東京都日野市程久保2-1-1 明星大学理工学部支援室係 TEL 042-591-7418 FAX 042-591-7419 E-mail : hino-rikoh-reg-staff（以下、@ml.meisei-u.ac.jp） 理工学研究科HP : http://www.hino.meisei-u.ac.jp/sae/g/aboutus.html</p>

早稲田大学 先進理工学研究科 応用化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>早稲田大学 理工学術院 先進理工学研究科 応用化学専攻 大学院 一般入試（修士・博士後期課程）・社会人特別選考（修士）学生募集 （2017年9月入学及び2018年4月入学を対象） 入学試験要項：ウェブページをご覧ください。 https://www.waseda.jp/fsci/admissions_gs/</p>
<p>■出願期間</p>	<p>1. 一般入試 [修士課程] 2017年9月入学・2018年4月入学 出願：2017/6/6～6/12 筆記試験：2017/7/8 面接試験：2017/7/9 合否：2017/7/21 [博士後期課程] 2017年9月入学 出願：2017/5/8～5/19 面接試験：2017/6/10 合否：2017/6/16 [博士後期課程] 2018年4月入学 出願：2017/12/18～2018/1/9 面接試験：2018/1/27 合否：2018/2/2</p> <p>2. 社会人特別選考 [修士課程] 2017年9月入学 出願：2017/5/8～5/19 面接試験：2017/6/10 合否：2017/6/16 [修士課程] 2018年4月入学 出願：2017/12/18～2018/1/9 面接試験：2018/1/27 合否：2018/2/2</p>
<p>■試験内容</p>	<p>◆修士課程 一般入試：筆記試験及び面接 ◆博士後期課程一般入試・社会人特別選考（修士課程）：口述・面接試験 出願開始日から二年以内のTOEFLまたはTOEIC等の英能力証明書のスコアカード提出有り</p>
<p>■インフォメーション</p> <div data-bbox="114 1563 513 1861" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">応用化学科のある理工65号館と地下鉄入口</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●応用化学専攻は「役立つ化学、役立てる化学」をキーワードに、化学についてとことん学びたい方の意欲に応えます。 ●文部科学省より21世紀COE拠点に引き続いて、グローバルCOE拠点「実践的 化学知」として採択され、「英知」の構築と化学系研究者の「知力」養成を目的 とした研究教育を行ってきました。 ●本学博士キャリアセンターが、博士後期課程学生のキャリアパスをサポートし ます。 ●本学では、博士後期課程学生に対する授業料相当額の奨学金による支援制度が あります。 ●キャンパスは東京都心の東京メトロ副都心線西早稲田駅に直結しています。 ●応用化学専攻に関する詳細はウェブサイトをご覧ください。 http://www.waseda-applchem.jp/
<p>■問 合 先</p>	<p>早稲田大学理工学術院統合事務・技術センター事務部総務課 大学院入試係 〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1 西早稲田キャンパス51号館1階 Email : graduate@sci.waseda.ac.jp 電話：03-5286-3808 Fax:03-5286-1689</p>

神奈川工科大学大学院工学研究科応用化学・バイオサイエンス専攻

<p>■募集学生</p>	<p>博士前期課程（大学学部卒・高専専攻科修了もしくは見込みであること） 博士後期課程（大学院博士前期課程または修士課程を修了もしくは見込みであること） 平成30年4月入学 その他、「社会人入試」も行っています。</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>平成29年8月中旬頃（博士前期・後期課程共通） 平成30年2月上旬頃（博士前期・後期課程共通） 正式には4月以降に決定します。詳細は下記の間合先までご連絡下さい。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>○基礎問題と専門問題を以下のように出題する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎問題：一般化学、一般生化学（生物化学含む）の範囲で各大問1題（小問数題から構成する）を出題し、大問1題を選択とする。 ・専門問題：食品栄養、食品化学、細胞生物学、生物化学、有機化学、無機化学、環境化学、反応工学より1題ずつ出題し、2題選択とする。（電卓の使用可）。
<p>■インフォメーション</p> 	<p>今日、地球規模での環境との調和に配慮した技術体系の確立、また日本をはじめとした先進諸国では高齢化社会を迎え、食や医療に関する知識および技術基盤の整備が強く望まれています。特に、環境との調和と省資源・省エネルギーを基本とした化学プロセスの開発、高機能材料、エレクトロニクスやバイオテクノロジーの分野に於ける技術革新、新エネルギーの開発、食品の機能性の探索、生活習慣病の予防などは重要な課題であり、いずれも応用化学、バイオサイエンスが取り組むべき対象でもあります。</p> <p>本専攻では、このような社会的要請に応えるべく、諸分野にわたる幅広い基礎知識と応用力を養うことで、将来、有能な化学技術者、バイオ技術者、食と健康のスペシャリストとして活躍でき、しかも創造力と広い視野を合わせ持つ人材の輩出を目指しています。</p> <p>本学では、平成18年度から応用バイオ科学科を、平成22年度からは栄養生命科学科（管理栄養士養成課程）を開設し、化学およびバイオサイエンスを基盤とする教育と研究の充実に努めてきました。また、本専攻は2コース制（「応用化学コース」と「バイオサイエンスコース」）に再編し、カリキュラムの改訂、充実を行いました。「応用化学コース」は、主に応用化学科で応用化学に関する工学教育を受けてきた学生を対象とし、「バイオサイエンスコース」は、主に応用バイオ科学科と栄養生命科学科でバイオサイエンスや食品科学に関する教育を受けてきた学生を対象としています。これらの学科を基礎とした専攻として、さらに4つの履修プランを設けています。これらは「食品・栄養工学」「物質・材料工学」「生物・細胞工学」「環境・健康プロセス工学」からなり、それぞれのコースの特徴を活かした学習を可能としています。これらの履修プランには必修科目としてPBL系科目である「総合プロジェクト」、選択必修科目として「特別研究」と「長期インターンシップ」を置いてあります。また、大学院生が学ぶ上で専門の基礎となる科目と応用科目を分けて配置し、さらに特定の分野の最先端を学ぶことのできる科目を配置しました。</p> <p>博士後期課程も同様に「応用化学コース」と「バイオサイエンスコース」に大きく分け、単位制を採用するとともに、研究指導科目として「特別研究（博士論文）」を置いてあります。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>特別に設けてありませんので、詳細は下記の間合先までご連絡下さい。</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>お問い合わせのフォームがホームページにありますので、それをご利用下さい。 詳しくはホームページをご覧ください。 http://www.kait.jp/ug_gr/postgraduate/ または専攻主任、澤井淳の下記メールアドレス宛に直接お問い合わせ下さい。 Email : sawai@bio.kanagawa-it.ac.jp（@を半角に修正してお使い下さい。） 神奈川工科大学大学院工学研究科応用化学・バイオサイエンス専攻</p>

神奈川県立大学大学院 理学研究科 理学専攻 化学領域

■募集学生	平成30年（2018年）4月入学 博士前期課程および博士後期課程
■出願期間（年間予定）	<p>2017年秋季入試 博士前期課程 出願期間 2017年7月3日(月)～7月7日(金) (消印有効) 試験日 2017年9月5日(火) [筆記試験] 2017年9月6日(水) [口述試験] 合格発表 2017年9月9日(土)</p> <p>2018年春季入試 博士前期課程・博士後期課程 出願期間 2018年1月22日(月)～1月26日(金) (消印有効) 試験日 2018年3月8日(木) [筆記試験] 2018年3月9日(金) [口述試験] 合格発表 2018年3月14日(水)</p>
■試験内容	<p>博士前期課程 一般入試・外国人留学生 [筆記試験] 外国語(90分、100点)および専門(120分、200点) [口述試験] 志望領域について 社会人特別入学 [筆記試験] 外国語(90分) [口述試験] 志望領域について</p> <p>博士後期課程 一般入試・外国人留学生 [筆記試験] 外国語(90分) [口述試験] 修士論文、志望研究領域について 社会人特別入学 [口述試験] 修士論文、志望研究領域について</p> <p>本専攻は、数学、物理学、情報科学、化学、生物科学の5領域からなる。志望するものは、本人が専攻しようとする領域を選択する。外国語の試験は領域の内容に関する英文を課す。専門の試験は領域ごとに行ない、化学領域では、無機・分析化学、有機化学、物理化学の3分野の基礎的事項および専門分野に関する問題を出題する。</p>
■インフォメーション	<p>理学研究科は、数学、物理学、情報科学、化学、生物科学の5領域が緊密に連携しながら教育と研究を行なう。</p> <p>化学領域の研究室と研究主題： 加部義夫研究室（有機ケイ素化学、フラールン化学）、河合明雄研究室（イオン液体を利用した新規光現象の発見・解明や新物質開発、光による電子スピン分極発生と活性酸素や光重合反応の計測）、川本達也研究室（酸化還元活性な金属錯体の合成、水の光分解のための錯体触媒の開発、酵素類似機能を有する金属錯体の開発）、木原伸浩研究室（官能基相互作用を利用した分子システム・分子触媒、有機合成反応の開発、酸化分解性高分子材料の開発）、辻勇人研究室（有機合成反応の開発、発光性・導電性有機化合物の合成、σおよびπ共役系の構造物性相関の研究）、西本右子研究室（環境を視野に入れた機能水、室内環境、出土資料などの分析化学の研究）、平田善則研究室（芳香族化合物の溶液中の光物理過程、光化学初期過程、液体のダイナミクス、相転移と形態発生）、堀久男研究室（環境有害・負荷物質の分解・無害化、再資源化反応の開発）、松原世明研究室（実在反応系の理論設計、ONIOM分子動力学法・新規分子理論の開発と応用）、山口和夫研究室（ホスト・ゲスト複合体の合成と構造解析、感光性分子集合体の開発、感光性表面修飾剤の開発）</p>
■大学入試ガイダンスの開催	<p>①2017年4月5日(水) 13:30～15:00 ②2017年6月10日(土) 13:30～15:00 いずれも湘南ひらつかキャンパス6号館304教室にて開催</p>
■問 合 先	木原伸浩（〒259-1293 平塚市土屋2946 神奈川県立大学理学部化学科、Tel 0463-59-4111、E-mail kihara@kanagawa-u.ac.jp）

東京工芸大学大学院

<p>■募集学生</p>	<p>平成30年度入学生および平成29年度秋季入学生 工学研究科工業化学専攻博士前期課程大学院生（社会人選抜を含む） 工学研究科工業化学専攻博士後期課程大学院生（社会人選抜を含む） 募集定員は前期課程20名、後期課程2名、秋季入学生は若干名</p>
<p>■願書受付期間</p>	<p>平成29年度秋季入学生（試験日：平成29年5月27日、9月入学） 平成29年5月15日～5月19日 平成30年度入学生 Ⅰ期（試験日：平成29年10月7日） 平成29年9月18日～9月29日 Ⅱ期（試験日：平成30年2月24日） 平成30年2月9日～2月16日 各々願書受付に先立って受験資格認定申請期間があります。日程および対象者の詳細についてはお問い合わせ下さい。</p>
<p>■試験内容</p> <p>（平成29年度秋季入学試験、平成30年度Ⅰ・Ⅱ期入学試験共通）</p>	<p>博士前期課程大学院Ⅰ期：平成29年10月7日、Ⅱ期：平成30年2月24日 一般入学試験：筆記試験（英語・専門科目）・口述試験 社会人入学試験：口述試験のみ</p> <p>博士後期課程大学院生 Ⅰ期入試 平成29年10月7日、Ⅱ期入試 平成30年2月24日 一般：筆記試験（英語）・口述試験 社会人入学試験：口述試験のみ</p>
<p>■インフォメーション</p>  <p style="text-align: center;">東京工芸大学厚木キャンパス 10号館（化学系研究棟）</p>	<p>http://www.t-kougei.ac.jp/graduate/engineering/ http://www.lssc.t-kougei.ac.jp/</p> <ul style="list-style-type: none"> ■世界水準の研究環境 <ul style="list-style-type: none"> ・ナノ科学研究センターを拠点にグリーンナノテクノロジーを展開 ・国内外との共同研究（中国、ベトナム、韓国、台湾、タイ、ドイツ、USA等） ■材料化学を中心とした基礎研究重視 ■小規模大学院ならではの恵まれた研究環境 <ul style="list-style-type: none"> ・広い研究スペース/人 ・1教員3名までの少人数できめこまかな指導 ・恵まれた大型マシーン占有時間 ・TAのチャンスが豊富（学部教育（生命環境化学科）との連携） ■優れた大規模研究助成の実績（工学研究科4専攻協同） ハイテクリサーチ（2）、学術フロンティア（4）、私大戦略的研究基盤形成、21世紀COE、グローバルCOE、文科省共同利用・共同研究拠点、私大ブランディング ■環境関連分野を重視した研究を展開するうえで最適な研究環境 <ul style="list-style-type: none"> ・都心に近いながらも自然豊かな落ち着いた環境 ・神奈川県および厚木市や近隣市町村との連携、地域貢献 ・環境関連資格・化学関連資格取得支援 ■研究業績が特に優れていると認定された場合所定の年限未満学位取得可能（博士後期課程で実績あり） ■工学研究科と芸術学研究科からなる組織ならではのユニークな研究環境 ■工業化学のコア科目に加えて特徴あるカリキュラム サイエンスコミュニケーター養成講座（国立科学博物館と連携、私大唯一） 国際コミュニケーションリテラシー、英語コミュニケーション演習、修士キャリアデザイン演習 ■中学校教諭専修（理科）高等学校教諭専修（理科）認定大学院 ■就職率100%（平成27、26、25、24、23年度実績） ■国際学会参加費用支援制度（10万円/年度/人、東京工芸大学後援会）
<p>■入試ガイダンス</p>	<p>特に予定なし 施設等見学希望歓迎（随時受け付け、共同研究、技術相談も可）</p>
<p>■問い合わせ先</p> 	<p>〒243-0297 神奈川県厚木市飯山1583 ・東京工芸大学入試課（工学研究科担当） E-mail：admission.atsugi@office.t-kougei.ac.jp 電話（046）242-9520（直）FAX（046）242-3000 ・東京工芸大学生命環境化学科事務室（大学院担当） E-mail：chemjimu@chem.t-kougei.ac.jp 電話（046）242-9513 FAX（046）242-3000</p>

横浜市立大学大学院（生命医科学研究科・生命ナノシステム科学研究科）

<p>■募集学生</p>	<p>■生命医科学研究科 生命医科学専攻 博士前期課程 40名 博士後期課程 10名</p> <p>■生命ナノシステム科学研究科 博士前期課程 物質システム科学専攻 30名 生命環境システム科学専攻 30名</p> <p>■生命ナノシステム科学研究科 博士後期課程 物質システム科学専攻 5名 生命環境システム科学専攻 5名</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>■生命医科学研究科 博士前期課程 学外推薦：平成29年6月6日(火)～6月9日(金) 第1期募集：平成29年7月26日(水)～7月28日(金) 第2期募集：平成29年10月30日(月)～11月2日(木)</p> <p>■生命ナノシステム科学研究科 博士前期課程 第1期募集 平成29年7月26日(水)～7月28日(金) 第2期募集 平成29年11月7日(火)～11月9日(木)</p> <p>※博士後期課程は、両研究科ともホームページでご確認ください。 (平成29年5月以降掲載予定)</p>
<p>■試験内容</p> <p>※生命ナノシステム科学研究科 博士前期課程入試において、「筆記試験(英語)」を廃止し、出願時にTOEIC等の『英語資格のスコア等の証明書原本』を提出する方式に変更します。 (詳細は、大学ホームページ、募集要項でご確認ください。)</p>	<p>■生命医科学研究科 博士前期課程 学外推薦：平成29年7月1日(土) 第1期募集：平成29年8月23日(水) 第2期募集：平成29年11月25日(土)</p> <p>※試験内容の詳細は、募集要項をご確認ください。(平成29年5月下旬発行予定)</p> <p>■生命ナノシステム科学研究科 博士前期課程 第1期募集：平成29年8月22日(火) 第2期募集：平成29年12月2日(土)</p> <p>※試験内容の詳細は、募集要項をご確認ください。(平成29年4月下旬発行予定)</p>
<p>■インフォメーション</p>	<p>■生命ナノシステム科学研究科《物質システム科学専攻・生命環境システム科学専攻》 生命ナノシステム科学研究科は、「生命・物質機能を中心とした自然現象を分子・原子を基盤としたシステムとして解明する」ことを目標とします。</p> <p>《物質システム科学専攻【金沢八景キャンパス】》 電子・原子・分子レベルのナノスケールシステムにおける物質科学を展開し、生命を構築する複雑な高分子物質の構築原理の解明を目指す。</p> <p>《生命環境システム科学専攻【金沢八景キャンパス・舞岡キャンパス】》 生物が外環境に適応して生命活動を営むシステムや、生命の内環境の恒常性を維持するシステム、また生命が自らの発生プログラムに基づいて生命体を形成する発生システムの分子基盤を解明する。</p> <p>■生命医科学研究科《生命医科学専攻》【鶴見キャンパス】 生命医科学研究科は生命科学と医科学の融合により総合的かつ戦略的展望のもとに系統的に研究を展開し、それを基盤とした先端的かつ実践的な教育体制によって、21世紀に求められる生命医科学研究のエキスパートの養成を目指します。また、理化学研究所と産業技術総合研究所との連携により教育・研究を行います。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>■生命医科学研究科：鶴見キャンパスで開催（5/20、7/15、10/21）</p> <p>■生命ナノシステム科学研究科：金沢八景キャンパス等で開催予定（4/29、7月初旬、10月下旬）</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>■生命医科学研究科《生命医科学専攻》 〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-7-29 横浜市立大学教育推進課鶴見キャンパス担当入試担当 TEL 045-508-7201 FAX 045-505-3531 http://www-mls.tsurumi.yokohama-cu.ac.jp/</p> <p>■生命ナノシステム科学研究科《物質システム科学専攻・生命環境システム科学専攻》 〒236-0027 横浜市金沢区瀬戸22-2 横浜市立大学アドミッションズセンター大学院担当 TEL 045-787-2054 FAX 045-787-2057 http://www.yokohama-cu.ac.jp/</p>

長岡技術科学大学大学院工学研究科 物質材料工学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>■修士課程 (1) 大学を卒業した者及び3月（9月入学にあっては8月）までに卒業見込みの者 (2) 大学改革支援・学位授与機構において、学士の学位を授与された者及び3月（9月入学にあっては8月）までに授与される見込みの者 (3) 本学大学院の個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、3月31日までに22歳に達する者（高等専門学校専攻科修了者）</p> <p>■博士後期課程 物質材料工学専攻の修了者は、博士専攻（材料工学、エネルギー・環境工学）への進学ができます。また修士一博士一貫コース（異分野チーム編成融合型グローバルリーダー養成コース、環太平洋拠点（グローバル人材養成）コース）があり、持続型社会を支え、牽引できるグローバル社会に即応した実践型博士の養成を目指しています。 (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び3月（9月入学にあっては8月）までに修士の学位又は専門職学位を授与される見込みの者 (2) 本学大学院の個別の出願資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達した者及び3月31日（9月入学にあっては8月31日）において、24歳に達する者</p>
<p>■入試日程</p>	<p>■修士課程 9月入学 ・一般・社会人・外国人入試 募集：平成29年4月21～26日 試験：平成29年5月23日 4月入学 ・高等専門学校専攻科修了見込者推薦入試 募集：平成29年6月5～8日 試験：平成29年7月5日 ・一般・社会人・外国人入試 (1回募集) 募集：平成29年6月5～8日 試験：平成29年7月4日 (2回募集) 募集：平成29年11月1～6日 試験：平成29年11月21日 (3回募集) 募集：平成29年1月15～18日 試験：平成30年2月1日 一貫コースへの参加は物質材料工学専攻1年次4月頃に募集を行なっています。 ＊第3回募集は定員以上の合格者数に達している場合は行わない場合がある。</p> <p>■博士後期課程 9月入学 ・一般（外国人含む）・社会人入試 募集：平成29年4月21～26日 試験：平成29年5月23～24日 4月入学 ・一般（外国人含む）・社会人入試 (1回募集) 募集：平成29年8月17～22日 試験：平成29年9月13～14日 (2回募集) 募集：平成30年1月15～18日 試験：平成30年1月31～2月1日</p>
<p>■試験内容</p>	<p>■修士課程 ・高等専門学校専攻科修了見込者推薦入試 面接及び提出された書類の各結果を総合して行います。面接は個人面接です。 ・一般・社会人・外国人入試 口述試験及び面接の各結果と提出された調書等の内容を総合して行います。</p> <p>■博士後期課程 ・一般（外国人含む）・社会人入試 学力試験及び提出された書類の各結果を総合して行います。ただし、海外在住者においては、本学大学院の判断により、本学試験場での試験を免除する事があります。</p>
<p>■インフォメーション</p>  <p style="text-align: center;">  長岡技術科学大学 Nagaoka University of Technology </p>	<p>本学大学院では、活力 (Vitality)、独創力 (Originality) 及び世のための奉仕 (Services) を重んじるVOSの精神をモットーとして、実践的・創造的能力を備え国際的に通用する指導的技術者・研究者を養成することを目的としています。</p> <p>物質材料工学専攻では、物質・材料に係わる知識の徹底的習得とエンジニアデザイン能力の育成と共に、研究プロジェクトへの参画による創造的研究の遂行、研究成果を強い印象で伝えるプレゼンテーション能力の養成等の項目に重点を置いたVOS教育を行います。</p> <p>また、博士後期課程ならびに修士～博士一貫コース（5年一貫制博士課程）においては、博士ダブルディグリー・プログラムをマレーシア科学大学（マレーシア）、チュラロンコン大学（タイ）、グアナファト大学（メキシコ）、ハノイ工科大学（ベトナム）と行っており、修士課程では協定大学への1～3ヶ月間の海外インターンシップ派遣も可能です。これにより、産業の主役となる最先端材料を自ら開発できる実践的能力と、国際的に活躍できる指導的能力を備えた技術者・研究者を輩出し、社会の持続的発展に貢献できる挑戦的な人材の育成を目指しています。</p> <p>物質材料工学専攻は、物質機能工学講座、材料設計工学講座、エネルギー・環境材料工学講座、およびバイオ複合材料工学講座の4つの講座で構成されており、それらの中に現在16の研究室が開設されています。入学した院生は、各自希望する何れかの研究室に所属し、指導教員の研究指導を受け特別実験を直ちに開始します。そして、研究室ごと又は専門の近い複数の研究室で合同して実施されるセミナーの他に、共通科目（修士課程のみ）と専攻科目を履修します。物質材料工学専攻ホームページ http://mst.nagaokaut.ac.jp/</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒940-2188 新潟県長岡市上富岡町1603-1 長岡技術科学大学 入学試験第1係 TEL：0258-47-9271/9273 FAX：0258-47-9070 http://www.nagaokaut.ac.jp/</p>

総合研究大学院大学 物理科学研究科 構造分子科学・機能分子科学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>総合研究大学院大学 物理科学研究科 構造分子科学専攻・機能分子科学専攻 5年一貫制博士課程および博士後期課程（3年次編入学）学生募集</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>【5年一貫制博士課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆平成30年4月入学（第1回）：平成29年8月25日(金)～8月31日(木) ◆平成30年4月入学（第2回）・平成30年度10月入学： 平成29年11月24日(金)～平成29年11月30日(木) <p>【博士後期課程（3年次編入学）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆平成29年10月入学・平成30年度4月入学（第1回）： 平成29年7月21日(金)～平成29年7月27日(木) ◆平成30年4月入学（第2回）・平成30年10月入学： 平成29年11月24日(金)～平成29年11月30日(木) <p>上記はいずれも予定で、正確には下記HPまたは問合せ先に確認ください。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>【5年一貫制博士課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆平成30年度4月入学（第1回）：平成29年9月25日(月)～9月26日(火) ◆平成30年度4月入学（第2回）・平成30年度10月入学： 平成30年1月29日(月)～1月30日(火) <p>◆選抜方法：書類選考、筆記試験、面接。筆記試験は英語(60分)と専門科目(120分)。英語は、TOEFLまたはTOEICのスコアが要求得点（TOEFL-CBT：173、TOEFL-PBT：500、TOEFL-iBT：61、TOEIC：586）以上の場合、免除。専門科目は、物理化学、有機化学、無機化学、生物化学、物理学A（古典力学、電磁気学）、物理学B（量子力学、熱統計力学）の6科目から2科目を出願時に選択し、その2科目4題のうちから試験時に任意の3題を選択解答。</p> <p>【博士後期課程（3年次編入学）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆平成29年10月入学・平成30年4月入学（第1回）： 平成29年8月21日(月)～平成29年8月22日(火) ◆平成30年4月入学（第2回）・平成30年度10月入学： 平成30年1月29日(月)～平成30年1月30日(火) <p>◆選抜方法：書類選考、面接。 面接では、これまでに行った研究及び今後志望する研究の内容を中心に行う。</p> <p>上記はいずれも予定で、正確には下記HPまたは問合せ先に確認ください。</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;">  <div style="text-align: left; margin-left: 10px;"> <p>国立大学法人 総合研究大学院大学 THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="text-align: left; margin-left: 10px;"> <p>大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 分子科学研究所 Institute for Molecular Science</p> </div> </div>	<p>総合研究大学院大学（総研大）は学部をもたない大学院のみの大学です。学部卒から入学する5年一貫制博士課程、修士修了から入学する博士後期課程（3年次編入学）が設けられています。物理科学研究科の構造・機能分子科学専攻の学生は基盤機関の一つである自然科学研究機構・分子科学研究所において、最先端の研究施設を用いた高いレベルの博士研究を進め学位を取得できます。分子科学における世界の最先端研究技術・研究者の交流拠点であるため、幅広い視野や独創性、国際性が身に付きます。また、学生一人ひとりに対する手厚い教育体制を整えております。短期海外留学のほか、国内の大学・公的研究機関へのインターンシップに対する援助、学生主導によるセミナーの開催、他の総研大基盤機関や受入海外留学生との交流など、さまざまなユニークな教育を実施しています。</p> <p>構造分子科学及び機能分子科学専攻では全年次の大学院生にRA（リサーチアシスタント）などによる経済的支援（博士後期課程で年額100万円程度）を行っており、さらに、特に優れた研究能力および将来研究者となる意欲を有する学生には、特別時間給を支給するSRA制度を適用、学生生活を支援しております。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆オープンキャンパス・分子研シンポジウム：平成29年6月2日(金)～6月3日(土) ◆夏の体験入学：平成29年8月7日(月)～8月10日(木)
<p>■問 合 先</p>	<p>自然科学研究機構 岡崎統合事務センター 総務部国際研究協力課 大学院係 〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38番地 電話 0564-55-7139 E-mail : r7139@orion.ac.jp https://www.ims.ac.jp/</p>

豊橋技術科学大学大学院工学研究科 環境・生命工学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>博士前期課程 環境・生命工学専攻 平成30年4月入学 博士後期課程 環境・生命工学専攻 平成29年10月入学および平成30年4月入学</p>
<p>■入試日程および内容</p> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>I. 博士前期課程 環境・生命工学専攻（平成30年4月入学）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 専攻科グローバル・リーダー育成特別入試 出願期間：平成29年4月24日(月)～4月28日(金) 入試実施日：書類選考のみ ② 高等専門学校専攻科修了生推薦入試 出願期間：平成29年4月28日(金)～5月8日(月) 入試実施日：平成29年7月3日(月) ③ 一般入試（第1次募集）、社会人入試（第1次募集） 出願期間：平成29年7月18日(火)～7月25日(火) 入試実施日：平成29年8月31日(木) ④ 一般入試（第2次募集）、社会人入試（第2次募集）、外国人留学生入試 出願期間：平成29年12月4日(月)～12月8日(金) 入試実施日：平成30年2月6日(火) <p>II-1. 博士後期課程 環境・生命工学専攻（平成29年10月入学）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 一般入試、社会人入試、外国人留学生渡日前入試 出願期間：平成29年6月12日(月)～6月16日(金) 入試実施日：平成29年7月11日(火) [外国人留学生渡日前入試は書類選考のみ] <p>II-2. 博士後期課程 環境・生命工学専攻（平成30年4月入学）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 一般入試（第1次募集）、社会人入試（第1次募集）、外国人留学生渡日前入試（第1次募集） 出願期間：平成29年7月24日(月)～7月31日(月) 入試実施日：平成29年9月1日(金) [外国人留学生渡日前入試は書類選考のみ] ② 一般入試（第2次募集）、社会人入試（第2次募集）、外国人留学生渡日前入試（第2次募集） 出願期間：平成29年12月21日(木)～12月26日(火) 入試実施日：平成30年2月5日(月) [外国人留学生渡日前入試は書類選考のみ] <p>*入試科目・日時については、募集要項をご確認下さい。 *「環境・生命工学専攻」では、長期履修制度を実施して、一般社会人の皆さんの学位と高度専門知識の取得を支援しています。これは、就職している方、育児・介護等の事情がある方など、標準修了年限（博士前期課程2年、博士後期課程3年）での修了が困難な方が、標準修業年限を超えて、一定の期間にわたり、計画的に教育課程を履修して、修了・学位取得する制度です。この場合の授業料は、標準修業年限分と同額です。</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>「環境・生命工学専攻」（大学院博士前期課程）は、環境と生命の双方に密接に関わる科学分野および関連する先端環境技術の教育・研究を行い、自然との共生を基礎にした人類の幸福・発展に貢献できる人材、かつ国際社会で活躍できる人材の育成を目指しています。環境・生命工学専攻は「生命・物質工学コース」および「未来環境工学コース」からなり、入学した学生はいずれかのコースに所属します。いずれの教育コースとも、狭い専門にとらわれない幅広い視野と思考能力をもち、国際的に活躍できる指導的技術者を養成します。「生命・物質工学コース」は分子機能化学分野および生命工学分野から構成され、基礎化学、応用化学、生命科学、バイオテクノロジー等に関する基礎・専門科目の修得と実験・研究を通じて、応用化学分野や生命科学分野で活躍できる人材の養成を目指します。「未来環境工学コース」は生態工学分野、先端環境技術分野から構成され、基礎化学、応用化学、化学工学、生態工学、先端エレクトロニクス応用技術等に関する基礎・専門科目の修得と実験・研究を通じて、社会の持続的発展に貢献する環境科学の素養を備えた人材の養成を目指します。本専攻は、化学、化学工学、工業化学、物質工学、生命科学の化学関連分野を学んだ皆さんの能力をさらに発展させるためのカリキュラム、指導体制が整っており、また、学内の他専攻・センター・研究所はもとより、国内外の大学・研究機関と連携して、研究活動を展開しています。入学後は、直ちに各研究室に所属し、指導教員の指導を受けて特別研究を開始します。研究室ごとに実施する演習を行うとともに、共通科目と専攻科目を履修します。</p> <p>「環境・生命工学専攻」（大学院博士後期課程）は、物質・材料に関連する学内の研究者によって従来の学術分野の枠組みを越えて組織されており、科学技術をより高度な水準へと発展させてゆくため欠かすことができない、より優れた高性能・高機能な新規物質・材料の開発を推進しています。こうした物質、材料の設計・合成・解析・応用に関する開発研究・教育を通じて、国際社会で活躍できる人材を養成しています。</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 豊橋技術科学大学入試課 TEL：0532-44-6581：FAX：0532-44-6582 電子メールアドレス：nyushi@office.tut.ac.jp ホームページアドレス：http://www.tut.ac.jp/</p>

名古屋工業大学大学院工学研究科共同ナノメディン科学専攻

■募集学生
 名古屋工業大学工学研究科・名古屋市立大学薬学研究科共同大学院（博士後期課程）
 共同ナノメディン科学専攻
 ・平成29年10月入学
 ・平成30年4月入学

■出願期間（年間予定）
【平成29年10月入学】平成29年7月中旬
 ※詳細については、学生募集要項（4月上旬に配付開始予定）や本学ホームページで御確認ください。
【平成30年4月入学】第1次募集：平成29年7月中旬
第2次募集：平成30年1月中旬
 ※詳細については、学生募集要項（4月下旬に配付開始予定）や本学ホームページで御確認ください。
 名古屋工業大学ホームページ <http://www.nitech.ac.jp/>
 ○出願にあたっては、あらかじめ指導を希望する教員と研究内容や出願について相談してください。

■試験内容
【平成29年10月入学】
 試験日 平成29年8月下旬予定
 試験内容 口述試験及び面接
【平成30年4月入学】
 第一次募集 試験日 平成29年8月下旬予定
 試験内容 口述試験及び面接
 第二次募集 試験日 平成30年1月下旬予定
 試験内容 口述試験及び面接

■インフォメーション

薬学は医薬品の創成、また工学は材料・デバイスなどの創成に関わる学問分野で、両者には「ものづくり」という大きな共通理念があります。しかし、ターゲットである「もの」の違いから、両者はこれまで独自の専門性を持って発展しており、研究・教育ともに連携の機会は必ずしも多くありませんでした。

工学の諸分野では、新規機能性物質・材料の開発研究、特にナノテクノロジー研究が近年ますます活発ですが、その中には医薬応用を指向したものも少なくありません。また、薬学分野においても、創薬に関する新規知見が年々集積されており、両分野の融合による創薬の機会とその重要性は、今後さらに増すものと予想されます。

そこで、薬学の強みである先進創薬と薬物送達・動態科学、工学の強みであるナノテクノロジーとナノバイオロジーそしてプロセス工学とを併せ持った、薬・工両方に精通した薬工融合型人材を育成するために、名古屋工業大学と名古屋市立大学による共同教育課程として、共同ナノメディン科学専攻を設置しました。

本共同専攻の教育研究は、先進薬学と先進ナノ工学を駆使し、薬を「つくる（創薬）」、「輸送する（送達・動態）」、そして「評価する（薬効評価）」の3つの部門から構成されています。

- 機能医薬創成学部門**
 機能性医薬品を開発するため、薬品の先進的合成法とナノデバイス化の融合を目指した部門
- 薬物送達・動態科学部門**
 生体内での薬物移動及び動態を調べると同時に、ドラッグデリバリー等の機能性分子を開発する部門
- 医薬支援ナノ工学部門**
 投与された医薬品がどのように生体に効果が発現されるかを細胞・組織・ナノ分子レベルで調査・評価する部門

■大学院入試ガイダンスの開催
 5月下旬から6月上旬の間に開催する予定です。決まり次第名古屋工業大学ホームページ <http://www.nitech.ac.jp/> に掲載しますのでご確認ください。

■問 合 先
 名古屋工業大学学務課入試室
 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
 TEL : 052-735-5083 FAX : 052-735-5084
 Email : nit.nyushi@adm.nitech.ac.jp.

名古屋大学大学院工学研究科化学生命工学系
有機・高分子化学専攻、応用物質化学専攻、生命分子工学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>平成30年4月入学および平成29年10月入学 名古屋大学大学院 工学研究科 化学生命工学系 有機・高分子化学専攻、応用物質化学専攻、生命分子工学専攻 博士前期課程（修士課程）募集（留学生入試を含む） および 博士後期課程学生募集（留学生入試を含む）</p>
<p>■出願期間</p>	<p>願書受付期間 平成29年7月10日(月)～13日(木) ※詳細日程は学生募集要項（5月発行）をお取り寄せの上ご確認願います 名古屋大学大学院工学研究科HPからも確認できます (http://www.engg.nagoya-u.ac.jp/prospective/g_admission.php)</p>
<p>■試験内容</p>	<p>【博士前期課程】 平成29年8月22日(火)～8月25日(金) 筆記試験（基礎科目、専門科目）および面接 英語についてはTOEICまたはTOEFLのスコアを願書受付時に提出 基礎科目：下記のA群あるいはB群の問題を選択すること。 A群：下記の5科目から4科目選択とする。 基礎物理化学、基礎有機化学、基礎無機化学、基礎分析化学、数学 B群：下記の2科目の中から1科目選択とする。 生物化学、有機化学・高分子化学 専門科目：下記のA群あるいはB群の問題を選択すること。（基礎科目でA群を選んだ場合は専門科目もA群を、基礎科目でB群を選んだ場合は専門科目もB群を選択すること。） A群：下記の4科目から7問を出題し、うち4問を解答する。 物理化学2問、有機化学2問、無機化学2問、分析化学1問 B群：下記の6科目の中から2科目選択とする。 分子生物学、生物化学工学、微生物学、生物有機化学、生物材料化学、蛋白質化学 過去の試験問題をホームページに掲載しています。</p> <p>【博士後期課程】 平成29年8月22日(火)～8月25日(金) 筆記試験（専門科目）および口頭試問 英語についてはTOEICまたはTOEFLのスコアを願書受付時に提出 専門科目：下記のA群あるいはB群の問題を選択すること。 A群：下記の4科目から7問を出題し、うち4問を解答する。 物理化学2問、有機化学2問、無機化学2問、分析化学1問 B群：下記の6科目の中から2科目選択とする。 分子生物学、生物化学工学、微生物学、生物有機化学、生物材料化学、蛋白質化学 口頭試問はこれまでの研究についてのプレゼンテーション</p>
<p>■インフォメーション</p> 	<p>◆「物質の構造、性質、反応および新しい材料を構成する新規物質の開発や生命現象の分子レベルでの解明から生物の工学的応用に至る幅広い化学分野の専門知識を習得し、化学に基づく総合力に加えて広い視野と新たな思考力を有し、化学の力で未来社会を構築することに強い意欲をもつ人」を他大学・他分野からも広く募集しています。</p> <p>◆化学生命工学系の3専攻は、次世代の化学・生命分野を担う研究者を育成することをめざしています。このため、高度な専門知識と関連分野の幅広い知識を習得できるよう、基礎から最先端の教科を組み入れたカリキュラムで教育を行っています。さらに、各研究室では世界の第一線で活躍する教員がマンツーマンによってきめ細かく指導し、実践的研究能力の向上をはかっています。当分野の大学院生の多くのが、在学中に優れた研究成果をあげ、学会や一流学会誌にその成果を発表しています。外国からの学者の訪問や講演も頻繁に行われ、外国人留学生の数も増加しています。充実した研究環境のもと、世界最先端の研究に思う存分に打ち込めます。</p> <p>◆有機・高分子化学専攻8研究室、応用物質化学専攻8研究室、生命分子工学専攻7研究室の計23研究室から構成されています。その研究内容は、機能高分子・機能触媒・機能性有機物質・ファインセラミックス・固体機能物質などの合成や解析、生体分析や環境・エネルギーに関連する化学技術、計算化学、分子生命化学、生体分子工学、遺伝子工学、環境化学、医用工学など多岐にわたっており、化学・生命分野に関わる幅広い分野を網羅しています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>説明会を平成29年5月13日(土)に開催します ※詳細は下記URLに確定次第掲載します</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院工学研究科化学生命工学科事務室 TEL 052-789-4276, 052-789-2660 FAX 052-789-3180 http://www.chembio.nagoya-u.ac.jp/</p>

三重大学大学院生物資源学研究科

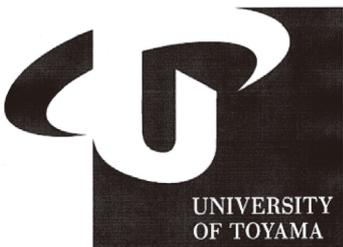


<p>■募集学生</p>	<p>三重大学大学院生物資源学研究科 平成29年10月入学博士前期課程・博士後期課程 平成30年4月入学博士前期課程・博士後期課程</p>
<p>■試験日、出願期間</p>	<p>博士前期・後期課程（平成29年10月入学、および、平成30年4月入学 第1次募集） 試験日：前期課程 平成29年8月22日(火)、後期課程 平成29年8月23日(水) 出願期間：平成29年7月10日(月)～7月14日(金) 9時～17時 博士前期・後期課程（平成30年4月入学 第2次募集） 試験日：前期課程 平成30年1月23日(火)、後期課程 平成30年1月24日(水) 出願期間：平成29年12月11日(月)～12月15日(金) 9時～17時</p>
<p>■試験内容</p> <p>近鉄特急利用で、名古屋から44分、大阪鶴橋より75分、中部国際空港より高速船で40分。三重大学のある津市は、全国各地からのアクセス良好です。</p>	<p>博士前期課程</p> <ul style="list-style-type: none"> ■一般選抜：外国語（TOEICスコアの提出）、専門科目（筆記試験）、面接 ■社会人特別選抜：小論文、面接 ■外国人留学生特別選抜：外国語（筆記試験）、面接 <p>博士後期課程</p> <ul style="list-style-type: none"> ■一般選抜：外国語（TOEICスコアの提出）、専門科目（筆記試験）、口述試験 ■社会人特別選抜：外国語（TOEICスコアの提出）、口述試験 ■外国人留学生特別選抜：外国語（筆記試験）、口述試験 <p>☆詳細は、募集要項（生物資源学研究科HP http://www.bio.mie-u.ac.jp/）でも閲覧可をご確認ください。</p>
<p>■インフォメーション</p>  <p>中部地区唯一の練習船勢水丸。平成21年建造の最新式です。</p>  <p>東に伊勢湾、西に布引山地、温和な気候。空と樹と波のみどり（三翠）に恵まれた生物資源学研究に最適なキャンパス。</p>  <p>生物資源学部校舎</p>	<p>平成27年4月に各専攻の専門分野を再構成し、講座体制を刷新しました。志望する専攻、講座、教育研究分野（研究室）をよく確認され、出願にあたっては、事前に指導希望教員に電子メール等で直接コンタクトをとってください。</p> <p>生物資源学研究科では、食料生産、自然環境の保全と修復、人類の自然との共生、バイオマス利用、バイオテクノロジー、資源生物の生命機能の活用など、生物資源学に関する重要な諸分野に対応して高度な理論と技術を教育します。そして、豊かな学識と幅広い視野を有する専門技術者の育成を図るとともに、研究者としての基礎的能力を備えた人材を養成します。さらに高度な先端的専門能力、学識、視野を備えた研究者・技術者を狙うための博士後期課程も設置されています。本研究科には、資源循環専攻、共生環境学専攻、生物圏生命科学専攻の3つの専攻があり、附属教育研究施設として、フィールドサイエンスセンター（附帯施設農場、附帯施設演習林、附帯施設水産実験所）、および、全国でも数少ない附属練習船「勢水丸」を有します。</p> <p>博士前期課程</p> <ul style="list-style-type: none"> ■資源循環学専攻には、「農業生物学講座」、「森林資源環境学講座」、「国際・地域資源学講座」があり、生物資源を効率良く、環境に優しい方法で循環利用するための研究や技術開発を行い、新しい社会をデザインできる人材育成、調和の取れた循環型社会の構築を目指しています。 ■共生環境学専攻には、「地球システム学講座」、「環境情報システム工学講座」、「農業農村工学講座」があり、母なる地球が育む多様な生態系から成る地球生命圏の環境を理解し、保全・修復しつつ、人間活動と生態系が調和する持続的な生物生産システム構築を目指しています。 ■生物圏生命科学専攻には、「生命機能化学講座」、「海洋生命分子化学講座」、「海洋生物学講座」があり、生命科学全般に関する基礎的学理及び海洋の資源生物の育成・保全・管理に関する学問を構築し、実践的教育を通じてそれを学生に修得させることを目指しています。 <p>博士後期課程</p> <ul style="list-style-type: none"> ■資源循環学専攻：「資源循環システム科学講座」、「国際資源循環科学講座」 ■共生環境学専攻：「気象・地球システム学講座」、「環境・生産科学講座」 ■生物圏生命科学専攻：「応用生命化学講座」、「海洋生物科学講座」 <p>☆高度な大学院教育を実施するため、「国立研究開発法人森林総合研究所関西支所」、「国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構」、「国立研究開発法人水産研究・教育機構増養殖研究所」とともに連携大学院を設置しています。</p> <p>ダブルディグリー制度 インドネシアのスリウィジャヤ大学、および、パジャジャラン大学との間で、ダブルディグリー（共同学位）修士プログラムを実施しています。</p>
<p>■大学院入試説明会の開催</p>	<p>平成29年4月28日(金) 三重大学大学院生物資源学研究科にて (日時等詳細は、生物資源学研究科HP http://www.bio.mie-u.ac.jp/ で案内)</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577 三重大学大学院生物資源学研究科事務室 TEL 059-231-9631 FAX 059-231-9634</p>

富山県立大学大学院工学研究科生物工学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>博士前期課程および博士後期課程 (一般選抜、外国人留学生特別選抜、社会人特別選抜)</p>
<p>■出願期間 (年間予定)</p>	<p>夏入試：6月上旬から7月上旬 (予定) 冬入試：12月上旬 (予定) ・博士前期課程の夏入試においては筆記試験免除制度があります。 ・詳細は5月中旬に公開予定の募集要項および大学ホームページ (http://www.pu-toyama.ac.jp/) においてご確認ください。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>夏入試 (8月中下旬予定) 筆記試験および面接試験 (専門分野に関連した口述試験を含む)。 冬入試 (博士前期課程12月上旬予定、博士後期課程1月下旬予定) 英語小論文、小論文、英語口述試験、専門分野口述試験、および面接。 ・TOEIC/TOEFLのスコアを提出した場合、同スコアを換算した点数と、英語試験の得点とのいずれか高い方をもって判定いたします。 ・詳細は5月中旬に公開予定の募集要項および大学ホームページ (http://www.pu-toyama.ac.jp/) においてご確認ください。</p>
<p>■インフォメーション</p>  	<p>富山県立大学大学院工学研究科生物工学専攻はこれまで、酵素化学工学部門 (教授・浅野泰久)、応用生物プロセス学部門 (教授・伊藤伸哉)、微生物工学部門 (教授・五十嵐康弘)、生物有機化学部門 (教授・占部大介)、機能性食品工学部門 (教授・生城真一)、植物機能工学部門 (教授・加藤康夫)、応用生物情報学講座 (教授・西田洋巳) の7部門で構成していましたが、医薬品工学科の新設に伴い、製薬化学工学部門 (教授・中島範行、村上達也、竹井敏)、バイオ医薬品工学部門 (教授・榎利之、米田英伸) の2部門が加わりました。これまでに、環境への負荷を低減するバイオテクノロジーを発展させる酵素を利用した有用物質生産などに関する多くの研究成果(フェニルケトン症などに対する酵素を利用した診断薬の開発、酵素法によるイノシン酸の工業生産、遺伝子組換えによる抗生物質生産、抗真菌剤ミカファンギンの効率的生産法の開発、ヒト由来薬物代謝酵素発現酵母を用いた医薬品代謝物の生産、ポリフェノールを含む機能性食品の開発、植物培養細胞を用いた有用物質生産など)をあげ、多くの人材を輩出してきました。</p> <p>研究施設として、MALDI-TOF質量分析計、LC/ESI-TOF質量分析計、共焦点レーザー顕微鏡、大量並列型DNAシーケンサーなど最新のものを設置しています。さらに、2012年より浅野教授が研究総括を務めるERATO「浅野酵素活性分子プロジェクト」が活動を行い、酵素を用いる有用物質生産および健康診断のためのアミノ酸定量システム開発の2つの課題について研究を展開しており、タンパク質構造データを得るためのX線回析装置を設置しています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催等</p>	<p>大学院ガイダンスを実施する予定はありませんが、生物工学専攻事務室あるいは上記の教員に直接問い合わせ下さい。 詳細は大学ホームページ (http://www.pu-toyama.ac.jp/) をご覧下さい。</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒939-0398 富山県射水市黒河5180 富山県立大学大学院工学研究科生物工学専攻 事務室 TEL：0766-56-7500 (内550)、FAX：0766-56-2498</p>

富山大学大学院理工学教育部（理学領域）化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>平成30年度（平成29年度10月入学を含む） 富山大学大学院理工学教育部（理学領域）化学専攻修士課程大学院生</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>GPA特別入試（H29年10月、H30年4月入学）については平成29年6月中旬を予定。 一般入試、社会人特別入試、外国人留学生特別入試（H29年10月、H30年4月入学）については平成29年7月下旬を予定。 詳細は、GPA特別入試、一般入試ともに、5月末までにHP（http://www.sci.u-toyama.ac.jp/jimu/osirase.htm）において公開します。 ※詳細日程は学生募集要項（5月発行）をお取り寄せの上、ご確認願います。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>GPA特別入試 口述試験のみ。ただし、以下の式で定義される院試GPAが2.5以上であること。</p> $\text{院試GPA} = \frac{(\text{秀あるいは優の総単位数}) \times 3 + (\text{良の総単位数}) \times 2 + (\text{可の総単位数})}{\text{修得単位数}}$ <p>一般入試 筆記試験（専門科目、英語）および口述試験。 英語スコア（TOEICまたはTOEFLテスト）の提出も必要です。</p> <p>社会人特別入試、外国人留学生特別入試 口述試験のみ。</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  <p>UNIVERSITY OF TOYAMA</p>  <p>理学</p>  <p>五福キャンパス・メインストリート (ユリノキ通り)</p> </div>	<p>本専攻では、理学の視点から化学（分子科学）の基礎的課題に取り組むと同時に、その展開としての独創的な応用研究に取り組んでいます。それらの研究・教育を通じて、北陸・東海地方の製薬・化学工業を中心に化学の広い分野で研究開発や教育を担う人材を送り出しています。</p> <p>修士課程では先端研究を通じた専門教育により、知識と技術を生かして社会に貢献できる人材を育成します。少人数教育により、きめ細やかな専門教育と研究指導を行うと共に、本学の特色を生かした理工医薬の分野横断型の教育カリキュラムも実施されています。さらに研究を続けたい学生は、専門分野に応じて理工学教育部、または生命融合科学教育部の博士課程へ進学ができます。</p> <p>本専攻は、反応物性化学、合成有機化学、水素同位体科学の3分野に所属する8つの研究グループから構成されています。</p> <p>【反応物性化学】 反応物性化学分野には、光化学、物理化学、無機分析化学、錯体化学の4つのグループがあります。光化学では、レーザー分光法と理論計算を用いて分子の光励起状態の性質や光電子移動などの素反応についての研究を行っています。物理化学では、分子レベルの視点で触媒の活性発現機構の解明と新規触媒の開発を行っています。無機分析化学では、非平衡における構造と反応性を溶液・レーザー化学の手法で研究しています。錯体化学では、発光性や外部応答性を示す錯体の合成と資源再生型エネルギー変換を志向した機能性錯体の開発を行っています。</p> <p>【合成有機化学】 有機化合物の物理化学的・生物化学的な特性は、炭素・炭素および炭素・ヘテロ原子間の結合で構築される化合物の構造に支配されます。合成有機化学分野は3つのグループで構成され、機能性有機分子（合成有機第一：有機化学）、天然物有機分子（同第二：天然物化学）及び生体有機高分子（同第三：生体機能化学）を研究対象として、有機化合物の構造・物性・反応性を基盤に、新規分子の設計・新規合成法の開発・分子機能の解明と開拓を目的とする基礎研究と共に、有機機能材料、創薬リード化合物、バイオ工学ツールなどの応用開発も行っています。</p> <p>【水素同位体科学】 水素が示す大きな同位体効果は様々な研究に利用されています。また重水素やトリチウムは、核融合炉の燃料としても重要です。本分野は、水素のこうした特性に着目して研究を行なう、国内でも特徴のある研究グループです。次世代の高密度エネルギー源として有望な核融合炉で必須となるトリチウムの安全な取扱技術の確立や新しい計測法の開発、また核融合炉材料中の水素同位体挙動の解明などの研究を行っています。さらに、独自に開発した粉体表面修飾法を用いて、燃料電池用電極触媒など新規な機能性粉体材料の開発を行っています。</p> <p>立山連峰の眺望が美しい本学キャンパスで、先端研究を通じて皆さんが化学と日本の未来を切り開く力を養われることを期待しています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>下記の理学部総務課教務担当係にお問い合わせください。</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>富山大学理学部 総務課教務担当係 〒930-8555 富山市五福3190番地 電話：076-445-6546 FAX：076-445-6550</p>

立命館大学大学院生命科学研究科

■募集学生



- ・博士課程前期課程生命科学専攻
 応用化学コース、生物工学コース、生命情報学コース、生命医科学コース
- ・博士課程後期課程生命科学専攻

【博士課程前期課程・博士課程後期課程（2018年4月入学一般入試^{※1}）学生募集】

^{※1}その他の入試（社会人入試（前期課程・後期課程）、外国人留学生入試（前期課程・後期課程）、2017年9月入学一般入試（後期課程）についてはHP（<http://www.ritsumeai.ac.jp/gsls/admission/>）をご覧ください。

■出願期間（年間予定）

2018年4月入学 前期課程・後期課程

1. 一般入試（2017年9月実施）

出 願：2017年7月7日(金)～7月21日(金)【期間内必着】

試 験：2017年9月7日(木) 合格発表：2017年9月22日(金)

2. 一般入試（2018年2月実施）

出 願：2018年1月9日(火)～1月23日(火)【期間内必着】

試 験：2018年2月8日(木) 合格発表：2018年2月23日(金)

■試験内容

【博士課程前期課程：一般入試（2017年9月実施、2018年2月実施）】

書類選考、筆記試験（専門科目^{※2}）および面接試験結果による総合評価

^{※2}各コース指定された科目から2科目選択。科目等の詳細はHPをご覧ください。
 なお、TOEIC[®]テストまたはTOEFL[®]テストの成績通知書（コピー可）の提出が必要^{※3}。

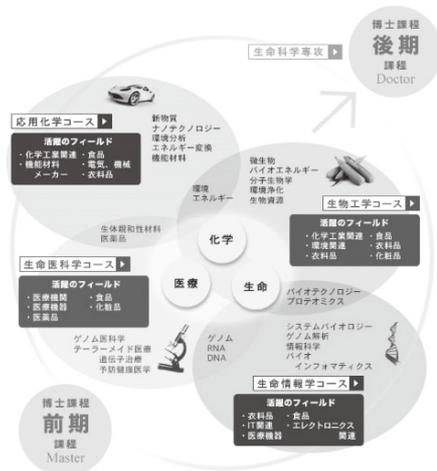
【博士課程後期課程：一般入試（2017年9月実施、2018年2月実施）】

書類選考、筆記試験（英語）または TOEIC[®]テストまたはTOEFL[®]テストの成績^{※3}、および面接試験^{※4}結果による総合評価

^{※3}詳細は入試要項をご覧ください。

^{※4}研究テーマ・内容等に関するプレゼンテーションを含みます。

■インフォメーション



生命科学研究科では応用化学分野の最先端研究はもちろん、化学を基盤にエネルギー、環境、食料、医療、健康など、生命科学の幅広い分野に貢献できる人材を育成します。

【応用化学コース】物理化学・無機化学・分析化学・有機化学・生化学などを基盤とし、物質の機能を解明するための、また新物質創製を実践するための化学的理論と技術を幅広く学びます。材料化学からエネルギー、生体関連物質などまで、幅広い分野で研究を展開します。

【生物工学コース】生化学、分子生物学、微生物学などを基盤とし、環境、食料、資源、エネルギーに関連する生物工学理論や技術を幅広く学びます。生物機能、生態系の構造・機能の解析、生物由来生理活性物質の解明等の基礎研究、これらを基盤とした環境、食料、資源、エネルギーなど、幅広い分野で研究を展開します。

【生命情報学コース】情報科学を利用し、生命活動の仕組みを解明することを目的として、生命科学、情報科学、生物機能の解析技術に関する専門知識を幅広く学びます。遺伝情報、タンパク分子構造—機能相関、生体機能などの数理解析を行い、生命科学、医学薬学、食品、情報技術に関連した幅広い研究を展開します。

【生命医科学コース】多岐に渡る基礎医学の先端領域とその融合領域を学び、未知の生命現象や様々な疾病の発症機構を解明します。さらに、先端技術で開発された医薬品などの新規医療技術の適切な評価と社会への応用方法も学び、広く生命医科学研究を展開します。

2017年4月入学者より研究科の学費が減額となっています。詳細はHPでご確認ください。

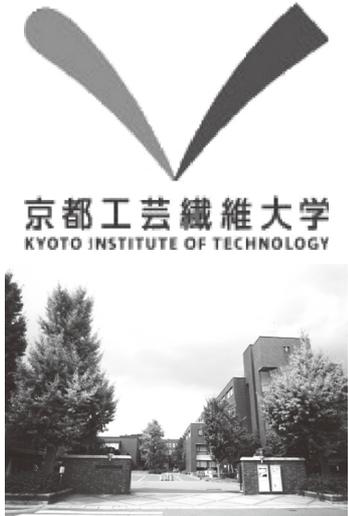
■大学院入試ガイダンスの開催

2018年4月入学の入試情報（含大学院入試ガイダンスの開催予定）は、2017年4月の下旬に生命科学研究科HP・大学院課HPにて公開予定です。

■問 合 先

〒525-8577 滋賀県草津市野路東1-1-1 立命館大学びわこ・くさつキャンパス
 生命科学部事務室：Tel (077) 561-5021、Fax (077) 561-3729
 生命科学研究科ホームページ： <http://www.ritsumeai.ac.jp/gsls/>

京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科バイオベースマテリアル学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科バイオベースマテリアル学専攻 博士前期課程：定員22名 一般入試、社会人対象入試、留学生対象入試を実施。 本学卒業見込者、大学卒業見込者、高等専門学校専攻科修了見込者対象の推薦入試を実施。 博士後期課程：定員6名 一般入試、社会人対象入試、留学生対象入試を実施。</p>
<p>■試験日程と内容</p>	<p>博士前期課程（修士課程） ■平成29年度（10月入学） 【社会人特別入試】 平成29年8月22日(火) 外国語（英語）、口述試験 【外国人留学生特別入試】 平成29年8月22日(火) 外国語（英語）、基礎科目（*）、口述試験 ■平成30年度（4月入学） 【推薦入学特別入試】 平成29年6月3日(土) 口述試験 【一般入試】 第Ⅰ期 平成29年8月22日(火)、23日(水) 外国語（英語）、基礎科目（*）、小論文、口述試験 第Ⅱ期 平成29年9月20日(水) 外国語（英語）、基礎科目（*）、口述試験 第Ⅲ期 平成30年2月1日(木) 外国語（英語）、基礎科目（*）、小論文、口述試験 【社会人特別入試】 平成30年2月1日(木) 外国語（英語）、口述試験 【外国人留学生特別入試】 平成30年2月1日(木) 外国語（英語）、基礎科目（*）、口述試験 （*）基礎科目は有機化学、物理化学、生化学、高分子化学の4科目のうちから1科目を選択！ 博士後期課程 ■平成29年度（10月入学） 【一般入試・社会人特別入試・外国人留学生特別入試】 平成29年8月22日(火) 外国語（英語）、口述試験 ■平成30年度（4月入学） 【一般入試・社会人特別入試】 第Ⅰ期 平成29年9月20日(水) 外国語（英語）、口述試験 第Ⅱ期 平成30年2月1日(木) 外国語（英語）、口述試験 【外国人留学生特別入試】 平成30年2月1日(木) 外国語（英語）、口述試験 各入試の出願受付期間は本専攻あるいは本学のホームページをご覧ください。</p>
<p>■インフォメーション</p> 	<p>人類が今直面している大きな課題は、地球環境の保全と豊かな社会の発展の両立をいかにして実現するかにあります。「ものづくり」の立場からは、地球環境を守るために、石炭・石油を出発原料とする非循環型工業材料から生物資源由来の循環型材料へ生産を転換することが急務です。そのため、生物資源を基にした循環型材料（バイオベースマテリアル素材）の開発が世界中で行われており、そのいくつかの素材については電気製品や輸送部品などにも利用され始め、用途が拡大しつつあります。しかしながら、バイオベースマテリアル素材に対する研究開発は黎明期にあり、社会的認知も不完全であり、その研究・開発・啓蒙する人材が求められています。バイオベースマテリアル素材の分野で、我が国のものづくりが世界をリードするためには、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①バイオベースマテリアルに関する基礎ならびに应用研究の推進、 ②バイオベースマテリアルに関する我が国独自の技術開発、 ③コストに代表される経済的要素の克服、 ④バイオベースマテリアル素材ならびに製品に対する人々の理解、 ⑤バイオベースマテリアル素材の利用拡大、 <p>などを総合的に進め、それらをリードできる人材の育成が必要です。本専攻では、これらに意欲的に取り組める人材を、独自カリキュラムの下に育成します。 世界的レベルにある本学のバイオベースマテリアル技術を基盤とした教育研究を展開し、これからの世界で主力となるバイオベースプロダクトに関する基礎研究、実用的な再生可能材料の開発などに取り組めます。</p>
<p>■本専攻の紹介ガイダンスの開催</p>	<p>■平成29年5月頃、研究室見学を含むガイダンスを開催します。 詳細が決まり次第、バイオベースマテリアル学専攻ホームページ (http://www.biobased.kit.ac.jp/) に掲載します。 また、本専攻の活動や詳細も随時更新しますのでご覧ください。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地 ■京都工芸繊維大学入試課大学院入試係 TEL 075-724-7162 FAX 075-724-7160 http://www.kit.ac.jp/ ■京都工芸繊維大学バイオベースマテリアル学専攻事務室 TEL 075-724-7887 FAX 075-724-7547 http://www.biobased.kit.ac.jp/</p>

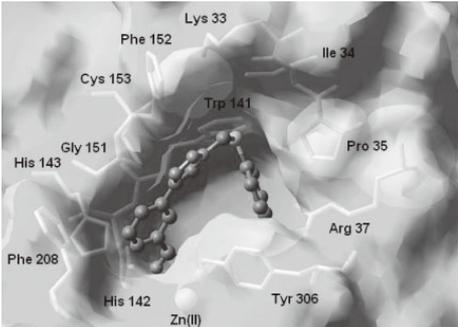
京都大学大学院エネルギー科学研究科エネルギー基礎科学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>京都大学大学院エネルギー科学研究科 エネルギー基礎科学専攻 平成30年度学生募集 修士課程および博士後期課程 エネルギー化学/量子エネルギープロセス/機能固体化学/界面エネルギープロセス/エネルギーナノ工学/エネルギー生物機能化学/生体エネルギー科学/プラズマ・核融合基礎学/電磁エネルギー学/プラズマ物性物理学/核融合エネルギー制御/高温プラズマ物性/中性子基礎科学/極限熱輸送 の計14分野</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>出願書類受理期間 修士第1回 平成29年7月11日(火)・12日(水) 修士第2回 平成29年9月11日(月) 博士後期(第1次学生募集) 平成29年7月11日(火)・12日(水) 修士課程試験日程 第1回選抜 8月21日(月) 第2回選抜 9月25日(月) 博士後期課程(社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜を含む) 試験日程 8月22日(火) ※詳細は学生募集要項(4月末頃から配布予定)あるいは下記URLをご参照下さい。 ※平成30年度修士課程外国人留学生の学生募集および博士後期課程(社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜を含む)の第2次学生募集も予定しています。出願期間は平成30年1月上旬、試験日程は平成30年2月中旬の予定。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>修士課程 【第1回選抜】英語(平成27年8月1日以降に実施されたTOEIC試験の成績証明書(原本)を提出。試験終了後に返却。)、専門科目(数学、量子力学、電磁気学、電気電子工学、熱・統計力学、放射線物理学、物理化学、分析化学、無機化学、有機化学、生化学の計11問から3問選択。ただし、熱・統計力学と物理化学はどちらか一問のみしか選択できない。) 【第2回選抜】英語(TOEIC試験の成績証明書(原本)を提出。試験終了後に返却。)、基礎科目(物理系、化学系の2問から、いずれか1問を選択する。) 博士後期課程 学生募集要項(4月中頃から配布予定)あるいは下記URLをご参照下さい。</p>
<p>■インフォメーション</p> 	<p>エネルギー科学研究科は、『エネルギー持続型社会形成を目指して、理工系に人文社会系の視点を取り込みつつ、学際領域としてエネルギー科学の学理の確立をはかり、地球社会の調和ある共存に寄与する、国際的視野と高度の専門能力をもつ人材を育成する』という理念を掲げて1996年に発足しました。当専攻(上記14分野)では、物理化学、材料化学、電気化学、固体化学、生物化学などの「化学」と、量子力学、電磁気学、統計力学、物性物理学、プラズマ物理学、核物理学などの「物理学」を基盤にして、エネルギー問題解決に貢献するための基礎科学についての教育と研究を行います。国内外を問わず、他大学・他分野からの学生を広く募集しています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>第1回選抜説明会 4月29日(土) 13:30~16:30 京都大学本部構内百周年時計台記念館2階 5月14日(日) 13:30~16:30 京都大学本部構内百周年時計台記念館2階 第2回選抜説明会 9月9日(土) 13:30~16:30 (会場未定、詳細はHP参照) *一部の分野については東京でも入試説明会を予定しています。 詳細はHPをごらんください。</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院エネルギー科学研究科 TEL 075-753-9212 (直通) 研究科URL http://www.energy.kyoto-u.ac.jp/admissions/index.html 基礎専攻URL http://www.energy.kyoto-u.ac.jp/professional/fund.html E-mail: kiso-nyushi@energy.kyoto-u.ac.jp</p>

京都大学大学院工学研究科 化学系専攻群

<p>■募集学生</p>	<p>京都大学大学院工学研究科 化学系専攻群 平成30年度学生募集</p> <p>修士課程 ○創成化学専攻群 ○先端化学専攻群 ○化学工学専攻</p> <p>博士後期課程 ○材料化学専攻 ○分子工学専攻 ○合成・生物化学専攻</p> <p>○物質エネルギー化学専攻 ○高分子化学専攻 ○化学工学専攻</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>出願期間 平成29年6月下旬を予定。</p> <p>修士課程試験日程 ○創成化学専攻群 平成29年8月21～22日（予定） ○先端化学専攻群 平成29年8月21～22日（予定） ○化学工学専攻 平成29年8月21日（予定）</p> <p>博士後期課程試験日程 平成29年8月24～25日（予定）</p> <p>※平成30年度修士課程外国人留学生の学生募集も予定しております。出願期間は平成30年1月上旬、試験日程は平成30年2月中旬の予定。 ※詳細は学生募集要項(4月末頃から配布予定)あるいは下記URLをご参照願います。</p>
<p>■試験内容</p>	<p>修士課程 ○創成化学専攻群 英語・物理化学（高分子物性を含む）・有機化学（高分子合成を含む）・専門科目・口頭試問（予定） ○先端化学専攻群 英語・基礎科目・専門科目・口頭試問（予定） ○化学工学専攻 英語（TOEIC）・専門科目1・専門科目2・面接（予定）</p> <p>博士課程 ○学生募集要項（4月末頃から配布予定）あるいは下記URLをご参照願います。</p>
<p>■インフォメーション</p>  <p style="text-align: center;">京都大学桂キャンパスAクラスター</p>  <p style="text-align: center;">Aクラスター中庭とA4棟</p>	<p>創成化学専攻群</p> <p>○材料化学専攻 無機材料、有機材料、高分子材料、ナノマテリアルを中心に、それらの構造と性質・反応性を分子およびナノレベルで解明しながら、新しい機能や性質をもった材料を化学的に設計するとともに、その創製方法を確立することを目指した研究・教育を行っている。</p> <p>○高分子化学専攻 人々の生活から産業、医療に至るまで、幅広い分野に展開して豊かな人類社会と先端技術を支える高分子について、精密合成、反応、集合構造、さらに物性、機能の基礎研究と教育を行うとともに、高分子を基盤とする新たな先端学際領域の創成を目指して活動している。</p> <p>先端化学専攻群</p> <p>○物質エネルギー化学専攻 物質の成り立ち、物質の構造・化学的性質、化学的エネルギー変換などに関する教育と研究を行う。化学の基礎知識・基盤技術に立脚し、機能物質の創造と解析、物質の合成とエネルギー生成の新しい触媒反応、エネルギーや資源の有効利用に関する研究を推進する。</p> <p>○分子工学専攻 分子・原子・電子の微視的描像に基づき、生体関連機能性物質、高機能性の有機・高分子・無機材料、高機能性触媒、エネルギー・情報変換素子等の設計・開発を理論・実験両面から行う。分子論的視野を持って基礎から応用への展開ができる人材を育成している。</p> <p>○合成・生物化学専攻 物質とその機能を創り出す学問である合成化学と、生物の機能を解明し利用する生物化学に関する教育・研究を行い、あわせてそれらの学際領域を開拓し、総合精密科学としての創造性豊かな化学分野の確立を目指す。</p> <p>化学工学専攻 高機能な物質や材料を化学的変換によって創出し、環境に優しく高効率に物質やエネルギーを生産する方法論について教育、研究を行う。化学工学の特徴は、対象とするプロセスから普遍的な要素を抽出し、動的特性を定式化し、最適システムを構築することにある。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>創成化学専攻群 平成29年3月31日(金) 午後1時30分 京大桂キャンパス 平成29年4月15日(土) 午後1時30分 京都大学東京オフィス（新丸の内ビルディング10階）</p> <p>先端化学専攻群 平成29年3月31日(金) 午前9時30分 京大桂キャンパス</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒615-8510 京都市西京区京都大学桂 京都大学桂Aクラスター事務区教務掛 TEL：075-383-2077 EMAIL：090kakyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp</p> <p>○創成化学専攻群：http://www.s-ic.t.kyoto-u.ac.jp/fro/ja/admission/top ○先端化学専攻群：http://www.s-ic.t.kyoto-u.ac.jp/fun/ja/admission/top ○化学工学専攻：http://www.ch.t.kyoto-u.ac.jp/ja</p>

京都府立医科大学大学院医学研究科 医薬品化学講座

<p>■募集学生</p>	<p>平成30年度京都府立医科大学大学院医学研究科大学院生募集</p> <p>■修士課程（理学部、工学部、理工学部、農学部、薬学部4年制学科などの4年制理系学部を卒業もしくは卒業見込みの方。）</p> <p>■博士課程（修士課程修了もしくは卒業見込みの方。薬学部6年制学科、医学部、歯学部を卒業もしくは卒業見込みの方。）</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>■修士課程</p> <p>前期：7月上旬～中旬予定（4月以降に正式にアナウンス予定） 後期：12月上旬～中旬予定（4月以降に正式にアナウンス予定）</p> <p>■博士課程</p> <p>前期：9月上旬～中旬予定（4月以降に正式にアナウンス予定） 後期：12月上旬～中旬予定（4月以降に正式にアナウンス予定）</p>
<p>■試験日および試験内容</p>	<p>■修士課程</p> <p>試験日：8月中旬予定（前期）、1月中旬予定（後期） 試験内容：英語、専門科目、小論文、面接</p> <p>■博士課程</p> <p>試験日：10月中旬予定（前期）、1月中旬予定（後期） 試験内容：英語、専門科目、面接</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  <p>抗がん剤の創製研究</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>稲盛記念会館 (京都府立医科大学下鴨キャンパス)</p> </div>	<p>◆医学研究科における化学研究</p> <p>京都府立医科大学大学院医学研究科医薬品化学講座では、医学部の中で、ライフサイエンスを切り開く化学（有機化学）研究を展開しています。具体的には、有機化学を基盤として意図した薬効を発現する有機化合物の創造（創薬）に取り組んでいます。有機合成化学・反応化学・構造化学・生物科学・計算化学などの幅広い知識を活用し創薬化学・医薬品化学研究に取り組み、新しい生理活性物質の合成と作用機構の解明を行っています。また、臨床系講座との共同研究も積極的に行っており、臨床医学に密接した化学研究を経験することができます。</p> <p>◆いろいろな理系学部出身者が活躍しています</p> <p>当講座では、これまでに、工学部、理工学部、農学部、薬学部などいろいろな理系学部出身の大学院生が多数在籍した経験を持ちます。卒業生は、学位取得後、おもに製薬業界、化学業界、アカデミアで活躍しています。</p> <p>◆新しいキャンパスで学べます</p> <p>当講座は、京都市北山地区に新しく建設された下鴨キャンパスに平成26年度に移転しました。稲盛記念会館内の新しい研究室で創薬研究を展開しています。</p>
<p>■大学入試ガイダンスの開催</p>	<p>平成29年6月下旬18時～基礎医学学舎一階第二講義室で開催予定 (ホームページにて最新情報をご確認ください)</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒603-8334 京都府京都市左京区下鴨半木町1-5 稲盛記念会館 京都府立医科大学大学院医学研究科 統合医科学専攻 医薬品化学 鈴木孝禎 TEL & FAX：075-703-4937 E-mail：suzukit@koto.kpu-m.ac.jp HP：http://www.f.kpu-m.ac.jp/y/chemistry/recruit.html http://www.kpum.ac.jp/doc/examination/exam_daigakuin/igaku.html</p>

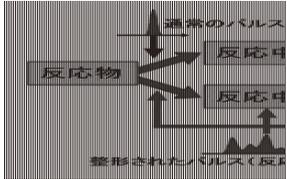
大阪市立大学大学院理学研究科物質分子系専攻

<p>■募集学生</p>	<p>■前期博士課程（大学学部卒・専修学校の専門課程（修業年限が4年以上）修了もしくは見込みであること） ■後期博士課程（修士の学位を有するもの、もしくは取得見込みであること） ※その他出願資格については各募集要項をご確認ください。</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>■前期博士課程推薦入試 平成29年6月上旬（4月入学） ■前期博士課程一般入試 平成29年7月下旬（4月入学） ■後期博士課程一般入試 平成29年6月上旬（平成29年10月入学）、平成30年1月上旬（4月入学） ■外国人特別選抜 平成29年6月上旬（前期/後期10月入学）、 平成29年7月下旬（前期4月入学）、平成30年1月上旬（後期4月入学） ■社会人特別選抜 平成30年1月上旬（前期/後期4月入学）、平成29年6月上旬（後期10月入学）</p>
<p>■試験内容</p>	<p>【前期博士（修士）課程 推薦】口述試験 【前期博士（修士）課程 一般選抜、外国人・社会人特別選抜】 筆記試験（専門科目（化学））と口述試験 ※英語学力審査は、TOEIC公式認定証原本を提出していただくことで実施します。 【後期博士課程 一般、特別選抜】口述試験</p>
<p>■インフォメーション</p> 	<p>現在、先端の学問領域はボーダーレス化の時代にあり、新たな領域が勃興しつつあります。物質科学と化学についても内容の高度化と境界領域の著しい発展には目ざましいものがあります。このような急激な質的变化に対応するため、従来の物質科学と化学の分野を統合した分野が、物質分子系専攻です。</p> <p>■2つの新しい教育・研究分野 物質分子系専攻は、創成分子科学講座、機能分子科学講座からなり、開放的かつ国際的な雰囲気の中で約30名の専任教員が密度の高い指導を行っています。</p> <p>■教育理念とアドミッションポリシー （教育理念） 物質分子系専攻では、社会科学との深い部分での融合領域への発展を視野に入れた自然系大学院でのリベラルアーツの涵養を実施し、科学全体に対する広範な知識を積極的に養う事により、豊かな物質観をもち、将来の根源的な科学の変革に対応できる人材の育成を目指した教育を行っています。さらに、科学情報テクノロジー、および物質科学・化学に関わる理論（物性理論、分子軌道法等）、先端的な物性計測・合成テクノロジーを習得した学生を育成し、将来的に物質分子科学分野の国際的な場で活躍できる若手研究者や、国際舞台で活躍できるフロンティアの育成を目指しています。</p> <p>（アドミッションポリシー） 物質分子系専攻では、最先端の研究を習得するのに十分な物質科学と化学についての基礎的知識と幅広い視野を持ち、基礎科学的、学際的、あるいは応用的観点から研究を推進することを目指す学生を募集しています。中でも、後期博士課程に進学を希望している学生に対しては、高度な学力を有し、自ら新たな問題を発掘し、それを解決する意欲を持つ学生を求めています。</p> <p>当専攻では他大学・他分野からの学生を広く募集しています ■本専攻は、一般社団法人 日本化学工業協会が化学産業の国際競争力や技術力の向上に資する優れた取り組みを支援する目的で創設した「化学人材育成プログラム」の支援対象に採択されています。これからの化学産業を担う人材の育成に取り組んでいます。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>入試ガイダンスは予定していませんが、研究室見学等を歓迎します。下記、或いは指導を希望する教員にご相談ください。</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学・大学院理学研究科・理学部 TEL：06-6605-2501 FAX：06-6605-3649 http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/grad/MOLMS/ 「理学研究科入試情報」に関するお問い合わせは、学生サポートセンター（理学部教務担当）又は専攻主任 佐藤哲也（TEL：06-6605-2562、sato@sci.osaka-cu.ac.jp）まで</p>

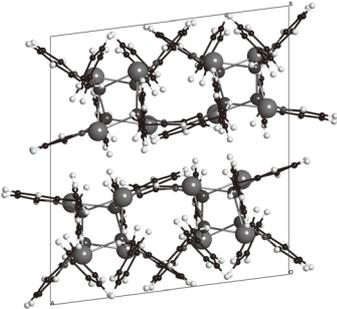
大阪府立大学大学院理学系研究科分子科学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>平成30年4月入学 博士前期課程学生募集（外国人留学生特別選抜を含む） 平成29年9月入学・平成30年4月入学 博士後期課程学生募集（社会人特別枠を含む）</p>
<p>■出願期間</p>	<p>願書受付期間 第1次募集：平成29年7月7日(金)～7月11日(火)(土日を除く) 第2次募集：平成30年1月19日(金)～1月23日(火)(土日を除く)</p>
<p>■試験内容</p>	<p>博士前期課程 第1次募集：平成29年8月22日(火) 筆記試験、23日(水) 口述試験 第2次募集：平成30年2月14日(水) 口述試験 博士後期課程 第1次募集：平成29年8月22日(火) 口頭試問 第2次募集：平成30年2月14日(水) 口頭試問 入学試験における英語の得点は、TOEIC、TOEFL iBT、TOEFL PBTのいずれかの得点を換算して決定します。</p>
<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="text-align: center;"> <p>公立大学法人</p> <h1 style="margin: 0;">大阪府立大学</h1> <p>OSAKA PREFECTURE UNIVERSITY</p> </div> </div>  <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">サイエンス棟</p>	<p>■理念・目的</p> <p>大学院分子科学専攻博士前期課程では、学士課程教育を基盤として分子科学のより深い専門知識を修得し、分子・物質に関連する真理探究を可能とするとともに、新分野や学際領域にも踏み込んでいくことのできる確固とした基礎力を養成します。世界レベルの最先端分子科学研究に携わることを通じて、物質や事象の本質を理解する能力と洞察力、英語によるコミュニケーション能力を重点的に鍛錬し、問題解決能力を備えた人材の養成を目指します。</p> <p>分子科学専攻博士後期課程では、教員の個人指導のもと、各自が個別のテーマを設定して最先端の分子科学研究を遂行することを通して、物質や事象の本質を理解する能力と洞察力、英語によるコミュニケーション能力を重点的に鍛錬します。研究の遂行能力に加え、新たな研究計画の立案と評価を行うための能力とディスカッション能力を鍛錬し、自立した研究者・高度専門職業人として社会に貢献できる人材の育成を目指します。</p> <p>■組織 3分野9研究グループで構成されています。</p> <p>◎分子創製科学分野</p> <p>有機反応化学：有機分子を合成するための新しい方法論の開拓、有機反応活性種の特性解明に基づく有機合成反応の合理的設計、炭素資源の合成化学的利用。 有機合成化学：次世代型医薬品になり得る生物活性天然物の全合成と、効率合成に必要な新しいタイプの反応の開発。 物理有機化学：環境に配慮した新しい合成反応の開発とその解析、生体触媒を利用する有機合成、合成基質を用いた酵素反応の精密解析。</p> <p>◎分子機能科学分野</p> <p>有機金属化学・錯体化学：有機金属クラスター錯体の創成とそれらの化学反応性を中心とする機能開拓、新しい骨格や結合を有する有機金属錯体の合成と性質の解明。 触媒設計反応化学：遷移金属の特長を活かした精密有機合成反応、特に不斉合成法の開発、高度な不斉環境を有する化合物の合成・機能制御・機能開拓、π電子共役系分子の創製および機能開拓。</p> <p>◎分子解析科学分野</p> <p>理論化学：化学反応を解析するための理論構築と理論計算、光機能性分子における電子運動の理論的解析。 物理化学：化学進化における不斉認識と不斉転写の気相クラスター研究、気相イオン反応とイオン移動度による構造と反応性の研究。 機能物質科学：導電性、光応答性、磁性等の機能性を有する新しい有機分子材料の開拓と物性解明。 計算化学：分子集合体、生体分子や光機能性材料の理論的研究。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>予定なし</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1 ■大阪府立大学大学院理学系研究科 電話 072-254-9202 HP http://www.s.osakafu-u.ac.jp/ ■大阪府立大学大学院理学系研究科分子科学専攻 電話 072-254-9751 HP http://www.c.s.osakafu-u.ac.jp/</p>

神戸大学大学院理学研究科化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>神戸大学大学院理学研究科化学専攻 博士前期（修士）課程・博士後期（博士）課程 平成30年度4月入学 および 平成29年度10月入学 ※社会人博士後期課程学生を積極的に受け入れております。</p>
<p>■出願期間および試験日程（年間予定）</p>	<p>■博士前期（修士）課程（平成30年4月入学、平成29年10月入学） 出願期間：平成29年7月中旬、入学試験：平成29年8月下旬</p> <p>■博士後期（博士）課程</p> <p>(1) 平成30年4月入学（第1期）、平成29年10月入学（第3期） 出願期間：平成29年7月中旬、入学試験：平成29年8月下旬</p> <p>(2) 平成30年4月入学（第2期）、平成30年10月入学（第1期） 出願期間：平成29年11月中旬、入学試験：平成29年12月初旬</p> <p>(3) 平成30年4月入学（第3期）、平成30年10月入学（第2期） 出願期間：平成30年1月中旬、入学試験：平成30年2月中旬</p> <p>※詳細が決まり次第、次のホームページに更新します。 神戸大学大学院理学研究科HP（入試）： http://www.sci.kobe-u.ac.jp/exam/index.htm</p>
<p>■試験内容（予定）</p>	<p>■博士前期（修士）課程 英語：TOEIC公開テストを事前受験し、スコアを出願時または試験当日に提出 化学1：基礎化学。本学科必修科目程度の内容から6題出題し、4題を選択解答 化学2：物理化学、有機化学、無機化学、分析化学、生物化学、量子化学のうちから2科目を選択解答</p> <p>口頭試問</p> <p>※詳細は以下の化学専攻ホームページをご覧ください。 化学専攻HP：http://www.chem.sci.kobe-u.ac.jp/topics2/</p> <p>■博士後期（博士）課程 口頭試問</p>
<p>■インフォメーション</p>   	<p>■化学専攻の紹介 世界水準の研究者の養成と、社会的要請の高い問題発掘・解決能力を持つ高度な企業研究者の養成を目指す教育研究を行います。物理化学（分子動力学・物性物理化学・反応物理化学）、無機化学（固体化学・溶液化学・状態解析化学）、有機化学（有機反応化学・生命分子化学・有機分子機能）と連携講座（構造解析化学・理論生物化学）から構成され、孤立分子・光エネルギー変換・表面界面の研究、溶液や固体がしめす物性の分子論的理解をめざした研究、有機化合物の開発・合成および生命化学の研究を展開しています。</p> <p>■研究例</p> <p>◆分子動力学：レーザーを使った分子構造の理解と制御 レーザーを使って分子構造の詳細を調べたり、レーザーパルスの形を変えて分子の挙動（励起や反応）を制御したりするために、先端的な様々なレーザーを駆使した実験法を開発して研究をしています。</p> <p>◆固体化学：機能性固体のデザイン、創製と物性評価 金属イオンを含む分子を使うことで、磁性や電導性を示す分子結晶を作ることができます。これらを低融点化させると、新しい機能性液体が実現します。また、普通のガラスは光を透過しますが、ミクロ構造を制御すれば、「発光するガラス」を作ることができます。</p> <p>◆有機反応化学：役に立つ有機化合物をつくり出す 独自に設計した触媒を用いて、医薬品合成で重要となる光学活性化合物を効率的につくる不斉触媒反応や環境にやさしい酸化反応などを開発する研究を行っています。</p>
<p>■大学院オープンラボの開催</p>	<p>第1回：5月13日(土) 13:00より 第2回：6月17日(土) 13:00より 場所：神戸大学理学部 内容：(1) 全体説明 (2) 各研究室見学 ※詳細は以下の化学専攻ホームページをご覧ください。 化学専攻HP：http://www.chem.sci.kobe-u.ac.jp/index.html</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1 神戸大学大学院理学研究科教務学生係 電話：078-803-5767 メール：sci-kyomu@office.kobe-u.ac.jp</p>

兵庫県立大学大学院物質理学研究科 物質科学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>兵庫県立大学大学院物質理学研究科物質科学専攻 ■平成30年4月入学 博士（前期）課程、博士（後期）課程（一般、社会人、外国人） ■平成29年10月入学 博士（前期）課程、博士（後期）課程（一般、社会人、外国人） ■二次募集 平成30年4月入学者（一般、社会人、外国人：いずれも博士（後期）課程のみ）</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>■平成30年4月入学者推薦入学試験（一般学生）＊博士（前期）課程のみ 出願：平成29年6月上旬～中旬（予定）：試験：平成29年7月上旬（予定） 博士（前期）課程、博士（後期）課程： ■平成30年4月入学者選抜試験（一般、社会人、外国人） 出願：平成29年7月下旬～8月上旬（予定）：試験：平成29年8月下旬（予定） ■平成29年10月入学者選抜試験（一般、社会人、外国人） 出願：平成29年7月下旬～8月上旬（予定）：試験：平成29年8月下旬（予定） ■二次募集（平成30年4月入学者）（一般、社会人、外国人：いずれも博士（後期）課程のみ） 出願：平成30年1月上旬～中旬（予定）：試験：平成30年2月上旬（予定）</p>
<p>■試験内容</p>	<p>■平成30年4月入学者推薦入学試験（一般：博士（前期）課程のみ） 小論文、面接、書類審査 ■平成30年4月入学者選抜試験および平成29年10月入学者選抜試験 （いずれも一般、社会人、外国人） 一般 博士（前期）課程：学力試験（専門科目）英語試験はTOEICまたはTOEFLの成績による（大学入学後に受験したもの）、面接、書類審査 博士（後期）課程：口述試験および書類審査 社会人 博士（前期）課程：学力試験（英語）、口述試験、面接および書類審査 博士（後期）課程：口述試験および書類審査 外国人 博士（前期）課程：学力試験（専門科目、英語）、面接および書類審査 博士（後期）課程：口述試験および書類審査 ■二次募集（平成30年4月入学者）（一般、社会人、外国人：博士（後期）課程のみ） 口述試験および書類審査</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>物質科学の最先端にチャレンジ する学生の育成を目指します</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>	<p>物質理学研究科は、数学、物理学、化学などの枠組みにとらわれず、物質科学専攻1専攻を設けることにより、学際的な組織・教育カリキュラムを実現し、境界領域において実力の発揮できる研究者と技術者を育成しています。また、生命理学研究科とも連携を図り、高い専門性を実現するとともに、研究分野の幅の広がりをも可能にします。さらに、全国の研究機関・組織の優れた研究者を連携・協力講座に招き、教育研究の一層の充実を図っています。</p> <p>原子や分子など物質の微視的構造に基づく高度な教育研究を行うため、以下の4つの大講座を設置し、それぞれに属する教員が互いに密接に連携し、物性発現の解明や物性の制御、新物質の設計、創製などに関する教育や研究を行っています。[物質基礎解析学部門] 物質の示す性質を理論的に解き明かす物性基礎理論を学びます。数学的手法を活用し、物性を支配する物質中の電子状態などを解明する方法を学びます。[物質機能解析学部門] 物質が示す電気、磁気、光学などの性質を、さまざまな実験を通してミクロな観点から理解し、新しい物理現象の探索やその機構を解明する手法を学びます。[物質構造制御学部門] 物質が結晶構造の違いや、集合状態の違いにより現す多彩な物性をミクロな立場から理解し、物理的、化学的手法でその構造を制御する手法を学びます。[物質反応解析学部門] 物質変化の基礎をなす化学反応を支配している基本原理を理解する能力を身につけ、新物質の合成や微量生成物を効果的に分析する手法などを学びます。</p> <p>物質理学研究科には3つの研究センター（Cat-on-cat新規表面反応研究センター、フロンティア機能物質創製センター、多重極限物質科学研究センター）が設置されており、実験と理論の両面から先端的研究を推進し、新しい科学への挑戦を続けています。当研究科は生命理学研究科とともに播磨理学キャンパスの中にあり、世界最大の放射光実験施設SPring-8に最も近く、豊かな自然の中で高度な研究を行える環境を整えています。</p>
<p>■大学院オープンキャンパスの開催</p>	<p>平成29年6月初旬（予定）に播磨理学キャンパスにて大学院オープンキャンパスを開催します。</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒678-1297 兵庫県赤穂郡上郡町光都3丁目2-1 兵庫県立大学播磨理学キャンパス学務課 Tel 0791-58-0102 FAX 0791-58-0131 URL: http://www.sci.u-hyogo.ac.jp/</p>

奈良女子大学大学院（化学系）

<p>■募集学生</p>	<p>奈良女子大学大学院人間文化研究科博士前期課程（理学系）では、平成30年度から従来の5専攻を2専攻に統合する予定で準備を進めています。「化学専攻」は「化学生物環境学専攻 化学コース」に変わる予定です。平成30年度入試（29年度実施）の方法や時期については、詳細が決まり次第、ホームページでお知らせします。</p> <p>■大学院人間文化研究科 化学専攻（博士前期課程） 推薦選抜、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜</p> <p>■大学院人間文化研究科 共生自然科学専攻（博士後期課程） 一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>■大学院人間文化研究科 化学専攻（博士前期課程） ホームページまたは募集要項でご確認ください。入試は、9月初めに実施する予定です。4月以降に正式にアナウンスします。2回目の入試（推薦選抜は除く）は例年通り、1月末に実施予定です。</p> <p>■大学院人間文化研究科 共生自然科学専攻（博士後期課程） 平成29年10月入学：平成29年8月25日（金） 平成30年4月入学：平成30年2月3日（土）</p> <p>詳細はホームページ（http://koto.nara-wu.ac.jp/nyusi/nyusi2_b.html）でご確認ください。</p>
<p>■試験日程及び科目（予定）</p>	<p>■大学院人間文化研究科 化学専攻（博士前期課程）（1回目の入試）</p> <p>○推薦選抜：口述試験（志望理由や提出した「研究希望調書」の内容に関する設問）とTOEICまたはTOEFL</p> <p>○一般選抜：化学の基礎的問題（無機化学、有機化学、物理化学。これらの中に化学英語を含む。）、口述試験、TOEICまたはTOEFL</p> <p>○社会人特別選抜：化学の基礎的問題（無機化学、有機化学、物理化学。これらの中に化学英語を含む。）の中から1分野を選択、口述試験、TOEICまたはTOEFL</p> <p>○外国人留学生特別選抜：化学の基礎的問題（無機化学、有機化学、物理化学。これらの中に化学英語を含む。）、口述試験（日本語と英語のどちらかで受験できます）、TOEICまたはTOEFL</p> <p>上記は変更になる可能性があります。2回目の入試（1月末実施）の内容は上記と異なります。必ずホームページまたは募集要項でご確認ください。</p> <p>■大学院人間文化研究科 共生自然科学専攻（博士後期課程）</p> <p>○一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜：口述試験（提出論文、希望研究課題を中心に行います。）</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="display: flex; align-items: center;">   </div>	<p>■大学院 化学専攻（博士前期課程）／共生自然科学専攻（博士後期課程）</p> <p>大学院博士前期課程化学専攻では、広く科学技術関連分野で活躍できる基本的な能力を養えるように、化学の第一線での活発な研究活動と大学院授業カリキュラムを通して学びます。化学専攻の教育研究分野は、「物性物理化学」（物性物理化学・反応物理化学、理論物理化学）、「分子創成化学」（有機金属・錯体化学、有機合成化学）、「生命機能化学」（生命有機化学、生物無機化学）、「物質機能化学」（機能性材料化学）の4大分野から成り立っています。各分野2～6名の教員で構成されていて、化学専攻全体で18名の教員が教育・研究を展開しています。</p> <p>大学院博士後期課程共生自然科学専攻では、専門分野の研究をさらに高度に進めることとなります。専門の化学研究をさらに追究し、プロの研究者に必要な研究能力を身につけます。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>大学院化学専攻（博士前期課程）の入試説明会を予定しています。詳細は決定次第、化学専攻のホームページに情報を掲載します。</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒630-8506 奈良市北魚屋西町 奈良女子大学学務課大学院係 TEL0742-20-3063 daigakuin@cc.nara-wu.ac.jp 奈良女子大学入試課入試試験係 TEL0742-20-3023 nyusika@jimu.nara-wu.ac.jp 奈良女子大学大学院化学専攻 ホームページ： http://www.chem.nara-wu.ac.jp</p>

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科

<p>■募集学生</p>	<p>博士前期（修士）課程 平成30年度春学期入学 大学学部卒・高専専攻科修了若しくは修了見込みであること 博士後期（博士）課程 平成30年度春学期（平成29年度秋学期）入学 大学院修士課程を修了若しくは修了見込みであること</p>
<p>■出願期間</p>	<p>博士前期（修士）課程 第1回：平成29年6月5日～6月7日 第2回：平成29年9月11日～9月13日 第3回：平成30年2月5日～2月7日 博士後期（博士）課程 第1回：平成29年7月24日～7月26日 第2回：平成30年2月5日～2月7日 ※詳細は本学の学生募集要項によりご確認ください。 http://www.naist.jp/admission</p>
<p>■試験内容</p>	<p>博士前期（修士）課程 面接により実施。 提出した小論文に基づく口述発表、物質科学関連の試問。 博士後期（博士）課程 面接により実施。 専門知識、英語能力の試問及びこれまでの研究概要、これからの研究計画の試問。 ※詳細は本学の学生募集要項によりご確認ください。 http://www.naist.jp/admission</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	<p>物質創成科学研究科では、出身分野にとらわれず、広く全国から志の高い学生を受け入れ、「光ナノサイエンス」に基づく体系的な教育システムを組み、これからの産業界、学界を先導する優れた技術者、研究者を組織的に養成しています。「光ナノサイエンス」とは光と物質の相互作用を基礎として物質科学をとらえ直したもので、「光で観る」、「光で創る」、「光で操る」という観点から、物質の仕組みを電子、原子、分子のレベルに立ち返って深く理解し、これに基づいて新しい物質、構造、機能を創り出すことを目指すものです。</p> <p>本研究科には、物理・デバイス・化学・バイオという幅広い分野、および社会的要請の強い特定の分野の優秀な研究者が集まっており、「光ナノサイエンス」を基軸として、物質科学の新しい先端融合領域を切り拓いています。その成果は情報通信・エレクトロニクス分野、環境・エネルギー分野、バイオテクノロジー、医療にわたる広範囲な分野で、次世代の産業の創出や豊かでクリーンな社会を実現する基礎技術を提供し、人類の持続的な発展と幸福な未来社会を支える新しい素材、機能材料の創成に貢献しています。</p> <p>本学は、法人化後の6年間の研究・教育レベルその他で日本一の評価を受けました。これからも本研究科では、国際的にも高い評価を得る研究・教育を推進していきます。学生の皆さんを対象にした海外の大学での科学英語研修や海外研究室滞在、自発的提案と自主運営の国際セミナーの開催などを通して、自学・自習の精神を涵養するとともに、新領域を切り拓き国際社会で活躍する研究者の輩出を目指しています。物質科学の新しい先端融合領域に果敢に挑戦できる学生の皆さんを歓迎します。そして、恵まれた研究・教育環境の下で、優秀なスタッフとともに物質創成科学研究科の新しい伝統を築き上げて行きましょう。</p>
<p>■学生募集イベントの開催</p>	<p>受験生のためのオープンキャンパス 平成29年5月13日(土) 開催（於：奈良先端科学技術大学院大学） 学生募集説明会 4～5月、8～9月、1～2月に全国各地で開催します。詳細は下記URLで随時掲載します。http://www.naist.jp/admission</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒630-0192 奈良県生駒市高山町8916番地の5 国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科事務室 電話：0743-72-6006 E-mail：ms-jimu@ms.naist.jp HP：http://mswebs.naist.jp</p>

鳥取大学大学院工学研究科・持続性社会創生科学研究科

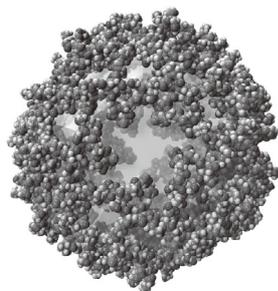
■募集学生

平成30年度 大学院学生募集
 大学院 工学研究科 博士後期課程 化学・生物応用工学専攻
 [応用化学講座・生物応用工学講座] 定員若干名
 社会人特別入試・外国人留学生特別入試も実施しています！ 学位取得実績多数！
 大学院 持続性社会創生科学研究科 博士前期課程 工学専攻 化学バイオコース
 [応用化学分野・生物応用工学分野] 定員40名

■出願期間および試験日程

■博士後期課程（一般入試・社会人特別入試・外国人留学生特別入試）
【4月入学】
 第1回入試：出願は平成29年7月11日～7月14日、試験は平成29年8月21日*
 第2回入試：出願は平成29年12月18日～12月21日、試験は平成30年2月1日*
【10月入学】
 第1回入試：出願は平成29年12月18日～12月21日、試験は平成30年2月1日*
 第2回入試：お問い合わせください
 ※出願資格審査が必要な方は出願期間の約40日前に申請書類を提出する必要がありますのでお問い合わせください。
 ■博士前期課程（一般入試）
 第1回入試：出願は平成29年7月20日～7月25日、試験は平成29年8月24日*
 第2回入試：出願は平成29年11月7日～11月10日、試験は平成29年12月7日*
 (*いずれも正式な日程はお問い合わせください)

■試験内容



【研究例】

植物ウイルス由来ペプチドの自己集合による人工ウイルスキャプシド(松浦教授提供)

■博士後期課程（一般入試・社会人特別入試・外国人留学生特別入試）
【一般入試】
 書類審査・口述試験・筆記試験の結果を総合して判定します。
【社会人特別入試・外国人留学生特別入試】
 書類審査・口述試験の結果を総合して判定します。(筆記試験は免除)
 (口述試験は志望する研究分野に関連する科目、修士学位论文(進捗状況を含む)、研究業績、今後の研究計画等について行います。筆記試験は英語(辞書の持ち込み可、ただし電子辞書を除く)について行います。)
 ■博士前期課程（応用化学分野・生物応用工学分野）
 筆記試験(500点)・面接試験(100点)・英語(TOEICスコアを200点満点に換算)
 その他出願書類を総合して判定します。筆記試験の内容は次の通りです。
【応用化学分野の筆記試験内容】
 有機化学(200点)、無機化学(150点)、物理化学(150点)
【生物応用工学分野の筆記試験内容】
 「微生物学、生化学、有機化学、構造生物学・物理化学」の中から2科目選択(250点×2)

■インフォメーション



【研究例】

次世代電気自動車のリチウムイオン電池に用いられる新材料の開発(坂口教授提供)

★化学バイオコースの概要

本コースは化学と生物に基礎をおく物質変換・生産の分野を体系的にとらえ、従来の化学工業における基幹的技術はもちろんのこと、物質生産にかかわる微生物学や遺伝子工学の分野も取り入れた、新しい化学技術を担う人材を育成するための研究教育を行っています。応用化学分野ではグリーン触媒化学・無機材料化学・応用電気化学・分子集積化学・有機合成化学・有機反応化学・機能分子合成・無機元素化学・生物機能関連化学の9研究室、生物応用工学分野では生物機能開発工学・タンパク質工学・生体触媒工学・生物有機化学・構造生物学の5研究室で構成され、それぞれの分野で世界的にも高く評価されています。

★博士号取得のチャンスです！ —博士後期課程—

本コースでは大学院博士後期課程で学ぶ方を広く募集しています。入学にあたっては、4月入学と10月入学が選べます。また、就学スタートアップ支援奨学金制度が受けられる特典があります(ただし国費留学生を除く)。さらに、就業や育児・介護などの事情により標準修業年限を超えて履修することができる長期履修学生制度もあり、希望する場合は最長6年間まで認められます(その場合でも学費は3年分です)。また、修士の学位を取得していない方でも、個別の出願資格審査に合格すれば出願できますので、ぜひお気軽にお問い合わせください。

★新研究科「持続性社会創生科学研究科」がスタート！

鳥取大学では平成29年4月より、これまでの大学院工学研究科・農学研究科・地域学研究科が一つになって持続性社会創生科学研究科に生まれ変わります。より柔軟な研究教育体制を構築し、皆さんの学位取得を支えます！

■お問い合わせ先

〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101番地 鳥取大学工学部大学院係
 E-mail en-kyoumu@adm.tottori-u.ac.jp TEL 0857-31-6761
 工学専攻URL <http://eng.tottori-u.ac.jp/>
 化学バイオコースURL <http://chembio.tottori-u.ac.jp/>

山口大学大学院 創成科学研究科化学系専攻 物質化学コース 生命化学コース

<p>■募集学生</p>	<p>山口大学大学院 創成科学研究科化学系専攻 博士前期課程：平成29年10月入学および平成30年4月入学 口述試験による選抜、一般選抜及び社会人特別選抜 博士後期課程：平成29年10月入学および平成30年4月入学 一般選抜</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>■平成30年4月入学 ・博士前期課程（口述試験による選抜。出願要件あり。詳細は募集要項参照。） 出願期間：平成29年7月中旬 ・博士前期課程（一般選抜、社会人特別選抜） 出願期間：第1回…平成29年7月上旬、第2回…平成29年11月中旬 ・博士後期課程（一般選抜） 出願期間：第1回…平成29年9月上旬、第2回…平成30年1月上旬 ■平成29年10月入学 ・博士前期課程（一般選抜、社会人特別選抜） 出願期間：平成29年7月上旬 上記平成30年4月入学と同様。 ・博士後期課程（一般選抜） 出願期間：平成29年7月上旬 詳細については、いずれの課程も平成29年5月頃発表予定</p>
<p>■試験内容</p>	<p>■平成30年4月入学 ・博士前期課程（口述試験による選抜） 試験日：平成29年8月上旬 選抜方法：口述試験 ・博士前期課程（一般選抜、社会人特別選抜） 試験日：第1回…平成29年8月上旬、第2回…平成29年12月中旬 選抜方法：一般選抜…筆記試験（専門科目・応用数学）、英語。 応用数学では、工学系数学統一試験の成績も利用可。英語はTOEIC又はTOEFLのスコアにより評価する。 社会人特別選抜…口述試験 ・博士後期課程（一般選抜） 試験日：第1回…平成29年9月下旬、第2回…平成30年1月下旬 選抜方法：口頭試問 ■平成29年10月入学 ・博士前期課程（一般選抜、社会人特別選抜） 試験日：平成29年8月上旬 選抜方法：上記平成30年4月入学と同様。 ・博士後期課程（一般選抜） 試験日：平成29年7月下旬～8月上旬 選抜方法：上記平成30年4月入学と同様。 詳細については、いずれの課程も平成29年5月頃発表予定</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">   <p>YAMAGUCHI UNIVERSITY 山口大学</p> </div>	<p>■創成科学研究科化学系専攻物質化学コースおよび生命化学コースは、山口大学常盤台キャンパスにある化学系専攻です。教育研究分野として、物理化学・無機化学・有機化学・高分子化学・化学工学・生物工学などの幅広い化学分野を網羅し、総合的な教育研究を行っています。両コースを併せて、各学年、博士前期課程約70名、博士後期課程約10名の学生の学生が在籍し、総数30名程度の教員群で教育及び研究を実施しています。また、日本の化学産業の中心の一つである山口県に立地している利点を活かした、産業界と連携したインターンシップなども進めるユニークな教育を行っています。 ■物質化学コース（博士後期課程は物質工学系専攻） 応用化学分野の高度専門力の養成を目標に、学士課程で養われた数学・化学・物理および専門的な化学分野での基礎知識と能力とを基盤に、大学院のレベルの専門科目群と創成型教育科目群の系統的な履修を通して高度専門技術者に必要とされる「物質化学における理解力」、「化学的現象のモデル化と解析の能力」、「創造的問題発見能力」などを養う教育を行っています。 ■生命化学コース（博士後期課程はライフサイエンス系専攻） 生命化学コースは、医療・健康と連携した生命化学分野に関して教育研究を行うことにより、医療関連分野の更なる発展を目指しています。医療及び健康に関連する分野は、国民の健康を守る目的に限らず、産業分野でも国際競争の渦中にあることから、博士後期課程では、個性ある学際的教育研究を推進するために、工学の化学分野、理学の生物学分野、農学の生物科学分野と農学分野、工学の医学分野による連携で組織・構築されています。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>入試ガイダンスは、特に実施しておりませんが、研究室見学等は歓迎します。指導を希望する教員もしくは下記までお問い合わせ下さい。 なお、高校生対象ではありますが、例年8月上旬に山口大学常盤台キャンパス（工学部キャンパス）のオープンキャンパスを実施していますので、その機会もご利用下さい。 大学院ホームページ（http://www.gsti.yamaguchi-u.ac.jp/） 博士前期課程： http://www.gsti.yamaguchi-u.ac.jp/department/master.html 博士後期課程： http://www.gsti.yamaguchi-u.ac.jp/department/doctor.html</p>
<p>■問 合 先</p>	<p>〒755-8611 宇部市常盤台二丁目16-1 山口大学工学部学務課入試係 TEL 0836-85-9009 山口大学工学部応用化学科事務室 TEL 0836-85-9200 FAX 0836-85-9201 e-mail ok@yamaguchi-u.ac.jp</p>

**徳島大学大学院先端技術科学教育部物質生命システム工学専攻・
総合科学教育部地域科学専攻**

<p>■募集学生</p>	<p>先端技術科学教育部物質生命システム工学専攻化学機能創生コースおよび 総合科学教育部地域科学専攻基盤科学（理系）・環境共生分野 博士前期課程・博士後期課程（一般・社会人・外国人留学生） http://www.tokushima-u.ac.jp/admission/other_info/</p>
<p>■出願期間</p>	<p>【先端技術科学教育部 博士前期課程】 一般・社会人・外国人留学生・10月入学者対象入試 出願：7月下旬、選考：8月下旬 【先端技術科学教育部 博士後期課程】 一般・社会人・外国人留学生・10月入学者対象入試 出願：7月下旬、選考：8月下旬 【総合科学教育部 博士前期課程】 推薦入学特別入試（出願：6月下旬、選考：7月上旬） 一般・社会人・外国人留学生対象入試 Ⅰ期 出願：7月中旬～8月上旬、選考：8月下旬 Ⅱ期 出願：11月下旬、選考：12月下旬 【総合科学教育部 博士後期課程】 出願：11月下旬、選考：12月下旬</p>
<p>■試験内容</p>	<p>【先端技術科学教育部 博士前期課程】 一般・10月入学者対象入試 筆記試験（数学または物理学・専門科目）・TOEICまたはTOEFLのスコア 社会人対象入試 筆記試験（専門科目）・面接・TOEICまたはTOEFLのスコア 外国人留学生対象入試 口述試験（専門科目）・面接・TOEICまたはTOEFLのスコア 【先端技術科学教育部 博士後期課程】 口述試験・TOEICまたはTOEFLのスコア 【総合科学教育部 博士前期課程】 推薦入学特別入試 口頭試問 Ⅰ期 筆記試験（英語・専門科目（化学））および面接 Ⅱ期 面接・口述試験 【総合科学教育部 博士後期課程】 筆記試験（外国語または小論文）、面接および書類審査</p>
<p>■インフォメーション</p>	<p>【先端技術科学教育部物質生命システム工学専攻】 現代の環境問題を精査してみると、大気圏、地圏、水圏環境などの生命および地球環境の保全、食料、化学物質、廃棄物などの物質循環、生物多様性の保全と同時に、時代とともに変化した生物多様性に適合する新たな生命環境、物質循環を創生する必要が生じています。このような背景から、従来型の環境保全から、積極的に環境創生に適する学生教育を実施するため、化学応用工学および生物工学の各コースを横断的に融合させて、幅広い分野に関わる環境の問題点に積極的に対応できる人材の養成を目的としています。 化学機能創生コースの博士前期課程では、化学および化学技術に関するいくつかのことを深く研究し、その成果を社会に還元させることにより産業界の要請に応えることのできる学生を求めています。博士後期課程では、化学および化学技術に関する新しい原理、方法、現象等の探求を通じてその成果をさらに高度に発展させることに興味を持ち、将来、国際的、学際的な研究プロジェクトの中核となることをめざす学生を求めています。 【総合科学教育部地域科学専攻基盤科学（理系）・環境共生分野】 21世紀の社会に求められている持続可能な共生社会を構築するため、基礎的学問分野の融合・総合が不可欠であることを深く理解し、基盤化学や環境共生化学の立場から地域が抱える諸問題を理解し、持続可能な社会の実現・発展に向けて地域社会に貢献できる人材を養成しています。 博士前期・後期課程を通し、基盤科学（理系）分野では基盤化学、また環境共生分野では環境共生化学から地域社会をリードできる学生を求めています。</p>
<p>■問合せ先</p>	<p>出願時期や試験内容等は変更される場合があります。募集要項で確認してください。 【先端技術科学教育部】徳島大学理工学部学務係 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1 電話 088-656-7315～7317 【総合科学教育部】徳島大学総合科学部学務係 〒770-8502 徳島市南常三島町1-1 電話 088-656-7108</p>

九州大学大学院工学府物質科学工学専攻群（応用化学）

<p>■募集学生</p>	<p>九州大学大学院工学府物質科学工学専攻群（応用化学） （物質創造工学専攻／材料物性工学専攻／化学システム工学専攻） 平成30年4月入学 修士課程（一般）、博士後期課程（一般、社会人） 平成29年10月入学 博士後期課程（一般、社会人）</p>
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<p>■平成30年4月入学： 修士課程（一般） 出願：平成29年6月下旬～7月初旬（予定） 試験：平成29年8月21日(月)～22日(火) 博士後期課程（一般） 夏季出願：平成29年7月中旬（予定） 夏季試験：平成29年8月24日(木) （一般、社会人） 春季出願：平成30年1月中旬（予定） 春季試験：平成30年2月下旬（予定）</p> <p>■平成29年10月入学： 博士後期課程（一般、社会人） 出願：平成29年7月中旬（予定） 試験：平成29年8月24日(木)</p>
<p>■試験内容</p>	<p>■修士課程（一般選抜）：筆記試験（専門科目）及び面接を行う。専門科目は「機能物質化学系科目」、「分子システム工学系科目」のいずれかを受験する。英語資格試験（TOEFLまたはTOEIC）のスコア証明書の提出を要する。</p> <p>■博士後期課程（一般選抜）：専攻科目及び修士学位論文（修士課程終了見込みの者は研究経過報告書）について筆記又は口頭試問を行う。</p> <p>■博士後期課程（社会人特別選抜）：これまでの研究成果及び入学後の研究計画等に関して口頭試問を行う。</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">   </div>	<p>物質創造工学専攻 新しい機能性有機物質の開発、原子・分子レベルからの高機能セラミックスの設計、従来にない高度な機能を持つ触媒や光・電子機能分子材料の開発、分子の自己組織化に基づく新しいナノマテリアル化学の開拓など、最先端化学の研究教育を行ないます。さらに、これらの化学と生命分子科学の融合に基づき、分子システム科学を基盤とする新しいサイエンスとテクノロジーを開拓しています。</p> <p>材料物性工学専攻 無機、高分子、有機、金属、バイオ、半導体及びそれらのナノ粒子、ハイブリッド材料などを研究教育の対象とし、これらの物理的、化学的、生物的、力学的特性をナノ領域からマクロ領域にわたって定量的に評価・制御するための研究教育、次世代の太陽電池や燃料電池を支える革新的電池材料、排ガス浄化触媒の開発を始めとするエネルギー転換・環境関連材料化学の研究教育を行なっています。</p> <p>化学システム工学専攻 新しい化学・物理現象、新規物質、生体生命の新しい機構などを発見し体系化することを追求するとともに、原子・分子レベルから生体情報レベルまでの複雑なシステムを総合的に解析、高度化、創造するための研究教育を行います。新機能を有する物質の発見と機能発現の開発、原子分子レベルで物質を測定して新しい性質を見出す計測システムの開発、化学情報の変換システムの設計などの研究を行っています。</p> <p>上記3専攻の化学系研究教育に携わる教員は応用化学部門（研究組織）に所属しています。本部門は化学分野における卓越した研究拠点（COE）として国際的に良く知られ、基礎研究から応用研究まで幅広く展開するとともに、国内外の大学や研究所、企業との共同研究も活発になされています。また、リーディング大学院（分子システムデバイスコース（5年一貫教育））教育も行っています。</p> <p>応用化学部門に所属する研究室については下記HPをご覧ください。 応用化学部門HP：http://www.chem.kyushu-u.ac.jp/~appchem/ リーディング大学院HP：http://molecular-device.kyushu-u.ac.jp/</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒819-0395 福岡市西区元岡744番地 九州大学工学部等教務課教務係 Tel：092-802-2724 大学院入試関連HP：http://www.eng.kyushu-u.ac.jpより入試情報ページを参照</p>

九州大学大学院理学府化学専攻

<p>■募集学生</p>	<p>(1) 平成30年度 理学府修士課程学生募集（一般選抜および自己推薦方式による選抜）</p> <p>(2) 平成30年度 理学府修士課程学生募集（社会人特別選抜）</p> <p>(3) 平成30年度 理学府博士後期課程学生募集（一般選抜）</p> <p>(4) 平成30年度 理学府博士後期課程学生募集（社会人特別選抜10月入学）</p> <p>(5) 平成30年度 理学府博士後期課程学生募集（社会人特別選抜4月入学）</p> <p>(6) 平成30年度 理学府修士課程／博士後期課程学生募集(外国人留学生特別選抜)</p>
<p>■年間予定</p>	<p><u>修士課程学生募集の日程</u></p> <p>(1) 一般選抜および自己推薦方式による選抜 出願期間：平成29年6月下旬～7月上旬 自己推薦方式による選抜の口頭試問：平成29年7月下旬 一般選抜試験の学力検査および口頭試問：平成29年8月下旬</p> <p>(2) 社会人特別選抜 出願期間：平成29年6月下旬～7月上旬頃 口頭試問：平成29年7月下旬頃</p> <p>(6) 外国人留学生特別選抜 出願期間：平成29年12月上旬頃 学力検査および口頭試問：平成30年1月下旬</p> <p><u>博士後期課程学生募集の日程</u></p> <p>(3) 一般選抜 出願期間：平成30年1月上旬 口頭試問：平成30年1月下旬</p> <p>(4) 社会人特別選抜10月入学 出願期間：平成29年6月下旬～7月上旬頃 口頭試問（必要に応じて筆記試験）：平成29年7月下旬頃</p> <p>(5) 社会人特別選抜4月入学 出願期間：平成30年1月上旬 口頭試問（必要に応じて筆記試験）：平成30年1月下旬</p> <p>(6) 外国人留学生特別選抜 出願期間：平成29年12月上旬 口頭試問：平成30年1月下旬</p>
<p>■試験内容</p>	<p>・修士課程学生募集の試験内容</p> <p>「一般選抜」では英語（TOEICの成績）と化学（無機化学、有機化学、物理化学、分析化学、構造化学、生物化学の中から任意に3科目を選択）に関する筆記試験および口頭試問により合否を判定します。従って、受験時にTOEICの成績証明書が必要です。</p> <p>また、一般選抜入試志願者の中で希望する者に対して、筆記試験を免除し口頭試問によって合否を判定する「自己推薦方式による選抜」を実施します。出願書類によって本選抜試験の対象者を決定します。本選抜試験の結果、筆記試験を免除されなかった者も、上記の一般選抜試験を別途手続きすることなく受験できますが、この場合も筆記試験受験時にTOEICの成績証明書が必要です。</p> <p>社会人特別選抜や外国人留学生特別選抜では、志望分野に関連する化学や英語に関する口頭試問などによって合否を判定します。</p> <p>・博士後期課程学生募集の試験内容</p> <p>修士論文あるいはこれに相当するものを口頭で発表させ、それを中心に専門分野や関連分野に関する口頭試問を行って合否を判定します。社会人特別選抜では、必要に応じて英語および専門化学に関する筆記試験を行います。</p>
<p>■インフォメーション</p>	<p>九州大学大学院理学府化学専攻では、原子から小分子、複雑な分子、高分子、さらに生体を構成する巨大分子に及ぶ様々な階層の物質構成単位や原子・分子集合体に関して、元素の特性と分子構築の原理、化学反応と機能発現の機構、ならびに分子の設計と合成法などについて教育を行っています。最先端の理論および実験手法を用いることで、独創的な研究を遂行する能力を身につけ、将来、化学の研究、教育、技術開発および生産の分野で活躍できる専門家を育成すると同時に、倫理観に基づき真に人類社会に貢献できる人材の育成を目指しています。</p> <p>このような観点から、「化学の分野で将来、指導的役割を果たす研究者、教育者、あるいは技術者として人類社会に貢献したい」という強い熱意と適性をもつ学生を募集します。</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒819-0395 福岡市西区元岡744 九州大学理学部等事務部学生係 TEL 092-802-4013（ダイヤルイン） http://www.scc.kyushu-u.ac.jp</p>

長崎大学大学院工学研究科

<p>■募集学生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●博士前期課程 総合工学専攻（化学・物質工学コース） 推薦入試、一般入試、外国人留学生入試 ●博士前期課程 総合工学専攻（国際水環境工学コース） 一般入試、外国人留学生入試（6月期及び11月期募集） ●博士課程（5年一貫制）グリーンシステム創成科学専攻 推薦入試、一般入試、外国人留学生入試
<p>■出願期間（年間予定）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●博士前期課程 総合工学専攻（化学・物質工学コース） 推薦入試：平成29年6月上旬、一般入試：平成29年8月上旬 外国人留学生入試：平成29年11月下旬 ●博士前期課程 総合工学専攻（国際水環境工学コース） 一般入試、外国人留学生入試（6月期募集）：平成29年5月下旬 一般入試、外国人留学生入試（11月期募集）：平成29年10月上旬 ●博士課程（5年一貫制）グリーンシステム創成科学専攻 推薦入試：平成29年6月上旬、一般入試：平成29年7月中旬 外国人留学生入試：平成29年11月上旬
<p>■試験内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●総合工学専攻 博士前期課程（化学・物質工学コース） 推薦入試：試験日 平成29年6月下旬：試験科目 面接及び口述試験、成績証明書 一般入試：試験日 平成29年8月下旬：試験科目 専門科目、英語（TOEIC成績証明書を利用）、成績証明書 外国人留学生入試：試験日 平成29年12月中旬：試験科目 面接及び口述試験 ●総合工学専攻 博士前期課程（国際水環境工学コース） 一般入試、外国人留学生入試（6月期募集） ：試験日 平成29年6月下旬：試験科目 面接及び口述試験 一般入試、外国人留学生入試（11月期募集） ：試験日 平成29年11月上旬：試験科目 面接及び口述試験 ●グリーンシステム創成科学専攻 博士課程（5年一貫制） 推薦入試：試験日 平成29年6月下旬：試験科目 面接及び口述試験、成績証明書 一般入試：試験日 平成29年8月上旬：試験科目 選択科目、英語（TOEIC等の成績証明書を利用）、面接及び口述試験、成績証明書 外国人留学生入試：試験日 平成29年11月中旬：試験科目 面接及び口述試験
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ●博士前期課程 総合工学専攻（化学・物質工学コース） 近年のナノテクノロジーやバイオテクノロジーの急速な進展に伴い、これらの先端的かつ学際的な領域でも活躍できる幅広い知識を身につけた人材養成への期待も高まっており、さらに社会のグローバル化への対応も不可欠です。本コースでは、このような社会的ニーズに対応し、人類に有用な新しい物質・薬品・材料を創製することや、環境にやさしいエネルギー変換技術などを開発するための基礎知識と専門知識ならびに国際性を身につけ、未来を開拓できる研究者を養成します。先端的な化学・生物工学・材料工学の領域での高度な専門知識はもちろん、学際的な領域でも活躍できる幅広い知識と課題設定・解決能力をも身につけた人材の養成を行っています。 ●博士前期課程 総合工学専攻（国際水環境工学コース） 本コースは、水環境の保全や排水の高度処理技術、さらに水の再生利用のための分離膜を用いた先端水処理技術に関し、基礎から実践までを、アジア・アフリカからの多くの留学生と共に学ぶことが特徴です。カリキュラムの多くが英語で行われており、また国際的環境の中で実践的英語力を身につけることができます。水環境工学は、高分子材料やナノ材料等の材料工学、界面工学、微生物工学、さらに化学工学等の様々な分野を融合・進化させることで新たな技術を開発する学際領域です。水環境をこれまで学んだことが無い学生でも、これらの幅広い背景を持つ学生を歓迎します。また、学内に先端的排水処理と再生水製造のためのミニプラントを保有しており、日本で唯一の教育実習用の水処理設備を用いた課題解決型の実践カリキュラムを通し、高度専門技術者を養成することも大きな目標です。また、海外や海外に進出する民間企業等と連携した研究も活発であり、水環境の国際的課題に留学生とともに取り組むことになります。このような教育研究の場の中から国際的センスを持つ人材の育成を目指しています。 ●博士課程（5年一貫制）グリーンシステム創成科学専攻 本専攻は、地球温暖化等の地球規模のクライシスに対応するため、グリーンエネルギーの発生・有効利用の領域に特化し、領域全体を俯瞰できる高度基礎知識に裏打ちされた先導的研究を展開でき、国際的に活躍できる研究者を養成しています。本専攻では、次世代エネルギーシステム創成コースと先端機能物質創成コースを設けており、次世代エネルギーシステム創成コースでは、エネルギーの発生・有効利用、それに関連した新機能デバイス、新システムの分野で先導的研究を、先端機能物質創成コースでは、エネルギーに関連した物質創成分野の先導的研究を展開しています。本専攻では、応用物理学、機械工学、電気電子工学、化学、材料工学等のいずれかの分野で高い学士力を有し、特定の分野の知識・理解にとどまらず、広範な分野にわたるグリーンシステム科学に関する知識を吸収し、理解しようとする姿勢とその能力を有するとともに、将来国際的アカデミアで活躍する研究者となるために必要な課題発見・探求能力、研究計画・マネジメント能力等に関する基本的な素養及び適性を有する学生を求めています。なお、当専攻では、在学期間中、授業料相当額以上の経済的援助を行い、学業・研究に集中できる環境を提供します。
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>大学院工学研究科博士前期課程総合工学専攻ならびに博士課程（5年一貫制）グリーンシステム創成科学専攻の詳細については、下記の本学Webサイトをご参照下さい。また、パンフレット、募集要項等は下記問合先にご請求ください。 http://www.eng.nagasaki-u.ac.jp/contents/07_03_01.html</p>
<p>■問合先</p>	<p>〒852-8521 長崎市文教町1-14 長崎大学文教地区事務部学務課 TEL 095-819-2491/FAX 095-819-2587</p>

沖縄科学技術大学院大学（OIST） 科学技術研究科 科学技術専攻

<p>■募集学生</p>	<p>2017年度9月及び2018年度9月入学 科学技術研究科 科学技術専攻 博士課程学生募集（5年一貫制博士課程のみ）</p>
<p>■出願期間</p>	<p>沖縄科学技術大学院大学（OIST）では入学願書を随時受け付けています。書類選考を通過した方を、本学で開催の入試ワークショップに招待します。 *日本入国ビザを必要とする方とそうでない方の出願締切日は異なります。 2017年6月開催の入試ワークショップ（6月20日～22日）へ参加を希望する場合： 日本入国ビザを必要とする方：2017年4月15日 日本入国ビザを必要としない方：2017年5月15日 2018年の入試ワークショップへの参加を希望する場合： 詳細はホームページ（https://admissions.oist.jp）をご覧ください。</p>
<p>■出願書類</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・成績証明書及び在学証明書または卒業（卒業見込）証明書 ・小論文（英語400語以内） ・パスポートのコピー ・推薦状3通以上 ・（英語による教育を行っていない大学出身の出願者の場合）過去2年以内に取得したTOEFLもしくはIELTSのスコア <p>上記の書類を本学ホームページの出願サイトよりご提出下さい。</p>
<p>■選考プロセス</p>	<p>出願者から提出された書類は入学者選抜委員会にて厳正に審査します。その後、書類選考を通過した学生を、本学で開催する入試ワークショップに招待します。入試ワークショップは3日間にわたり、面接やキャンパスツアー、在学生との交流等が行われます。ワークショップ終了後、入学者選抜委員会による厳正な審議が行われ、最終的な合否通知を行います。 ワークショップへの参加費は本学が負担します。</p>
<p>■インフォメーション</p> <div style="text-align: center;">  <h1 style="font-size: 4em; margin: 0;">OIST</h1> </div>	<p>沖縄科学技術大学院大学（OIST）は沖縄県恩納村に位置する5年一貫制の博士課程を置く大学院大学で、神経科学、分子・細胞・発生生物学、数学・計算科学、環境・生態学、物理学・化学の5分野に大別される研究を行っています。2012年9月に、単一の研究科と専攻（科学技術研究科科学技術専攻）を提供する5年一貫制の博士課程が開設されました。国際的、学際的な大学であるため、教員及び学生の半数以上は外国人であり、学内の公用語は英語です。実際に、約60名の教員のうち外国人教員が38名、学生も35の国・地域出身という国際色豊かな大学です。また、OISTで設置している博士課程は学際的なものであり、各々の分野の壁を越えた共同研究や交流が推奨されています。</p> <p>OISTでは年間約40名の学生を受け入れ、全ての学生に年間約240万円の経済支援があります。また、キャンパス内学生宿舍の助成制度や国内・国際会議に出席する際の旅費サポート等、学生支援制度も充実しています。これは、国際競争力を持った世界最高水準の研究教育を行なうため、海外の主要大学や研究機関に倣い設定しています。</p> <p>国内にしながら、海外の博士課程と同等な環境で、博士号取得を目指しませんか。OIST博士課程についてのさらに詳しい内容を知りたい方はホームページをご覧ください。</p>
<p>■大学院入試ガイダンスの開催</p>	<p>沖縄科学技術大学院大学（OIST）では、全国各地でのサイエンス・カフェやその他イベントを開催しています。日程や会場などの詳細を随時更新していますので、OISTホームページ（https://groups.oist.jp/grad）にてご確認ください。</p>
<p>■問い合わせ先</p>	<p>〒904-0495 沖縄県国頭郡恩納村字谷茶 1919-1 沖縄科学技術大学院大学（OIST）学生支援セクション TEL：098-966-2271 FAX：098-982-3427 E-mail：admissions@oist.jp ホームページ：http://www.oist.jp</p>

別冊 大学院入試案内

発行日 2017年4月1日

編集 公益社団法人 日本化学会

発行 「化学と工業」広告小委員会

発行所 公益社団法人 日本化学会

〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5

Tel. 03-3292-6165 Fax. 03-3292-6319

E-mail : kakoshi@chemistry.or.jp